

---

# III

---

## 關係資料

---

## 病名入力の留意点

### 【基礎調査における傷病名の選択と ICD コーディング：その原則】

#### 1. 原則

- 1) 日本語病名と ICD コード対応関係に、最大限の注意を払ってください。
- 2) ICD 付与に関しては、疾病、傷病および死因統計分類提要：ICD-10（2003 年版準拠）第 2 巻（内容例示表）をご確認下さい。17 年度以前とは異なり、「2003 年版準拠」となっているのでご注意ください。また、ICD コーディングの定義、ルール等は第 1 巻をご確認ください。
- 3) 病名に関しては、病名に含まれる情報として、
  - ・ 部位
  - ・ 病理学的区分両方を明示するように、ご配慮ください。

※DPC は、基本的な構造として、傷病名の部位と病理から決定されます。両方が明示無い場合、その他以外の DPC に区分され、結果的にミスコーディングと指摘されてしまうことがありますのでご注意ください。

※医療情報システム開発センター、システムベンダー各社等が提供する「傷病名マスター」を使う場合、すべての ICD 分類がそこに含まれていない場合があります。また、全ての傷病名を網羅していない場合があります。あくまで ICD-10 第 2 巻を ICD コーディングの解釈としてください。第 3 巻の索引をみてそのままコーディングするのではなく必ず第 2 巻で確認をしてください。相互に差違があった場合は 2 巻を優先してください。

#### 2. 細則

- 1) 傷病名を表記する場合、出来るだけ、部位を ICD が求めるレベルまで明示するように配慮してください。傷病名の表記には、詳細な情報が含まれるにも関わらず、詳細不明等として「.9」を付与されているケースが多く見られますのでご注意ください。
- 2) 処置名、手術名、検査名、分娩法等は病名ではありません。診療行為を行うに至った、もしくは原因となった傷病名を記載してください。
- 3) 略語の使用も避けてください。保険診療の範囲内において、傷病名は原則として日本語で正確に記載していただく必要があります。
- 4) 「～術後（状態）」「～既往」「～処置後」は状態を表している用語であり、原則として使用を避けてください。術後に何らの障害が発生したのであれば、その傷病名を表示してください。  
※例：胃全摘術後→胃体部癌等
- 5) 「～再発」「～術後再発」の場合、“～”は、例えば、手術・処置名等ではなく、傷病名であるべきで、それに対する ICD を付与してください。さらに上記 1) で示したことに配慮してください。  
※例：冠動脈形成術後再発
- 6) 「両側性」を必要とする ICD コードには、「両側性」などの詳細な傷病名記載が必要です。記載の無い場合、判断がつかないために、片側と取り扱われてしまいます。片側等については、左右、上下等を明示してください。
- 7) 骨折に関して、「開放性」の場合は、「開放性」の記載が必要です。記載が無い場合、判断がつかないために、「閉鎖性」と取り扱われてしまいます。
- 8) 悪性新生物（腫瘍）の場合、「悪性」または「癌」などの記載が必要です。記載が無い場合は、ICD10 コードは詳細不明に分類され、診断群分類が良性となる場合があります。また「性状不詳」や判断がつかない場合も診断群分類は良性となる場合があります。転移性、再発の場合は、原発と区別がつくように配慮してください。特段の表示がない場合は、原発と取り扱います。
- 9) 先天性疾患の分類である Q コードを選択する場合、その病名が単独では明らかに先天性疾患でない場合、必ず「先天性」の表記をしてください。表記が無い場合、「後天性」と判断される場合があります。
- 10) 多発 ICD コードの場合、多発性だと認識出来るように、必ず「多発性」の表記をしてください。また、多発性の損傷等、そのうちのどれか一つを主要病態と選択出来ない場合に限り、多発性を表示するためのコードを選択してください。詳細は、ICD10 第一巻 149 頁「第 XIX 章：損傷、中毒およびその他の外因の影響」を確認してください。
- 11) 単発性における指（趾）の記載については、ICD が求める範囲で解剖学的に確認して、必ず必要な部位

を記載してください。

- 12) 母体に問題があった新生児又は胎児で、P00～P05 までを使用する場合は、「～母体児」の記載が必要です。

※例：慢性C型肝炎母体児等

- 13) 同一入院で、手術や処置に強く関連した続発症の記載は、本来の傷病名や関連しない傷病名との区別がつかないので、その接頭語として可能なかぎり「術後」又は「処置後」の記載をしてください。

※術後胆嚢炎等

ただし、当該入院期間と関連しない入院の場合は、その限りではありません。

- 14) 「～症候群」の場合、ICD が定義する症候群以外、特に極めて希な症候群の場合は、当該症候群の中で、一番問題となった病態に対する病名の表記をしてください。

### 【傷病名付与と ICD コーディングの留意点】

※まず、「基礎調査における傷病名の選択と ICD コーディング：その原則」をご確認ください。本ドキュメントはその原則に基づいて過去のデータ検証の結果から、特にご注意をお願いしたい留意点をまとめたものです。あくまでも注意すべき点であって、エラーや使用禁止ということではありません。

#### 1. 傷病名全般について：

- 1) 「主傷病名」、「入院の契機となった傷病名」、「医療資源を最も投入した傷病名」、関連する ICD コードは必ず入力してください。データ提出の際には、これらの傷病名そして ICD コードが全て埋まっていることをご確認下さい。3種類の傷病名が同一であっても全て埋めてください。

- 2) 入力された内容は、提示された仕様に合致しているか、ご確認ください。

- 3) 不適切なデータ（仕様に対するエラー）が発生する要因の主な例

(1) システム上の問題と考えられること

- (i) 存在しない (ICD) コードがある  
(ii) 文字化け、桁数不適、不要文字の存在等がある

※「\*」、「“」、「大量のスペース」「・」「/」等

(例) Null、空白、不要なスペース

(2) データ取扱の根本的問題（チェックがなされていない、または不十分）

- (i) 入力がされていない（空欄のまま）  
(ii) 誤字、脱字、意味不明文字・用語（本来の傷病名がわからない）がある

※ミスタイプ等が原因と思われるもの

腫→種、再発→里発、肺癌→肝癌、中葉→虫葉、腎→仁、脳→胸、腺→線、他

- (iii) 略語、不明なシンボル、施設独自のルールによると考えられる文字（傷病名）

(例) 脳 S、喉頭 K、神 1、外傷 1、等

(3) ICD コーディングの問題

- (i) 傷病名と ICD が一致しない（誤っている）

- (ii) unspecified コード（.9 等）が多数存在する→傷病名に詳細な情報があるにもかかわらず「.9」とコードされているものがある。

(例) 噴門部癌（正しいコードは C16.0）と表示されているにも関わらず、C16.9（胃部位不明）等でコーディング

- (iii) 逆に、傷病名に詳細な情報がなく曖昧になっているにも関わらず、ICD コードは詳細に与えられている（恐らく、表示されている傷病名とは全く異なる情報でコーディングしていると推察される）

(例) 胃腫瘍（C16.2）とコーディングしているが、C16.2 は胃体部癌である

- (iv) そもそも傷病名として適切でないものが含まれる→ICD の分類名そのまま

※ICD の分類名は臨床病名とは異なるものである→あくまで臨床病名を入力すべきであって、場合によっては、全く傷病名の意味をなさないケースがある

(例) その他および部位不明の悪性新生物（C76）、その他の脳神経障害（G52）、その他の診断名

## 2. 傷病名の入力方法など詳細について：

### 1) 修飾語の取り扱い：

システム上、「良性」、「悪性」等を修飾語として処理し、マスター部分 (Lead term.) との組み合わせで傷病名を構成する方法は汎用的に行われていると思われまます。そのようなシステム下において、データ提出時に修飾語コードを単純に削除したため、部位詳細不明コードになっていると推察される例が多く見られます。つまり、マスター部分の傷病名に付与されている ICD コードは、修飾語によってカバーすることを前提としてふられているために、極めて曖昧なコードとせざるを得ないという問題があります。

したがって、このようにシステムの修飾語コードを使用している場合は特に注意が必要となり、通常、傷病名の意味を考え直し、再コーディングが必須となります。以下にいくつか例示しますが、傷病名の構成については十分にご理解いただき、正しい ICD コードが付与されるような運用をしていただく必要があります。

以下に MEDIS 標準病名集に存在するコードを使って例示してみました。

#### (1) 良性、悪性、部位の区別

「悪性 (修飾語)」+「噴門部 (修飾語)」+胃腫瘍 (D37.1) →本当は噴門部癌 (C16.0) という正しいコードが存在する。しかし、D37.1 の胃の性状不明の新生物、詳細不明のコードに分類されてしまう。

#### (2) 部位が明確になっていない

「尺骨 (修飾語)」+骨折 (T14.20) →本当は尺骨骨折 (S52.20) という正しいコードが存在する。しかし、T14.2 の部位不明の骨折のコードに分類されてしまう。

※つまり、部位や病勢等によって ICD は変化することを理解しておかなければなりません。

### 2) ICD コード取り扱いの基本 (仕様)

(1) ICD の表示には、半角・大文字を使用してください。

(2) ICD10 は、原則として全桁ふってください。

(i) 特に、以下については、診断群分類に分類する際に4桁目のコードが必須ですので留意してください。

- ・糖尿病 (E10~E14、ただし、E14「詳細不明の糖尿病」は極力使用しないでください。)
- ・消化管潰瘍 (K25~K28、ただし、K27「部位不明の消化性潰瘍」は極力使用しないでください。)
- ・糸球体疾患 (N00~N08)

(ii) 5桁目が必須とされているものは以下に例示します。(\$を省いて例示)。

M14-M18、M20、M22、M30-M36、M50、M51、M63、M67、M68、M75、M92、M93、M95、M96 以外の M コード

S02、S06、S12、S22、S26、S27、S32、S36、S37、S42、S52、S62、S72、S82、S92、T02、T08、T10、T12、T142

A085、A778、F15、F603、P071、Q41、Q42、Q433

(3) 医療資源を最も投入した疾患については、ICD10 の A から T、U の一部までを利用してコーディングしてください。(ICD10 の Z「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」は使用しないでください。) また、症状、徴候等に関する分類 (R) は、確定診断名がつかない場合等のやむを得ない場合を除き、極力使用しないでください。なお、診断群分類においては、R040、R042、R048、R049、R560、R61\$, R730 のみが使用されています。

3) 新生物は、悪性、良性の区別をしてください。そして、傷病名の表示にもその意図がわかるように、必要に応じて良性や悪性の区別をしてください。病理結果を待っている場合等、不明な場合には、退院時点で限りなくこの傷病が疑われるというような観点で判断してください。ただし、行った診療行為と整合性が取れるようにご配慮ください。基本的に悪性新生物 (腫瘍) の場合、「悪性」または「癌」等の表示があることを原則とします。さらに、「再発」と「転移」はコードが異なることもご注意ください。また、傷病名についても明確に区別をしてください。

(例)

- (1) 上葉肺癌再発 (C34.1)
- (2) 転移性肺癌 (C78.0)
- (3) 乳癌術後胸壁再発 (C76.1 : 結合組織の場合 : C49.3)
- (4) 乳癌術後胸壁転移 (C79.8)
- (5) 上顎洞癌術後前頭洞再発 (C31.2)
- (6) 上顎洞癌術後前頭洞転移 (C78.3)

- 4) 部位の明示されない悪性新生物 (C80) 等、別添の「留意すべき ICD コード」がふられているデータについては、適切にコーディングし直してください。
- (1) C80 部位の明示されない悪性新生物 の使用は極力避けてください。
  - (2) C80 を使用する場合は、再度、部位等が明確にできないか見直してください。
  - (3) D37-D44、D48 性状不詳または不明の新生物の使用は極力避けてください。さらに、病理の結果などを見直してください。
- 5) 本調査においては、ダブルコーディングのルールは採用しません。
- (1) ダブルコーディングに該当する病名の場合は治療対象となったコードを優先させてください。
  - (2) 「+ : 剣印」優先というルールもありません。また、ダブルコーディングの+、\*印は入力しないでください。
  - (3) 治療対象となった傷病については、ICD のカテゴリーに所属することがわかるような傷病名を付与してください。
- (例)
- (1) 糖尿病性白内障 (H28.0) →○、糖尿病性白内障 (E14.3) →×
  - (2) 白内障を伴う 2 型糖尿病 (E11.3) →○、白内障を伴う 2 型糖尿病 (H28.0) →×
- 6) 骨折は開放性、閉鎖性の区別、部位を明確にして S コードで分類してください。(S02\$, S22\$, S32\$, S42\$, S52\$, 62\$, S72\$, S82\$, S92\$)、さらに、多部位の場合は、T02\$。
- 部位不明 (T08, T10, T12, T14\$) については、部位を明確にして、所定のコードに分類してください。
- ※基本的に骨折や外傷等については、部位の確認が可能であり、部位が明示されないという可能性はないはずなので、例えば、コンピュータの表示だけを鵜呑みにせず、正しい部位等を選択するように配慮してください。
- 7) 過去、提出されたデータに桁数が不適当なレコードが存在する場合がありますのでご注意ください。(コードは 3 桁なのに、4 桁目に 0 を入力している場合等)
- ※ICD は 3 桁から 5 桁の範囲を持ちますが、基礎調査の仕様では、3 桁の ICD コードの場合、残りの 2 桁は、「Null」ということになります。「スペース」や「ゼロ」ではありません。
- 8) 過去、提出されたデータに漢字の書き間違い、パソコンの変換ミス等が原因と思われる意味不明の傷病名、コーディングミス多数見受けられますのでご注意下さい。
- 9) 妊娠に合併した疾患のコーディングについて
- (1) 本調査では、今回治療対象となる疾患を医療資源を最も投入した傷病名としてコーディングしてください。Z33 を併存症としてコードしていただいても差し支えありません。
  - (2) 妊娠が合併した疾患の場合、今回治療対象とした診療科で ICD コードを使い分けてください。  
例えば、「IgA 腎症合併妊娠」の場合、
    - ・産科的治療で入院した場合→O268
    - ・IgA 腎症の内科的治療のために入院した場合→N028
  - (3) 分娩方法は傷病名でないので、例えば帝王切開術を行ったことが最も投入した医療資源であればその原因となった傷病名を表示しコーディングしてください (前置胎盤等)。
- 10) 過去、傷病名に詳細な情報がないにも関わらず、詳細な ICD コードが付与されているケースが散見されますのでご注意ください。
- ※恐らく、診療録やサマリー等、当該レコードにある「傷病名」とそれ以外の情報とを併せて判断し、コーディングしたのではないかと推察されますが、基礎調査に関しての提出データは、傷病名と ICD コードは一對というものです。したがって、そのセットを一つのレコードと考えると、傷病名の記載と ICD の選択に粒度の差が出て、適切なデータとならないのでご注意ください。
- (例)
- (1) 「糖尿病」のみの記載→ E107 (インスリン依存性糖尿病<IDDM> 多発合併症を伴うもの)
  - (2) 「上皮内癌」のみの記載→ D067 (子宮頸(部)のその他の部位の上皮内癌)、他
- ※ただし、この場合、傷病名が非常に曖昧な表記になっていることが多く、恐らく ICD の方が正確であるはずなので、より詳細な情報を持った傷病名を記載するように配慮してください。
- 11) ICD のルールには世界的なレベルで用いるという目的があり、曖昧な情報への対処方法が定められてい

ます。それに準拠したコーディング自体は誤っているとはいえないものの、いくら正確なコーディングを行う努力をしても、適切とはいえない傷病名に対するコーディングは、結果として正しい ICD コードを表現することが出来ないこととなります。つまり、傷病名自体が極めて曖昧な場合は、ICD コーディングの精度以前の問題となりますので、その場合は、主治医等を含めて適正な傷病名であるのか必ず確認してください。特に、DPC の場合は、臨床的な視点からの傷病名付与とそれにマッチした ICD コーディングを求めていますので、出来るだけ詳細な傷病名の表示と正確な ICD コーディングをしてください。また、入院時に診断名不確定の場合は、十分な注意をしてください。極めて曖昧な傷病名の例を示します。

(例)

(1) 「カルチノイド」 → C80 (部位の明示されない悪性新生物)

(2) 「感染症」 → B99 (その他および詳細不明の感染症)

※この例は、傷病名が曖昧で、精度の高いコーディングするための情報が不足していることを表しています。

#### 12) 傷病名と扱うことが困難な「傷病名」の存在

「状態」、「治療法」等をそのまま傷病名としている多くの例があります。そもそも、本来の意味からして、特に「治療法」と「傷病名」は全く異なる概念であり、傷病名として扱うことには無理がありません。例えば、透析状態、化学療法後等のパターンは多く見られるので、ご注意ください。

(例)

(1) 「膀胱全摘状態」 → C679 (膀胱の悪性新生物, 部位不明)

(2) 「正常新生児」 → Z380 (単胎児, 院内出生)

※上記の例、「正常新生児」というレコードについては、単純に施設として出生の結果を表現していると推察されますが、基礎調査についてはあくまでも入院患者対象であり、このような場合は、データ提出時に削除が必要ですのでご注意ください。(データ提出時に「患者数」とマッチしているかご確認ください：正常新生児は調査対象患者ではありません)。

#### 13) 傷病名が途中で切れていると推察されるものの存在

恐らく、データベースのフィールドの制限もしくは桁数オーバーで正常な表示が出来ない場合に起こったと推察されます。基本的に、「ICD の分類名」と「臨床病名」は異なるものであり、以下に示す例については、ICD の分類名をそのまま表示しようとしてエラー (途中で切れている) というケースです。

(例)

(1) D477、リンパ組織、造血組織および関連組織の性状不詳または不明のその他の明示さ (以降が切れている)

(2) K566、麻痺性イレウスおよび腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの、その他および詳細不 (以降が切れている)

※過去の基礎調査で出現したデータから例示していますが、そもそも、上記の「傷病名」が正しく表示されたとしても、それは ICD の分類名であって、「傷病名」として受け入れられないのでご注意ください。

#### 14) 傷病名に、複数の傷病名要素を含むために曖昧なコーディングとなっている、もしくはコーディングそのものが出来ない

多発性の外傷等の一部の分野を除くと、基本的に ICD で個別に定義された傷病名は、各々を記載し、各々について ICD コーディングを行う必要があります。しかし、複数の傷病名を一つの傷病名として、正確には一つの傷病名のフィールドに複数の傷病名が入力されているケースがみられます。

(例)

(1) 「呼吸不全、C 型肝炎」 → コードは J969 (呼吸不全, 詳細不明)

※呼吸不全、C 型肝炎は別疾患として傷病名の標記をし、個別にコーディングする必要がある (しかし、呼吸不全、C 型肝炎という傷病名そのものも正しいコーディングをするにあたり十分な情報を持っていないので、適切な傷病名の付与ではない)

(2) 「脱水症、S/O 脳梗塞」 → E86 (体液量減少 (症))

※この例も、傷病名そのものに問題を抱えている

#### 15) いわゆる「R」コードの取り扱いについて：

医療資源を最も投入した傷病名に対する ICD が「R」、すなわち、「症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)」に分類され、手術をしている場合、恐らく確定診断がなされているはずなので、傷病名の再確認をしてください。

基本的な問題として R コードは「その症例に関するあらゆる事実を調査したにもかかわらず、それ以上

明確な診断を下せなかった」場合や「一過性の徴候や症状」等に、限定的に使用すべきであるとされています。したがって、継続的な入院期間を対象とした本基礎調査においては、ほぼ全ての症例について何らかの診断がなされることが一般的と思われます。

※定義は、ICD-10（内容例示表）第2巻、第XVIII章、737ページをご確認ください。

（例）

(1) 「不明熱（R509）」 → リンパ節摘出術（長径3cm未満）（K6261）

(2) 「多臓器不全（R688）」 → 経皮的冠動脈形成術（K614）

※このような事例の発生は、入院当初の診断名未確定というケースに、確定診断名を確認することなしに修正されなかったことが原因だと推察されます。診断名が不明確な場合は、再度、傷病名が確定していないか確認してください。

留意すべきICDコード

- ※以下のICD分類は、他のコードが候補になり得る可能性が高いものを例示したものである。
- ※すなわち、下記のICD分類例のほとんどは、部位や病態等を確認することによって、他のコードに分類される可能性が高いものを示している。
- ※「医療資源を最も投入した疾患」に付与することを前提としたものである。
- ※以下に留意すべきとしたコードはほぼすべてレセ電算病名にも含まれるので注意のこと。
- ※M99\$を除くM分類について、5桁目を必要とする場合、5桁目が「.9」になることはない。
- ※R分類については、全てにおいて他に分類出来ないか再検討を要する。
- ※部位不明・詳細不明コードについては、分類名に「●●不明」、「●●不詳」(例: 部位不明、性状不詳)の単語が記載されているものであって、4桁以上のICDコードで判定する。評価対象は、「医療資源最傷病名」とする。

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
腸管感染症(A00-A09)	A009	コレラ, 詳細不明	
腸管感染症(A00-A09)	A014	パラチフス, 詳細不明	○
腸管感染症(A00-A09)	A029	サルモネラ感染症, 詳細不明	
腸管感染症(A00-A09)	A039	細菌性赤痢, 詳細不明	
腸管感染症(A00-A09)	A049	細菌性腸管感染症, 詳細不明	
腸管感染症(A00-A09)	A059	細菌性食中毒, 詳細不明	○
腸管感染症(A00-A09)	A069	アメーバ症, 詳細不明	○
腸管感染症(A00-A09)	A079	原虫性腸疾患, 詳細不明	
腸管感染症(A00-A09)	A084	ウイルス性腸管感染症, 詳細不明	
結核(A15-A19)	A153	肺結核, 確認されてはいるが、その方法については詳細不明のもの	○
結核(A15-A19)	A159	詳細不明の呼吸器結核, 細菌学的または組織学的に確認されたもの	○
結核(A15-A19)	A169	詳細不明の呼吸器結核, 細菌学的または組織学的確認の記載がないもの	○
結核(A15-A19)	A179	神経系結核, 詳細不明 (G99.8*)	○
結核(A15-A19)	A192	急性粟粒結核, 詳細不明	○
結核(A15-A19)	A199	粟粒結核, 詳細不明	○
人畜共通細菌性疾患(A20-A28)	A209	ペスト, 詳細不明	○
人畜共通細菌性疾患(A20-A28)	A219	野兔病<ツラレミア>, 詳細不明	○
人畜共通細菌性疾患(A20-A28)	A229	炭疽, 詳細不明	○
人畜共通細菌性疾患(A20-A28)	A239	ブルセラ症, 詳細不明	○
人畜共通細菌性疾患(A20-A28)	A244	類鼻疽, 詳細不明	
人畜共通細菌性疾患(A20-A28)	A259	嵐咬症, 詳細不明	○
人畜共通細菌性疾患(A20-A28)	A269	類丹毒, 詳細不明	○
人畜共通細菌性疾患(A20-A28)	A279	レプトスピラ症, 詳細不明	○
人畜共通細菌性疾患(A20-A28)	A289	人畜共通細菌性疾患, 詳細不明	○
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A309	らい<癩><ハンセン<Hansen>病>, 詳細不明	○
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A319	非結核性抗酸菌感染症, 詳細不明	
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A329	リステリア症, 詳細不明	○
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A369	ジフテリア, 詳細不明	○
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A379	百日咳, 詳細不明	○
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A394	髄膜炎菌菌血症, 詳細不明	
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A399	髄膜炎菌感染症, 詳細不明	
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A409	レンサ球菌性敗血症, 詳細不明	○
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A412	詳細不明のブドウ球菌による敗血症	○
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A419	敗血症, 詳細不明	
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A429	放線菌症<アクテノミセス症>, 詳細不明	○
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A439	ノカルジア症, 詳細不明	○
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A449	バルトネラ症, 詳細不明	○
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A490	ブドウ球菌感染症, 詳細不明	
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A491	レンサ球菌感染症, 詳細不明	
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A492	インフルエンザ菌感染症, 詳細不明	
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A493	マイコプラズマ感染症, 詳細不明	
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A498	部位不明のその他の細菌感染症	
その他の細菌性疾患(A30-A49)	A499	細菌感染症, 詳細不明	
主として性的伝播様式をとる感染症(A50-A64)	A502	早期先天梅毒, 詳細不明	○
主として性的伝播様式をとる感染症(A50-A64)	A507	晚期先天梅毒, 詳細不明	○
主として性的伝播様式をとる感染症(A50-A64)	A509	先天梅毒, 詳細不明	○
主として性的伝播様式をとる感染症(A50-A64)	A519	早期梅毒, 詳細不明	○
主として性的伝播様式をとる感染症(A50-A64)	A523	神経梅毒, 詳細不明	
主として性的伝播様式をとる感染症(A50-A64)	A529	晚期梅毒, 詳細不明	○
主として性的伝播様式をとる感染症(A50-A64)	A530-A539	この範囲の全て	○
主として性的伝播様式をとる感染症(A50-A64)	A549	淋菌感染症, 詳細不明	○
主として性的伝播様式をとる感染症(A50-A64)	A562	尿路性器のクラミジア感染症, 詳細不明	○
主として性的伝播様式をとる感染症(A50-A64)	A599	トリコモナス症, 詳細不明	○
主として性的伝播様式をとる感染症(A50-A64)	A609	肛門性器ヘルペスウイルス感染症, 詳細不明	○
主として性的伝播様式をとる感染症(A50-A64)	A64	性的伝播様式をとる詳細不明の感染症	



中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
その他のスピロヘータ疾患(A65-A69)	A660-A699	この範囲の「.9」となるもの	○
クラミジアによるその他の疾患(A70-A74)	A710-A749	この範囲の「.9」となるもの	○
リケッチア症(A75-A79)	A750-A799	この範囲の「.9」となるもの	○
中枢神経系のウイルス感染症(A80-A89)	A803	急性麻痺性灰白髄炎<ポリオ>, その他および詳細不明	
中枢神経系のウイルス感染症(A80-A89)	A809	急性灰白髄炎<ポリオ>, 詳細不明	○
中枢神経系のウイルス感染症(A80-A89)	A819	中枢神経系の非定型ウイルス感染症, 詳細不明	○
中枢神経系のウイルス感染症(A80-A89)	A829	狂犬病, 詳細不明	○
中枢神経系のウイルス感染症(A80-A89)	A839	蚊媒介ウイルス(性)脳炎, 詳細不明	○
中枢神経系のウイルス感染症(A80-A89)	A849	ダニ媒介ウイルス(性)脳炎, 詳細不明	○
中枢神経系のウイルス感染症(A80-A89)	A852	節足動物媒介ウイルス(性)脳炎, 詳細不明	
中枢神経系のウイルス感染症(A80-A89)	A86	詳細不明のウイルス(性)脳炎	
中枢神経系のウイルス感染症(A80-A89)	A879	ウイルス(性)髄膜炎, 詳細不明	○
中枢神経系のウイルス感染症(A80-A89)	A89	中枢神経系の詳細不明のウイルス感染症	
節足動物媒介ウイルス熱およびウイルス性出血熱(A90-A99)	A929	蚊媒介ウイルス熱, 詳細不明	○
節足動物媒介ウイルス熱およびウイルス性出血熱(A90-A99)	A94	詳細不明の節足動物媒介ウイルス熱	
節足動物媒介ウイルス熱およびウイルス性出血熱(A90-A99)	A959	黄熱, 詳細不明	○
節足動物媒介ウイルス熱およびウイルス性出血熱(A90-A99)	A969	アレナウイルス出血熱, 詳細不明	○
節足動物媒介ウイルス熱およびウイルス性出血熱(A90-A99)	A99	詳細不明のウイルス性出血熱	
皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症(B00-B09)	B009	ヘルペスウイルス感染症, 詳細不明	○
皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症(B00-B09)	B09	詳細不明の皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	
ウイルス肝炎(B15-B19)	B189	慢性ウイルス肝炎, 詳細不明	○
ウイルス肝炎(B15-B19)	B190-B199	この範囲の全て	○
ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病(B20-B24)	B209	詳細不明の感染症または寄生虫症を起こしたHIV病	○
ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病(B20-B24)	B219	詳細不明の悪性新生物を起こしたHIV病	○
ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病(B20-B24)	B24	詳細不明のヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	
その他のウイルス疾患(B25-B34)	B259	サイトメガロウイルス病, 詳細不明	○
その他のウイルス疾患(B25-B34)	B279	伝染性単核症, 詳細不明	○
その他のウイルス疾患(B25-B34)	B309	ウイルス(性)結膜炎, 詳細不明	○
その他のウイルス疾患(B25-B34)	B340-B349	この範囲の全て	○
真菌症(B35-B49)	B359	皮膚糸状菌症, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B369	表在性真菌症, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B379	カンジダ症, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B382	肺コクシジオイデス症, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B389	コクシジオイデス症, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B392	カプスラーツム肺ヒストプラズマ症, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B394	カプスラーツムヒストプラズマ症, 詳細不明	
真菌症(B35-B49)	B399	ヒストプラズマ症, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B402	肺プラストミセス症, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B409	プラストミセス症, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B419	パラコクシジオイデス症, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B429	スポロトリコーシス, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B439	クロモミコーシス, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B449	アスペルギルス症, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B459	クリプトコッカス症, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B465	ムーコル<ムコール>症, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B469	接合菌症, 詳細不明	○
真菌症(B35-B49)	B479	菌腫, 詳細不明	
真菌症(B35-B49)	B49	詳細不明の真菌症	
原虫疾患(B50-B64)	B509	熱帯熱マラリア, 詳細不明	○
原虫疾患(B50-B64)	B54	詳細不明のマラリア	
原虫疾患(B50-B64)	B559	リーシュマニア症, 詳細不明	○
原虫疾患(B50-B64)	B569	アフリカ トリパノソーマ症, 詳細不明	○
原虫疾患(B50-B64)	B589	トキソプラズマ症, 詳細不明	○
原虫疾患(B50-B64)	B64	詳細不明の原虫疾患	
ぜんく(蠕)虫症(B65-B83)	B659	住血吸虫症, 詳細不明	○
ぜんく(蠕)虫症(B65-B83)	B669	吸虫感染症, 詳細不明	○
ぜんく(蠕)虫症(B65-B83)	B674	単包条虫感染症, 詳細不明	○
ぜんく(蠕)虫症(B65-B83)	B677	多包条虫感染症, 詳細不明	○
ぜんく(蠕)虫症(B65-B83)	B678	肝の詳細不明のエキ<ヒ>ノコックス症	○
ぜんく(蠕)虫症(B65-B83)	B679	エキ<ヒ>ノコックス症, その他および詳細不明	○
ぜんく(蠕)虫症(B65-B83)	B689	条虫症, 詳細不明	○
ぜんく(蠕)虫症(B65-B83)	B699	のう<囊>(尾)虫症, 詳細不明	○
ぜんく(蠕)虫症(B65-B83)	B719	条虫感染症, 詳細不明	○
ぜんく(蠕)虫症(B65-B83)	B749	フィラリア症<糸状虫症>, 詳細不明	○
ぜんく(蠕)虫症(B65-B83)	B769	鉤虫症, 詳細不明	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
ぜんく蟻>虫症(B65-B83)	B779	回<蛔>虫症, 詳細不明	○
ぜんく蟻>虫症(B65-B83)	B789	糞線虫症, 詳細不明	○
ぜんく蟻>虫症(B65-B83)	B820-B829	この範囲の全て	○
ぜんく蟻>虫症(B65-B83)	B839	ぜんく蟻>虫症, 詳細不明	○
シラミ症、ダニ症およびその他の動物寄生症(B85-B89)	B852	シラミ症, 詳細不明	○
シラミ症、ダニ症およびその他の動物寄生症(B85-B89)	B879	ハエ幼虫症, 詳細不明	○
シラミ症、ダニ症およびその他の動物寄生症(B85-B89)	B889	寄生症, 詳細不明	○
シラミ症、ダニ症およびその他の動物寄生症(B85-B89)	B89	詳細不明の寄生虫症	
感染症および寄生虫症の続発・後遺症(B90-B94)	B909	呼吸器および詳細不明の結核の続発・後遺症	
感染症および寄生虫症の続発・後遺症(B90-B94)	B94	その他および詳細不明の感染症および寄生虫症の続発・後遺症	
感染症および寄生虫症の続発・後遺症(B90-B94)	B949	詳細不明の感染症または寄生虫症の続発・後遺症	○
細菌、ウイルスおよびその他の病原体(B95-B97)	B955	他章に分類される疾患の原因である詳細不明のレンサ球菌の感染症	○
細菌、ウイルスおよびその他の病原体(B95-B97)	B958	他章に分類される疾患の原因である詳細不明のブドウ球菌の感染症	○
その他の感染症(B99)	B99	その他および詳細不明の感染症	
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C002	外側口唇の悪性新生物, 部位不明	
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C005	口唇の悪性新生物, 部位不明, 内側面	
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C009	口唇の悪性新生物, 部位不明	○
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C023	舌の前3分の2の悪性新生物, 部位不明	
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C028	その他および部位不明の舌の悪性新生物 舌の境界部病巣	
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C029	舌の悪性新生物, 部位不明	○
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C039	歯肉の悪性新生物, 部位不明	
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C049	口(腔)底の悪性新生物, 部位不明	○
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C059	口蓋の悪性新生物, 部位不明	
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C068	その他および部位不明の口腔の悪性新生物 その他および部位不明の口腔の境界部病巣	
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C069	口腔の悪性新生物, 部位不明	
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C088	その他および部位不明の大唾液腺の悪性新生物 大唾液腺の境界部病巣	
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C089	大唾液腺の悪性新生物, 部位不明	
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C099	扁桃の悪性新生物, 部位不明	
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C109	中咽頭の悪性新生物, 部位不明	○
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C119	鼻<上>咽頭の悪性新生物, 部位不明	
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C139	下咽頭の悪性新生物, 部位不明	
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C140	咽頭の悪性新生物, 部位不明	○
口唇、口腔および喉頭の悪性新生物(C00-C14)	C148	その他および部位不明の口唇、口腔および咽頭の悪性新生物 口唇、口腔および咽頭の境界部病巣	
消化器の悪性新生物(C15-C26)	C159	食道の悪性新生物, 部位不明	○
消化器の悪性新生物(C15-C26)	C165	胃小弯の悪性新生物, 部位不明	
消化器の悪性新生物(C15-C26)	C166	胃大弯の悪性新生物, 部位不明	
消化器の悪性新生物(C15-C26)	C169	胃の悪性新生物, 部位不明	
消化器の悪性新生物(C15-C26)	C179	小腸の悪性新生物, 部位不明	○
消化器の悪性新生物(C15-C26)	C189	結腸の悪性新生物, 部位不明	○
消化器の悪性新生物(C15-C26)	C210	肛門の悪性新生物, 部位不明	
消化器の悪性新生物(C15-C26)	C229	肝の悪性新生物, 詳細不明	○
消化器の悪性新生物(C15-C26)	C248	その他および部位不明の胆道の悪性新生物 胆道の境界部病巣	
消化器の悪性新生物(C15-C26)	C249	胆道の悪性新生物, 部位不明	○
消化器の悪性新生物(C15-C26)	C259	膵の悪性新生物, 部位不明	○
消化器の悪性新生物(C15-C26)	C260	腸管の悪性新生物, 部位不明	○
消化器の悪性新生物(C15-C26)	C268	その他および部位不明の消化器の悪性新生物 消化器系の境界部病巣	
消化器の悪性新生物(C15-C26)	C269	消化器系の悪性新生物, 部位不明確	○
呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物(C30-C39)	C319	副鼻腔の悪性新生物, 部位不明	○
呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物(C30-C39)	C329	喉頭の悪性新生物, 部位不明	○
呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物(C30-C39)	C349	気管支または肺の悪性新生物, 部位不明	○
呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物(C30-C39)	C383	縦隔の悪性新生物, 部位不明	
呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物(C30-C39)	C390	上気道の悪性新生物, 部位不明	○
呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物(C30-C39)	C398	その他および部位不明の呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物 呼吸器および胸腔内臓器の境	
呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物(C30-C39)	C399	呼吸器系の悪性新生物, 部位不明確	○
骨および関節軟骨の悪性新生物(C40-C41)	C409	(四)肢の骨および関節軟骨の悪性新生物, 部位不明	○
骨および関節軟骨の悪性新生物(C40-C41)	C418	その他および部位不明の骨および関節軟骨の悪性新生物 骨および関節軟骨の境界部病巣	
骨および関節軟骨の悪性新生物(C40-C41)	C419	骨および関節軟骨の悪性新生物, 部位不明	○
皮膚の黒色腫およびその他の悪性新生物(C43-C44)	C433	その他および部位不明の顔面の悪性黒色腫	
皮膚の黒色腫およびその他の悪性新生物(C43-C44)	C439	皮膚の悪性黒色腫, 部位不明	○
皮膚の黒色腫およびその他の悪性新生物(C43-C44)	C443	その他および部位不明の顔面の皮膚の悪性新生物	
皮膚の黒色腫およびその他の悪性新生物(C43-C44)	C449	皮膚の悪性新生物, 部位不明	○
中皮および軟部組織の悪性新生物(C45-C49)	C459	中皮腫, 部位不明	○
中皮および軟部組織の悪性新生物(C45-C49)	C469	カポジ<Kaposi>肉腫, 部位不明	○
中皮および軟部組織の悪性新生物(C45-C49)	C476	体幹の末梢神経の悪性新生物, 部位不明	○
中皮および軟部組織の悪性新生物(C45-C49)	C479	末梢神経および自律神経系の悪性新生物, 部位不明	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
中皮および軟部組織の悪性新生物(C45-C49)	C482	腹膜の悪性新生物, 部位不明	
中皮および軟部組織の悪性新生物(C45-C49)	C496	体幹の結合組織および軟部組織の悪性新生物, 部位不明	
中皮および軟部組織の悪性新生物(C45-C49)	C499	結合組織および軟部組織の悪性新生物, 部位不明	○
乳房の悪性新生物(C50)	C509	乳房の悪性新生物, 部位不明	○
女性生殖器の悪性新生物(C51-C58)	C519	外陰(部)の悪性新生物, 部位不明	
女性生殖器の悪性新生物(C51-C58)	C539	子宮頸(部)の悪性新生物, 部位不明	
女性生殖器の悪性新生物(C51-C58)	C549	子宮体部の悪性新生物, 部位不明	
女性生殖器の悪性新生物(C51-C58)	C55	子宮の悪性新生物, 部位不明	
女性生殖器の悪性新生物(C51-C58)	C574	子宮付属器の悪性新生物, 部位不明	○
女性生殖器の悪性新生物(C51-C58)	C579	女性生殖器の悪性新生物, 部位不明	○
男性生殖器の悪性新生物(C60-C63)	C609	陰茎の悪性新生物, 部位不明	
男性生殖器の悪性新生物(C60-C63)	C629	精巣<睾丸>の悪性新生物, 部位不明	
男性生殖器の悪性新生物(C60-C63)	C638	男性生殖器の境界部病巣	○
男性生殖器の悪性新生物(C60-C63)	C639	男性生殖器の悪性新生物, 部位不明	○
腎尿路の悪性新生物(C64-C68)	C679	膀胱の悪性新生物, 部位不明	
腎尿路の悪性新生物(C64-C68)	C688	腎尿路の境界部病巣	○
腎尿路の悪性新生物(C64-C68)	C689	尿路の悪性新生物, 部位不明	○
眼、脳およびその他の中枢神経系の部位の悪性新生物(C69-C72)	C699	眼の悪性新生物, 部位不明	○
眼、脳およびその他の中枢神経系の部位の悪性新生物(C69-C72)	C709	髄膜の悪性新生物, 部位不明	○
眼、脳およびその他の中枢神経系の部位の悪性新生物(C69-C72)	C719	脳の悪性新生物, 部位不明	○
眼、脳およびその他の中枢神経系の部位の悪性新生物(C69-C72)	C725	その他および部位不明の脳神経の悪性新生物	
眼、脳およびその他の中枢神経系の部位の悪性新生物(C69-C72)	C729	中枢神経系の悪性新生物, 部位不明	○
甲状腺およびその他の内分泌腺の悪性新生物(C73-C75)	C749	副腎の悪性新生物, 部位不明	
甲状腺およびその他の内分泌腺の悪性新生物(C73-C75)	C758	その他の内分泌腺および関連組織の悪性新生物 複数の内分泌腺, 部位不明	
甲状腺およびその他の内分泌腺の悪性新生物(C73-C75)	C759	その他の内分泌腺および関連組織の悪性新生物 内分泌腺, 部位不明	
部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物(C76-C80)	C760	その他および部位不明確の悪性新生物 頭部, 顔面および頸部の悪性新生物	
部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物(C76-C80)	C761	その他および部位不明確の悪性新生物 胸部<郭>の悪性新生物	
部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物(C76-C80)	C762	その他および部位不明確の悪性新生物 腹部の悪性新生物	
部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物(C76-C80)	C763	その他および部位不明確の悪性新生物 骨盤の悪性新生物	
部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物(C76-C80)	C764	その他および部位不明確の悪性新生物 上肢の悪性新生物	
部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物(C76-C80)	C765	その他および部位不明確の悪性新生物 下肢の悪性新生物	
部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物(C76-C80)	C767	その他および部位不明確の悪性新生物 その他の不明確な部位の悪性新生物	○
部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物(C76-C80)	C768	その他および部位不明確の悪性新生物 その他および部位不明確の境界部病巣	○
部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物(C76-C80)	C779	リンパ節の悪性新生物, 部位不明	○
部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物(C76-C80)	C783	中耳ならびにその他および部位不明の呼吸器の続発性悪性新生物	
部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物(C76-C80)	C788	その他および部位不明の消化器の続発性悪性新生物	
部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物(C76-C80)	C791	膀胱ならびにその他および部位不明の尿路の続発性悪性新生物	
部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物(C76-C80)	C794	眼ならびにその他および部位不明の中枢神経系の続発性悪性新生物	
部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物(C76-C80)	C80	部位の明示されない悪性新生物	
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C819	ホジキン<Hodgkin>病, 詳細不明	○
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C829	ろく瀘>胞性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫, 詳細不明	
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C839	びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫, 詳細不明	○
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C845	その他および詳細不明のT細胞リンパ腫	
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C851	B細胞リンパ腫, 詳細不明	
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C859	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫, 型不明	
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C889	悪性免疫増殖性疾患, 詳細不明	○
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C919	リンパ性白血病, 詳細不明	○
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C929	骨髄性白血病, 詳細不明	○
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C939	単球性白血病, 詳細不明	○
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C950	細胞型不明の急性白血病	
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C951	細胞型不明の慢性白血病	○
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C952	細胞型不明の重急性白血病	○
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C957	細胞型不明のその他の白血病	○
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C959	白血病, 詳細不明	○
リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物(C81-C96)	C969	リンパ組織, 造血組織および関連組織の悪性新生物, 詳細不明	○
上皮内新生物(D00-D09)	D014	その他および部位不明の腸の上皮内癌	
上皮内新生物(D00-D09)	D019	消化器の上皮内癌, 部位不明	○
上皮内新生物(D00-D09)	D024	呼吸器系の上皮内癌, 部位不明	○
上皮内新生物(D00-D09)	D033	その他および部位不明の顔面の上皮内黒色腫	
上皮内新生物(D00-D09)	D039	上皮内黒色腫, 部位不明	○
上皮内新生物(D00-D09)	D043	その他および部位不明の顔面の皮膚の上皮内癌	
上皮内新生物(D00-D09)	D049	皮膚の上皮内癌, 部位不明	○
上皮内新生物(D00-D09)	D059	乳房の上皮内癌, 部位不明	○
上皮内新生物(D00-D09)	D069	子宮頸(部)の上皮内癌, 部位不明	○
上皮内新生物(D00-D09)	D073	その他および部位不明の女性生殖器の上皮内癌	

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
上皮内新生物(D00-D09)	D076	その他および部位不明の男性生殖器の上皮内癌	
上皮内新生物(D00-D09)	D091	その他および部位不明の腎尿路の上皮内癌	
上皮内新生物(D00-D09)	D099	上皮内癌, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D103	口腔のその他および部位不明の良性新生物	
良性新生物(D10-D36)	D109	咽頭の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D119	大唾液腺の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D126	結腸の良性新生物, 部位不明	
良性新生物(D10-D36)	D133	その他および部位不明の小腸の良性新生物	
良性新生物(D10-D36)	D139	消化器系の良性新生物, 部位不明確	
良性新生物(D10-D36)	D144	呼吸器系の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D159	胸腔内臓器の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D169	骨および関節軟骨の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D173	その他および部位不明の皮膚および皮下組織の良性脂肪腫性新生物(脂肪腫を含む)	
良性新生物(D10-D36)	D179	良性脂肪腫性新生物(脂肪腫を含む), 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D199	中皮組織の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D216	体幹の結合組織およびその他の軟部組織の良性新生物, 部位不明	
良性新生物(D10-D36)	D219	結合組織およびその他の軟部組織の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D223	その他および部位不明の顔面のメラニン細胞性母斑の良性新生物	
良性新生物(D10-D36)	D229	メラニン細胞性母斑の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D233	その他および部位不明の顔面の皮膚の良性新生物	
良性新生物(D10-D36)	D239	皮膚の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D259	子宮平滑筋腫, 部位不明	
良性新生物(D10-D36)	D269	子宮の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D289	女性生殖器の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D299	男性生殖器の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D309	尿路の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D316	眼窩の良性新生物, 部位不明	
良性新生物(D10-D36)	D319	眼の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D329	髄膜の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D332	脳の良性新生物, 部位不明	
良性新生物(D10-D36)	D339	中枢神経系の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D358	その他および部位不明の内分泌腺の良性新生物 複数の内分泌腺	
良性新生物(D10-D36)	D359	内分泌腺の良性新生物, 部位不明	○
良性新生物(D10-D36)	D367	その他および部位不明の良性新生物 その他の明示された部位	
良性新生物(D10-D36)	D369	その他および部位不明の良性新生物 部位不明の良性新生物	○
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D370	口唇, 口腔および咽頭の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D371	胃の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D372	小腸の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D373	虫垂の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D374	結腸の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D375	直腸の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D376	肝, 胆のうく囊>および胆管の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D377	その他の消化器の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D379	消化器の性状不詳または不明の新生物, 部位不明	○
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D380	喉頭の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D381	気管, 気管支および肺の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D382	胸膜の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D383	縦隔の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D384	胸腺の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D385	その他の呼吸器の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D386	呼吸器の性状不詳または不明の新生物, 部位不明	○
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D390	子宮の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D391	卵巣の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D392	胎盤の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D397	その他の女性生殖器の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D399	女性生殖器の性状不詳または不明の新生物, 部位不明	○
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D400	前立腺の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D401	精巣<睾丸>の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D407	その他の男性生殖器の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D409	男性生殖器の性状不詳または不明の新生物, 部位不明	○
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D410	腎の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D411	腎盂の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D412	尿管の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D413	尿道の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D414	膀胱の性状不詳または不明の新生物	

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D417	その他の尿路の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D419	尿路の性状不詳または不明の新生物, 部位不明	○
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D420	脳髄膜の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D421	脊髄膜の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D429	髄膜の性状不詳または不明の新生物, 部位不明	○
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D430	脳の性状不詳または不明の新生物, テント上	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D431	脳の性状不詳または不明の新生物, テント下	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D432	脳の性状不詳または不明の新生物, 部位不明	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D433	脳神経の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D434	脊髄の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D437	中枢神経系のその他の部位の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D439	中枢神経系の性状不詳または不明の新生物, 部位不明	○
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D440	甲状腺の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D441	副腎の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D442	上皮小体<副甲状腺>の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D443	下垂体の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D444	頭蓋咽頭管の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D445	松果体の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D446	D44.6 頸動脈小体の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D447	大動脈小体およびその他のパラングリア<傍神経節>の性状不詳または不明の新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D448	内分泌腺の性状不詳または不明の新生物 複数の内分泌腺	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D449	内分泌腺の性状不詳または不明の新生物, 部位不明	○
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D464	骨髄異形成症候群 不応性貧血, 詳細不明	○
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D469	骨髄異形成症候群, 詳細不明	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D470	性状不詳および不明の組織球性および肥満細胞性腫瘍	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D477	リンパ組織, 造血組織および関連組織の性状不詳または不明のその他の明示された新生物	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D479	リンパ組織, 造血組織および関連組織の性状不詳または不明の新生物, 詳細不明	○
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D480	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物 骨および関節軟骨	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D481	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物 結合組織およびその他の軟部組織	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D482	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物 末梢神経および自律神経系	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D483	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物 後腹膜	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D484	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物 腹膜	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D485	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物 皮膚	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D486	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物 乳房	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D487	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物 その他の明示された部位	
性状不詳または不明の新生物(D37-48)	D489	性状不詳または不明の新生物, 部位不明	○
栄養性貧血(D50-D53)	D500-D539	この範囲の「.9」となるもの	○
溶血性貧血(D55-D59)	D559	酵素障害による貧血, 詳細不明	○
溶血性貧血(D55-D59)	D569	サラセミア<地中海貧血>, 詳細不明	○
溶血性貧血(D55-D59)	D589	遺伝性溶血性貧血, 詳細不明	○
溶血性貧血(D55-D59)	D599	後天性溶血性貧血, 詳細不明	
無形成性貧血およびその他の貧血(D60-D64)	D609	後天性赤芽球ろう<癆>, 詳細不明	○
無形成性貧血およびその他の貧血(D60-D64)	D619	無形成性貧血, 詳細不明	
無形成性貧血およびその他の貧血(D60-D64)	D649	貧血, 詳細不明	○
凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態(D65-D69)	D689	凝固障害, 詳細不明	○
凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態(D65-D69)	D696	血小板減少症, 詳細不明	○
凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態(D65-D69)	D699	出血性病態, 詳細不明	○
血液および造血器のその他の疾患(D70-D77)	D720-D759	この範囲の「.9」となるもの	○
免疫機構の障害(D80-D89)	D809	主として抗体欠乏を伴う免疫不全症, 詳細不明	○
免疫機構の障害(D80-D89)	D819	複合免疫不全症, 詳細不明	
免疫機構の障害(D80-D89)	D829	大きな欠損に関連する免疫不全症, 詳細不明	○
免疫機構の障害(D80-D89)	D839	分類不能型免疫不全症, 詳細不明	○
免疫機構の障害(D80-D89)	D849	免疫不全症, 詳細不明	○
免疫機構の障害(D80-D89)	D869	サルコイドーシス, 詳細不明	○
免疫機構の障害(D80-D89)	D892	高ガンマグロブリン血症, 詳細不明	
免疫機構の障害(D80-D89)	D899	免疫機構の障害, 詳細不明	○
甲状腺障害(E00-E07)	E009	先天性ヨード欠乏症候群, 詳細不明	
甲状腺障害(E00-E07)	E012	ヨード欠乏による(地方病性)甲状腺腫, 詳細不明	
甲状腺障害(E00-E07)	E039	甲状腺機能低下症, 詳細不明	
甲状腺障害(E00-E07)	E049	非中毒性甲状腺腫, 詳細不明	
甲状腺障害(E00-E07)	E059	甲状腺中毒症, 詳細不明	
甲状腺障害(E00-E07)	E069	甲状腺炎, 詳細不明	○
甲状腺障害(E00-E07)	E079	甲状腺障害, 詳細不明	○
糖尿病(E10-E14)	E108	インスリン依存性糖尿病<IDDM> 詳細不明の合併症を伴うもの	○
糖尿病(E10-E14)	E118	インスリン非依存性糖尿病<NIDDM> 詳細不明の合併症を伴うもの	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
糖尿病(E10-E14)	E128	栄養障害に関連する糖尿病 詳細不明の合併症を伴うもの	○
糖尿病(E10-E14)	E138	その他の明示された糖尿病 詳細不明の合併症を伴うもの	○
糖尿病(E10-E14)	E140-E149	この範囲の全て	○
その他のグルコース調節および隣内分泌傷害(E15-E16)	E162	低血糖症, 詳細不明	
その他のグルコース調節および隣内分泌傷害(E15-E16)	E169	隣内分泌障害, 詳細不明	
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E209	副甲状腺<上皮小体>機能低下症, 詳細不明	
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E213	副甲状腺<上皮小体>機能亢進症, 詳細不明	○
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E215	副甲状腺<上皮小体>障害, 詳細不明	○
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E229	下垂体機能亢進症, 詳細不明	○
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E237	下垂体障害, 詳細不明	○
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E249	クッシング<Cushing>症候群, 詳細不明	○
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E259	副腎性器障害, 詳細不明	
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E269	アルドステロン症, 詳細不明	○
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E274	その他および詳細不明の副腎皮質機能不全(症)	
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E279	副腎障害, 詳細不明	○
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E289	卵巣機能障害, 詳細不明	○
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E299	精巣<睾丸>機能障害, 詳細不明	○
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E309	思春期障害, 詳細不明	○
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E319	多腺性機能障害, 詳細不明	○
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E329	胸腺の疾患, 詳細不明	○
その他の内分泌腺障害(E20-E35)	E349	内分泌障害, 詳細不明	○
栄養失調(症)(E40-E46)	E43	詳細不明の重度たんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	
栄養失調(症)(E40-E46)	E46	詳細不明のたんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	
その他の栄養欠乏症(E50-E64)	E500-E649	この範囲の「.9」となるもの	○
肥満(症)およびその他の過栄養<過剰摂食>(E65-E68)	E669	肥満(症), 詳細不明	
代謝障害(E70-E90)	E709	芳香族アミノ酸代謝障害, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E712	側鎖<分枝鎖>アミノ酸代謝障害, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E729	アミノ酸代謝障害, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E739	乳糖不耐症, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E749	糖質代謝障害, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E753	スフィンゴリピドーシス, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E756	脂質蓄積障害, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E763	ムコ多糖(体蓄積)症, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E769	グルコサミノグリカン代謝障害, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E779	糖たんぱく<蛋白>代謝障害, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E785	高脂(質)血症, 詳細不明	
代謝障害(E70-E90)	E789	リポたんぱく<蛋白>代謝障害, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E799	プリンおよびピリミジン代謝障害, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E807	ビリルビン代謝障害, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E839	ミネラル<鉱質>代謝障害, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E849	のう<囊>胞性線維症<システィックファイブローシス>, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E852	遺伝性家族性アミロイドーシス<アミロイド症>, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E859	アミロイドーシス<アミロイド症>, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E889	代謝障害, 詳細不明	○
代謝障害(E70-E90)	E899	治療後内分泌および代謝障害, 詳細不明	○
症状性を含む器質性精神障害(F00-F09)	F009	アルツハイマー<Alzheimer>病の認知症, 詳細不明 (G30.9†)	○
症状性を含む器質性精神障害(F00-F09)	F019	血管性認知症, 詳細不明	○
症状性を含む器質性精神障害(F00-F09)	F03	詳細不明の認知症	
症状性を含む器質性精神障害(F00-F09)	F059	せん妄, 詳細不明	○
症状性を含む器質性精神障害(F00-F09)	F069	脳の損傷および機能不全ならびに身体疾患による詳細不明の精神障害	○
症状性を含む器質性精神障害(F00-F09)	F079	脳の疾患, 損傷および機能不全による器質性的人格および行動の障害, 詳細不明	
症状性を含む器質性精神障害(F00-F09)	F09	詳細不明の器質性または症状性精神障害	
精神作用物質による精神および行動の障害(F10-F19)	F100-F199	この範囲の「.9」となるもの	○
統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害(F20-F29)	F209	統合失調症, 詳細不明	○
統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害(F20-F29)	F229	持続性妄想性障害, 詳細不明	○
統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害(F20-F29)	F239	急性一過性精神病性障害, 詳細不明	
統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害(F20-F29)	F259	統合失調感情障害, 詳細不明	○
統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害(F20-F29)	F29	詳細不明の非器質性精神病	
気分(感情)障害(F30-F39)	F300-349	この範囲の「.9」となるもの	○
気分(感情)障害(F30-F39)	F39	詳細不明の気分[感情]障害	
神経性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害(F40-F48)	F400-F489	この範囲の「.9」となるもの	○
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群(F50-F59)	F500-F55	この範囲の「.9」となるもの	○
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群(F50-F59)	F59	生理的障害および身体的要因に関連した詳細不明の行動症候群	
成人の人格および行動の障害(F60-F69)	F603D	情緒不安定性人格障害, 詳細不明	○
成人の人格および行動の障害(F60-F69)	F609	人格障害, 詳細不明	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
成人の人格および行動の障害(F60-F69)	F629	持続的人格変化, 詳細不明	○
成人の人格および行動の障害(F60-F69)	F639	習慣および衝動の障害, 詳細不明	○
成人の人格および行動の障害(F60-F69)	F649	性同一性障害, 詳細不明	○
成人の人格および行動の障害(F60-F69)	F659	性嗜好の障害, 詳細不明	○
成人の人格および行動の障害(F60-F69)	F669	心理的性発達障害, 詳細不明	○
成人の人格および行動の障害(F60-F69)	F69	詳細不明の成人の人格および行動の障害	
知的障害<精神遅滞>(F70-F79)	F790-F799	この範囲の全て	○
心理的発達の障害(F80-F89)	F809	会話および言語の発達障害, 詳細不明	○
心理的発達の障害(F80-F89)	F819	学習能力発達障害, 詳細不明	○
心理的発達の障害(F80-F89)	F849	広汎性発達障害, 詳細不明	○
心理的発達の障害(F80-F89)	F89	詳細不明の心理的発達障害	
小児<児童>期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害(F90-F98)	F900-F959	この範囲の「9」となるもの	○
小児<児童>期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害(F90-F98)	F989	小児<児童>期および青年期に通常発症する詳細不明の行動および情緒の障害	○
詳細不明の精神障害(F99)	F99	精神障害, 詳細不明	
中枢神経系の炎症性疾患(G00-G09)	G000-G049	この範囲の「9」となるもの	○
中枢神経系の炎症性疾患(G00-G09)	G062	硬膜外および硬膜下膿瘍, 詳細不明	○
主に中枢神経系を障害する系統萎縮症(G10-G13)	G110-G129	この範囲の「9」となるもの	○
錐体外路障害および異常運動(G20-G26)	G20-G259	この範囲の「9」となるもの	○
神経系のその他の変性疾患(G30-G32)	G300-G319	この範囲の「9」となるもの	○
中枢神経系の脱髄疾患(G35-G37)	G35-G379	この範囲の「9」となるもの	○
挿間性および発作性障害(G40-G47)	G406	大発作, 詳細不明(小発作を伴うものまたは伴わないもの)	○
挿間性および発作性障害(G40-G47)	G407	小発作, 詳細不明, 大発作を伴わないもの	○
挿間性および発作性障害(G40-G47)	G409	てんかん, 詳細不明	○
挿間性および発作性障害(G40-G47)	G419	てんかん重積(状態), 詳細不明	○
挿間性および発作性障害(G40-G47)	G439	片頭痛, 詳細不明	○
挿間性および発作性障害(G40-G47)	G459	一過性脳虚血発作, 詳細不明	○
挿間性および発作性障害(G40-G47)	G479	睡眠障害, 詳細不明	○
神経、神経根および神経そく叢の障害(G50-G59)	G500-G589	この範囲の「9」となるもの	○
多発(性)ニューロパチ<シ>およびその他の末梢神経系の障害(G60-G64)	G600-G629	この範囲の「9」となるもの	○
神経筋接合部および筋の疾患(G70-G73)	G700-G729	この範囲の「9」となるもの	○
脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群(G80-G83)	G800-G819	この範囲の「9」となるもの	○
脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群(G80-G83)	G822	対麻痺, 詳細不明	○
脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群(G80-G83)	G825	四肢麻痺, 詳細不明	○
脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群(G80-G83)	G833	単麻痺, 詳細不明	○
脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群(G80-G83)	G839	麻痺性症候群, 詳細不明	○
神経系のその他の障害(G90-G99)	G909	自律神経系の障害, 詳細不明	○
神経系のその他の障害(G90-G99)	G913	外傷後水頭症, 詳細不明	○
神経系のその他の障害(G90-G99)	G919	水頭症, 詳細不明	○
神経系のその他の障害(G90-G99)	G934	脳症<エンセファロパチ<シ>->, 詳細不明	○
神経系のその他の障害(G90-G99)	G939	脳の障害, 詳細不明	○
神経系のその他の障害(G90-G99)	G952	脊髄圧迫, 詳細不明	○
神経系のその他の障害(G90-G99)	G959	脊髄疾患, 詳細不明	○
神経系のその他の障害(G90-G99)	G969	中枢神経系の障害, 詳細不明	○
神経系のその他の障害(G90-G99)	G979	神経系の処置後障害, 詳細不明	○
眼瞼、涙器および眼窩の障害(H00-H06)	H019	眼瞼の炎症, 詳細不明	○
眼瞼、涙器および眼窩の障害(H00-H06)	H029	眼瞼の障害, 詳細不明	○
眼瞼、涙器および眼窩の障害(H00-H06)	H043	涙道の急性および詳細不明の炎症	○
眼瞼、涙器および眼窩の障害(H00-H06)	H049	涙器の障害, 詳細不明	○
眼瞼、涙器および眼窩の障害(H00-H06)	H059	眼窩の障害, 詳細不明	○
結膜の障害(H10-H13)	H103	急性結膜炎, 詳細不明	○
結膜の障害(H10-H13)	H109	結膜炎, 詳細不明	○
結膜の障害(H10-H13)	H119	結膜の障害, 詳細不明	○
強膜、角膜、虹彩および毛様体の障害(H15-H22)	H159-H219	この範囲の「9」となるもの	○
水晶体の障害(H25-H28)	H250-H279	この範囲の「9」となるもの	○
脈絡膜および網膜の障害(H30-H36)	H300-H359	この範囲の「9」となるもの	○
緑内障(H40-H42)	H409	緑内障, 詳細不明	○
硝子体および眼球の障害(H43-H45)	H430-H449	この範囲の「9」となるもの	○
視神経および視(覚)路の障害(H46-H48)	H471	乳頭浮腫, 詳細不明	○
視神経および視(覚)路の障害(H46-H48)	H477	視(覚)路の障害, 詳細不明	○
眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害(H49-H52)	H499	麻痺性斜視, 詳細不明	○
眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害(H49-H52)	H504	その他および詳細不明の斜視	○
眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害(H49-H52)	H509	斜視, 詳細不明	○
眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害(H49-H52)	H519	両眼運動障害, 詳細不明	○
眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害(H49-H52)	H527	屈折の障害, 詳細不明	○
視機能障害および盲<失明>(H53-H54)	H539	視覚障害, 詳細不明	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
視機能障害および盲く失明>(H53-H54)	H543	詳細不明の視力障害, 両眼	○
視機能障害および盲く失明>(H53-H54)	H546	詳細不明の視力障害, 片眼	○
視機能障害および盲く失明>(H53-H54)	H547	詳細不明の視力障害	○
眼および付属器のその他の障害 (H55-H59)	H570-H599	この範囲の「9」となるもの	○
外耳疾患 (H60-H62)	H600-H619	この範囲の「9」となるもの	○
中耳および乳様突起の疾患 (H65-H75)	H659	非化膿性中耳炎, 詳細不明	○
中耳および乳様突起の疾患 (H65-H75)	H66	化膿性および詳細不明の中耳炎	○
中耳および乳様突起の疾患 (H65-H75)	H664	化膿性中耳炎, 詳細不明	○
中耳および乳様突起の疾患 (H65-H75)	H669	中耳炎, 詳細不明	○
中耳および乳様突起の疾患 (H65-H75)	H690-H749	この範囲の「9」となるもの	○
内耳疾患 (H80-H83)	H800-H839	この範囲の「9」となるもの	○
耳のその他の障害 (H90-H95)	H902	伝音難聴, 詳細不明	○
耳のその他の障害 (H90-H95)	H905	感音難聴, 詳細不明	○
耳のその他の障害 (H90-H95)	H908	混合難聴, 詳細不明	○
耳のその他の障害 (H90-H95)	H919	難聴, 詳細不明	○
耳のその他の障害 (H90-H95)	H939	耳の障害, 詳細不明	○
耳のその他の障害 (H90-H95)	H959	耳および乳様突起の処置後障害, 詳細不明	○
急性リウマチ熱 (I00-I02)	I019	急性リウマチ性心疾患, 詳細不明	○
慢性リウマチ性心疾患 (I05-I09)	I059	僧帽弁疾患, 詳細不明	○
慢性リウマチ性心疾患 (I05-I09)	I069	リウマチ性大動脈弁疾患, 詳細不明	○
慢性リウマチ性心疾患 (I05-I09)	I079	三尖弁疾患, 詳細不明	○
慢性リウマチ性心疾患 (I05-I09)	I089	連合弁膜症, 詳細不明	○
慢性リウマチ性心疾患 (I05-I09)	I091	心内膜のリウマチ性疾患, 弁膜不詳	○
慢性リウマチ性心疾患 (I05-I09)	I099	リウマチ性心疾患, 詳細不明	○
高血圧性疾患 (I10-I15)	I130-I159	この範囲の「9」となるもの	○
虚血性心疾患 (I20-I25)	I209	狭心症, 詳細不明	○
虚血性心疾患 (I20-I25)	I213	急性貫壁性心筋梗塞, 部位不明	○
虚血性心疾患 (I20-I25)	I219	急性心筋梗塞, 詳細不明	○
虚血性心疾患 (I20-I25)	I229	部位不明の再発性心筋梗塞	○
虚血性心疾患 (I20-I25)	I249	急性虚血性心疾患, 詳細不明	○
虚血性心疾患 (I20-I25)	I259	慢性虚血性心疾患, 詳細不明	○
肺性心疾患および肺循環疾患 (I26-I28)	I269	急性肺性心の記載のない肺塞栓症	○
肺性心疾患および肺循環疾患 (I26-I28)	I279	肺性心疾患, 詳細不明	○
肺性心疾患および肺循環疾患 (I26-I28)	I289	肺血管の疾患, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I309	急性心膜炎, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I319	心膜の疾患, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I339	急性心内膜炎, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I349	非リウマチ性僧帽弁障害, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I359	大動脈弁障害, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I369	非リウマチ性三尖弁障害, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I379	肺動脈弁障害, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I398	弁膜不詳の心内膜炎, 他に分類される疾患におけるもの	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I409	急性心筋炎, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I429	心筋症, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I443	その他および詳細不明の房室ブロック	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I446	その他および詳細不明の分枝ブロック	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I447	左脚ブロック, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I451	その他および詳細不明の右脚ブロック	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I459	伝導障害, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I469	心停止, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I479	発作性頻拍(症), 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I494	その他および詳細不明の早期脱分極	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I499	不整脈, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I509	心不全, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I514	心筋炎, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I516	心血管疾患, 詳細不明	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I518	その他の診断名不明確な心疾患	○
その他の型の心疾患 (I30-I52)	I519	心疾患, 詳細不明	○
脳血管疾患 (I60-I69)	I607	頭蓋内動脈からのくも膜下出血, 詳細不明	○
脳血管疾患 (I60-I69)	I609	くも膜下出血, 詳細不明	○
脳血管疾患 (I60-I69)	I612	(大脳)半球の脳内出血, 詳細不明	○
脳血管疾患 (I60-I69)	I619	脳内出血, 詳細不明	○
脳血管疾患 (I60-I69)	I629	頭蓋内出血(非外傷性), 詳細不明	○
脳血管疾患 (I60-I69)	I632	脳実質外動脈の詳細不明の閉塞または狭窄による脳梗塞	○
脳血管疾患 (I60-I69)	I635	脳動脈の詳細不明の閉塞または狭窄による脳梗塞	○



中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
脳血管疾患 (I60-I69)	I639	脳梗塞, 詳細不明	○
脳血管疾患 (I60-I69)	I64	脳卒中, 脳出血または脳梗塞と明示されないもの	
脳血管疾患 (I60-I69)	I659	詳細不明の脳実質外動脈の閉塞および狭窄	○
脳血管疾患 (I60-I69)	I669	詳細不明の脳動脈の閉塞および狭窄	○
脳血管疾患 (I60-I69)	I679	脳血管疾患, 詳細不明	○
脳血管疾患 (I60-I69)	I694	脳卒中の続発・後遺症, 出血または梗塞と明示されないもの	
脳血管疾患 (I60-I69)	I698	その他および詳細不明の脳血管疾患の続発・後遺症	○
動脈, 細動脈および毛細血管の疾患 (I70-I79)	I709	全身性および詳細不明のアテローム<じゅくく粥>状>硬化(症)	
動脈, 細動脈および毛細血管の疾患 (I70-I79)	I718	部位不明の大動脈瘤, 破裂性	○
動脈, 細動脈および毛細血管の疾患 (I70-I79)	I719	部位不明の大動脈瘤, 破裂の記載がないもの	○
動脈, 細動脈および毛細血管の疾患 (I70-I79)	I729	部位不明の動脈瘤	○
動脈, 細動脈および毛細血管の疾患 (I70-I79)	I739	末梢血管疾患, 詳細不明	○
動脈, 細動脈および毛細血管の疾患 (I70-I79)	I741	その他および部位不明の大動脈の塞栓症および血栓症	
動脈, 細動脈および毛細血管の疾患 (I70-I79)	I744	詳細不明の(四)肢の動脈の塞栓症および血栓症	○
動脈, 細動脈および毛細血管の疾患 (I70-I79)	I749	詳細不明の動脈の塞栓症および血栓症	○
動脈, 細動脈および毛細血管の疾患 (I70-I79)	I776	動脈炎, 詳細不明	○
動脈, 細動脈および毛細血管の疾患 (I70-I79)	I779	動脈および細動脈の障害, 詳細不明	○
動脈, 細動脈および毛細血管の疾患 (I70-I79)	I789	毛細血管の疾患, 詳細不明	○
静脈, リンパ管およびリンパ節の疾患, 他に分類されないもの (I80-I89)	I803	下肢の静脈炎および血栓(性)静脈炎, 詳細不明	○
静脈, リンパ管およびリンパ節の疾患, 他に分類されないもの (I80-I89)	I809	部位不明の静脈炎および血栓(性)静脈炎	○
静脈, リンパ管およびリンパ節の疾患, 他に分類されないもの (I80-I89)	I829	部位不明の静脈の塞栓症および血栓症	○
静脈, リンパ管およびリンパ節の疾患, 他に分類されないもの (I80-I89)	I847	詳細不明の血栓性痔核	○
静脈, リンパ管およびリンパ節の疾患, 他に分類されないもの (I80-I89)	I848	その他の合併症を伴う詳細不明の痔核	○
静脈, リンパ管およびリンパ節の疾患, 他に分類されないもの (I80-I89)	I849	合併症を伴わない痔核, 詳細不明	○
静脈, リンパ管およびリンパ節の疾患, 他に分類されないもの (I80-I89)	I879	静脈の障害, 詳細不明	○
静脈, リンパ管およびリンパ節の疾患, 他に分類されないもの (I80-I89)	I889	非特異性リンパ節炎, 詳細不明	○
静脈, リンパ管およびリンパ節の疾患, 他に分類されないもの (I80-I89)	I899	リンパ管およびリンパ節の非感染性障害, 詳細不明	○
循環器系のその他および詳細不明の障害 (I95-I99)	I950-I979	この範囲の「9」となるもの	○
循環器系のその他および詳細不明の障害 (I95-I99)	I99	循環器系のその他および詳細不明の障害	
急性上気道感染症(J00-J06)	J010-J039	この範囲の「9」となるもの	
急性上気道感染症(J00-J06)	J069	急性上気道感染症, 詳細不明	
インフルエンザおよび肺炎(J10-J18)	J129	ウイルス肺炎, 詳細不明	
インフルエンザおよび肺炎(J10-J18)	J159	細菌性肺炎, 詳細不明	
インフルエンザおよび肺炎(J10-J18)	J180-J189	この範囲の全て	
その他の急性下気道感染症(J20-J22)	J209	急性気管支炎, 詳細不明	
その他の急性下気道感染症(J20-J22)	J219	急性細気管支炎, 詳細不明	
その他の急性下気道感染症(J20-J22)	J22	詳細不明の急性下気道感染症	
上気道のその他の疾患 (J30-J39)	J304	アレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>, 詳細不明	○
上気道のその他の疾患 (J30-J39)	J329	慢性副鼻腔炎, 詳細不明	○
上気道のその他の疾患 (J30-J39)	J339	鼻ポリープ, 詳細不明	○
上気道のその他の疾患 (J30-J39)	J359	扁桃およびアデノイドの慢性疾患, 詳細不明	○
上気道のその他の疾患 (J30-J39)	J393	上気道過敏反応, 部位不明	○
上気道のその他の疾患 (J30-J39)	J399	上気道の疾患, 詳細不明	○
慢性下気道疾患(J40-J47)	J40	気管支炎, 急性または慢性と明示されないもの	
慢性下気道疾患(J40-J47)	J42	詳細不明の慢性気管支炎	
慢性下気道疾患(J40-J47)	J439	肺炎腫, 詳細不明	
慢性下気道疾患(J40-J47)	J441	急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患, 詳細不明	
慢性下気道疾患(J40-J47)	J449	慢性閉塞性肺疾患, 詳細不明	○
慢性下気道疾患(J40-J47)	J459	喘息, 詳細不明	
外因因子による肺疾患(J60-J70)	J64	詳細不明のじん<塵>肺(症)	
外因因子による肺疾患(J60-J70)	J679	詳細不明の有機粉じん<塵>による過敏性肺臓炎	○
外因因子による肺疾患(J60-J70)	J689	化学物質, ガス, フュームおよび蒸気による詳細不明の呼吸器病態	○
外因因子による肺疾患(J60-J70)	J704	薬物誘発性間質性肺障害, 詳細不明	○
外因因子による肺疾患(J60-J70)	J709	詳細不明の外因因子による呼吸器病態	○
主として間質を障害するその他の呼吸器疾患(J80-J84)	J849	間質性肺疾患, 詳細不明	○
胸膜のその他の疾患(J90-J94)	J939	気胸, 詳細不明	○
胸膜のその他の疾患(J90-J94)	J949	胸膜病態, 詳細不明	○
呼吸器系のその他の疾患(J95-J99)	J950-J989	この範囲の「9」となるもの	○
口腔, 唾液腺および顎の疾患(K00-K14)	K009	歯の発育障害, 詳細不明	○
口腔, 唾液腺および顎の疾患(K00-K14)	K029	う<齲>蝕, 詳細不明	○
口腔, 唾液腺および顎の疾患(K00-K14)	K039	歯の硬組織の疾患, 詳細不明	○
口腔, 唾液腺および顎の疾患(K00-K14)	K049	歯髄および根尖周囲組織のその他および詳細不明の疾患	○
口腔, 唾液腺および顎の疾患(K00-K14)	K056	歯周疾患, 詳細不明	○
口腔, 唾液腺および顎の疾患(K00-K14)	K069	歯肉および無歯顎堤の障害, 詳細不明	○
口腔, 唾液腺および顎の疾患(K00-K14)	K074	不正咬合, 詳細不明	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
口腔、唾液腺および顎の疾患(K00-K14)	K079	歯顎顔面の異常, 詳細不明	○
口腔、唾液腺および顎の疾患(K00-K14)	K089	歯および歯の支持組織の障害, 詳細不明	○
口腔、唾液腺および顎の疾患(K00-K14)	K099	口腔部のうく囊>胞, 詳細不明	○
口腔、唾液腺および顎の疾患(K00-K14)	K109	顎骨の疾患, 詳細不明	○
口腔、唾液腺および顎の疾患(K00-K14)	K119	唾液腺疾患, 詳細不明	○
口腔、唾液腺および顎の疾患(K00-K14)	K137	その他および詳細不明の口腔粘膜の病変	
口腔、唾液腺および顎の疾患(K00-K14)	K149	舌疾患, 詳細不明	○
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K229	食道の疾患, 詳細不明	○
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K254	胃潰瘍 慢性または詳細不明, 出血を伴うもの	
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K255	胃潰瘍 慢性または詳細不明, 穿孔を伴うもの	
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K256	胃潰瘍 慢性または詳細不明, 出血および穿孔の両者を伴うもの	
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K259	胃潰瘍 急性または慢性の別不明, 出血または穿孔を伴わないもの	○
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K264	十二指腸潰瘍 慢性または詳細不明, 出血を伴うもの	
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K265	十二指腸潰瘍 慢性または詳細不明, 穿孔を伴うもの	
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K266	十二指腸潰瘍 慢性または詳細不明, 出血および穿孔の両者を伴うもの	
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K269	十二指腸潰瘍 急性または慢性の別不明, 出血または穿孔を伴わないもの	○
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K270-K279	この範囲の全て	○
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K284	胃空腸潰瘍 慢性または詳細不明, 出血を伴うもの	
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K285	胃空腸潰瘍 慢性または詳細不明, 穿孔を伴うもの	
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K286	胃空腸潰瘍 慢性または詳細不明, 出血および穿孔の両者を伴うもの	
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K289	胃空腸潰瘍 急性または慢性の別不明, 出血または穿孔を伴わないもの	○
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K295	慢性胃炎, 詳細不明	○
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K297	胃炎, 詳細不明	○
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K299	胃十二指腸炎, 詳細不明	○
食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	K319	胃および十二指腸の疾患, 詳細不明	○
虫垂の疾患(K35-K38)	K359	急性虫垂炎, 詳細不明	
虫垂の疾患(K35-K38)	K37	詳細不明の虫垂炎	
虫垂の疾患(K35-K38)	K389	虫垂の疾患, 詳細不明	○
ヘルニア(K40-K46)	K403	一側性または患側不明のそけいく巣径>ヘルニア, 閉塞を伴い, えく壊>疝を伴わないもの	
ヘルニア(K40-K46)	K404	一側性または患側不明のそけいく巣径>ヘルニア, えく壊>疝を伴うもの	
ヘルニア(K40-K46)	K409	一側性または患側不明のそけいく巣径>ヘルニア, 閉塞またはえく壊>疝を伴わないもの	
ヘルニア(K40-K46)	K413	一側性または患側不明の大腿く股>ヘルニア, 閉塞を伴い, えく壊>疝を伴わないもの	
ヘルニア(K40-K46)	K414	一側性または患側不明の大腿く股>ヘルニア, えく壊>疝を伴うもの	
ヘルニア(K40-K46)	K419	一側性または患側不明の大腿く股>ヘルニア, 閉塞またはえく壊>疝を伴わないもの	
ヘルニア(K40-K46)	K460-K469	この範囲の全て	○
非感染性腸炎および非感染性大腸炎(K50-K52)	K500-K529	この範囲の「9」となるもの	○
腸のその他の疾患(K55-K63)	K559	腸の血行障害, 詳細不明	○
腸のその他の疾患(K55-K63)	K566	その他および詳細不明の腸閉塞	○
腸のその他の疾患(K55-K63)	K567	イレウス, 詳細不明	○
腸のその他の疾患(K55-K63)	K578	腸の憩室性疾患, 部位不明, 穿孔および膿瘍を伴うもの	○
腸のその他の疾患(K55-K63)	K579	腸の憩室性疾患, 部位不明, 穿孔および膿瘍を伴わないもの	○
腸のその他の疾患(K55-K63)	K599	腸の機能障害, 詳細不明	○
腸のその他の疾患(K55-K63)	K602	裂肛, 詳細不明	○
腸のその他の疾患(K55-K63)	K629	肛門および直腸の疾患, 詳細不明	○
腸のその他の疾患(K55-K63)	K639	腸の疾患, 詳細不明	○
腹膜の疾患(K65-K67)	K650-K669	この範囲の「9」となるもの	○
肝疾患(K70-K77)	K709	アルコール性肝疾患, 詳細不明	○
肝疾患(K70-K77)	K719	中毒性肝疾患, 詳細不明	○
肝疾患(K70-K77)	K729	肝不全, 詳細不明	○
肝疾患(K70-K77)	K739	慢性肝炎, 詳細不明	○
肝疾患(K70-K77)	K745	胆汁性肝硬変, 詳細不明	○
肝疾患(K70-K77)	K746	その他および詳細不明の肝硬変	
肝疾患(K70-K77)	K759	炎症性肝疾患, 詳細不明	○
肝疾患(K70-K77)	K769	肝疾患, 詳細不明	○
胆のうく囊>, 胆管および膵の障害(K80-K87)	K810-K869	この範囲の「9」となるもの	○
消化器系のその他の疾患(K90-K93)	K909	腸性吸収不良(症), 詳細不明	○
消化器系のその他の疾患(K90-K93)	K919	消化器系の処置後障害, 詳細不明	○
消化器系のその他の疾患(K90-K93)	K922	胃腸出血, 詳細不明	○
消化器系のその他の疾患(K90-K93)	K929	消化器系の疾患, 詳細不明	○
皮膚および皮下組織の感染症(L00-L08)	L029	皮膚膿瘍, せつくフルンケル>および ようくカルブンケル>, 部位不明	○
皮膚および皮下組織の感染症(L00-L08)	L039	蜂巣炎<蜂窩織炎>, 詳細不明	○
皮膚および皮下組織の感染症(L00-L08)	L049	急性リンパ節炎, 部位不明	○
皮膚および皮下組織の感染症(L00-L08)	L089	皮膚および皮下組織の局所感染症, 詳細不明	○
水疱症(L10-L14)	L100-L139	この範囲の「9」となるもの	○
皮膚炎および湿疹(L20-L30)	L209	アトピー性皮膚炎, 詳細不明	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
皮膚炎および湿疹(L20-L30)	L219	脂漏性皮膚炎, 詳細不明	○
皮膚炎および湿疹(L20-L30)	L239	アレルギー性接触皮膚炎, 原因不明	○
皮膚炎および湿疹(L20-L30)	L249	刺激性接触皮膚炎, 原因不明	○
皮膚炎および湿疹(L20-L30)	L250-L259	この範囲の全て	○
皮膚炎および湿疹(L20-L30)	L279	詳細不明の摂取物質による皮膚炎	○
皮膚炎および湿疹(L20-L30)	L293	肛門性器そうく?>痒症, 詳細不明	○
皮膚炎および湿疹(L20-L30)	L299	そうく?>痒症, 詳細不明	○
皮膚炎および湿疹(L20-L30)	L309	皮膚炎, 詳細不明	○
丘疹落せつく屑>くりんせつく鱗屑>>性障害(L40-L45)	L400-L449	この範囲の「9」となるもの	○
じんまく尋麻>疹および紅斑(L50-L54)	L500-L539	この範囲の「9」となるもの	○
皮膚および皮膚組織の放射線(非電離および電離)に関連する障害(L55-L59)	L550-L599	この範囲の「9」となるもの	○
皮膚付属器の障害(L60-L75)	L609	爪の障害, 詳細不明	○
皮膚付属器の障害(L60-L75)	L639	円形脱毛症, 詳細不明	○
皮膚付属器の障害(L60-L75)	L649	男性ホルモン性脱毛症, 詳細不明	○
皮膚付属器の障害(L60-L75)	L659	非瘢痕性脱毛症, 詳細不明	○
皮膚付属器の障害(L60-L75)	L669	瘢痕性脱毛症, 詳細不明	○
皮膚付属器の障害(L60-L75)	L679	毛髪の色および毛幹の異常, 詳細不明	○
皮膚付属器の障害(L60-L75)	L689	多毛症, 詳細不明	○
皮膚付属器の障害(L60-L75)	L709	ざ瘡<アクネ>, 詳細不明	○
皮膚付属器の障害(L60-L75)	L719	しゅさく酒さ>, 詳細不明	○
皮膚付属器の障害(L60-L75)	L729	皮膚および皮下組織の毛包のうく囊>胞, 詳細不明	○
皮膚付属器の障害(L60-L75)	L739	毛包障害, 詳細不明	○
皮膚付属器の障害(L60-L75)	L743	汗疹, 詳細不明	○
皮膚付属器の障害(L60-L75)	L749	エクリン汗腺の障害, 詳細不明	○
皮膚付属器の障害(L60-L75)	L759	アポクリン汗腺の障害, 詳細不明	○
皮膚および皮下組織のその他の障害(L80-L99)	L810-L989	この範囲の「9」となるもの	○
◇注意: M99を除くM分類について、5桁目を必要とする場合、5桁目が「9」になることはない。			
感染性関節障害(M00-M03)	M000-M008	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
感染性関節障害(M00-M03)	M0090-M0099	この範囲の全て	○
感染性関節障害(M00-M03)	M010-M028	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
感染性関節障害(M00-M03)	M0290-M0299	この範囲の全て	○
感染性関節障害(M00-M03)	M030-M058	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M0590-M0599	この範囲の全て	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M060-M068	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M0690-M0699	この範囲の全て	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M070-M088	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M0890-M0899	この範囲の全て	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M090-M104	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M1090-M1099	この範囲の全て	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M110-M118	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M1190-M1199	この範囲の全て	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M120-M128	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M1300	多発性関節炎, 詳細不明 多部位	
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M1301	多発性関節炎, 詳細不明 肩甲帯	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M1302	多発性関節炎, 詳細不明 上腕	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M1303	多発性関節炎, 詳細不明 前腕	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M1304	多発性関節炎, 詳細不明 手	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M1305	多発性関節炎, 詳細不明 骨盤部および大腿	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M1306	多発性関節炎, 詳細不明 下腿	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M1307	多発性関節炎, 詳細不明 足関節部および足	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M1308	多発性関節炎, 詳細不明 その他	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M1309	多発性関節炎, 詳細不明 部位不明	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M131-M138	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
炎症性多発性関節障害(M05-M14)	M1390-M1399	この範囲の全て	○
関節症(M15-M19)	M159	多発性関節症, 詳細不明	○
関節症(M15-M19)	M169	股関節症, 詳細不明	○
関節症(M15-M19)	M179	膝関節症, 詳細不明	○
関節症(M15-M19)	M189	第1手根中手関節の関節症, 詳細不明	○
関節症(M15-M19)	M190-M198	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
関節症(M15-M19)	M1990-M1999	この範囲の全て	○
その他の関節障害(M20-M25)	M206	趾<足ゆび>の後天性変形, 詳細不明	○
その他の関節障害(M20-M25)	M210-M218	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の関節障害(M20-M25)	M2190-M2199	この範囲の全て	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
その他の関節障害 (M20-M25)	M229	膝蓋骨の障害, 詳細不明	○
その他の関節障害 (M20-M25)	M230-M238	この範囲の部位コード「3」「6」となるもの	
その他の関節障害 (M20-M25)	M230-M238	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の関節障害 (M20-M25)	M2390-M2399	この範囲の全て	○
その他の関節障害 (M20-M25)	M240-M248	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の関節障害 (M20-M25)	M2490-M2499	この範囲の全て	○
その他の関節障害 (M20-M25)	M250-M258	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の関節障害 (M20-M25)	M2590-M2599	この範囲の全て	○
全身性結合組織障害 (M30-M36)	M319	えく壊>死性血管障害, 詳細不明	○
全身性結合組織障害 (M30-M36)	M329	全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡><SLE>, 詳細不明	○
全身性結合組織障害 (M30-M36)	M339	皮膚(多発性)筋炎, 詳細不明	○
全身性結合組織障害 (M30-M36)	M349	全身性硬化症, 詳細不明	○
全身性結合組織障害 (M30-M36)	M359	全身性結合組織疾患, 詳細不明	○
変形性脊柱障害 (M40-M43)	M400-M401	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
変形性脊柱障害 (M40-M43)	M4020-M4029	この範囲の全て	○
変形性脊柱障害 (M40-M43)	M403-M404	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
変形性脊柱障害 (M40-M43)	M4050-M4059	この範囲の全て	○
変形性脊柱障害 (M40-M43)	M410-M418	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
変形性脊柱障害 (M40-M43)	M4190-M4199	この範囲の全て	○
変形性脊柱障害 (M40-M43)	M420-M421	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
変形性脊柱障害 (M40-M43)	M4290-M4299	この範囲の全て	○
変形性脊柱障害 (M40-M43)	M430-M438	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
変形性脊柱障害 (M40-M43)	M4390-M4399	この範囲の全て	○
脊椎障害 (M45-M49)	M450-M463	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
脊椎障害 (M45-M49)	M4640-M4649	この範囲の全て	○
脊椎障害 (M45-M49)	M465-M468	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
脊椎障害 (M45-M49)	M4690-M4699	この範囲の全て	○
脊椎障害 (M45-M49)	M470-M478	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
脊椎障害 (M45-M49)	M4790-M4799	この範囲の全て	○
脊椎障害 (M45-M49)	M480-M488	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
脊椎障害 (M45-M49)	M4890-M4899	この範囲の全て	○
脊椎障害 (M45-M49)	M490-M498	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の脊柱障害 (M50-M54)	M509	頸部椎間板障害, 詳細不明	○
その他の脊柱障害 (M50-M54)	M519	椎間板障害, 詳細不明	○
その他の脊柱障害 (M50-M54)	M530-M538	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の脊柱障害 (M50-M54)	M5390-M5399	この範囲の全て	○
その他の脊柱障害 (M50-M54)	M540-M548	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の脊柱障害 (M50-M54)	M5490-M5499	この範囲の全て	○
筋障害 (M60-M63)	M600-M608	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
筋障害 (M60-M63)	M6090-M6099	この範囲の全て	○
筋障害 (M60-M63)	M610-M615	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
筋障害 (M60-M63)	M6190-M6199	この範囲の全て	○
筋障害 (M60-M63)	M620-M628	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
筋障害 (M60-M63)	M6290-M6299	この範囲の全て	○
滑膜および腱の障害 (M65-M68)	M650-M658	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
滑膜および腱の障害 (M65-M68)	M6590-M6599	この範囲の全て	○
滑膜および腱の障害 (M65-M68)	M660-M664	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
滑膜および腱の障害 (M65-M68)	M6650-M6659	この範囲の全て	○
滑膜および腱の障害 (M65-M68)	M679	滑膜および腱の障害, 詳細不明	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M700-M708	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M7090-M7099	この範囲の全て	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M710-M718	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M7190-M7199	この範囲の全て	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M720-M728	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M7290-M7299	この範囲の全て	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M730-M738	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M759	肩の傷害<損傷>, 詳細不明	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M760-M768	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M7690-M7699	この範囲の全て	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M770-M778	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M7790-M7799	この範囲の全て	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M7900-M7909	この範囲の全て	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M7919	筋(肉)痛 部位不明	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M7920-M7929	この範囲の全て	○
その他の軟部組織障害 (M70-M79)	M7930-M7939	この範囲の全て	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
その他の軟部組織障害(M70-M79)	M794-M798	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の軟部組織障害(M70-M79)	M7990-M7999	この範囲の全て	○
骨の密度および構造の障害(M80-M85)	M800-M808	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
骨の密度および構造の障害(M80-M85)	M8090-M8099	この範囲の全て	○
骨の密度および構造の障害(M80-M85)	M810-M818	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
骨の密度および構造の障害(M80-M85)	M8190-M8199	この範囲の全て	○
骨の密度および構造の障害(M80-M85)	M820-M838	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
骨の密度および構造の障害(M80-M85)	M8390-M8399	この範囲の全て	○
骨の密度および構造の障害(M80-M85)	M840-M848	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
骨の密度および構造の障害(M80-M85)	M8490-M8499	この範囲の全て	○
骨の密度および構造の障害(M80-M85)	M850-M858	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
骨の密度および構造の障害(M80-M85)	M8590-M8599	この範囲の全て	○
その他の骨障害(M86-M90)	M860-M868	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の骨障害(M86-M90)	M8690-M8699	この範囲の全て	○
その他の骨障害(M86-M90)	M870-M878	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の骨障害(M86-M90)	M8790-M8799	この範囲の全て	○
その他の骨障害(M86-M90)	M880-M888	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の骨障害(M86-M90)	M8890-M8899	この範囲の全て	○
その他の骨障害(M86-M90)	M890-M898	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
その他の骨障害(M86-M90)	M8990-M8999	この範囲の全て	○
その他の骨障害(M86-M90)	M900-M918	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
軟骨障害(M91-M94)	M9190-M9199	この範囲の全て	○
軟骨障害(M91-M94)	M929	若年性骨軟骨症<骨端症>, 詳細不明	○
軟骨障害(M91-M94)	M939	骨軟骨障害, 詳細不明	○
軟骨障害(M91-M94)	M940-M948	この範囲の部位コード「9」となるもの	○
軟骨障害(M91-M94)	M9490-M9499	この範囲の全て	○
筋骨格系および結合組織のその他の障害(M95-M99)	M959	筋骨格系の後天性変形, 詳細不明	○
筋骨格系および結合組織のその他の障害(M95-M99)	M969	処置後筋骨格障害, 詳細不明	○
筋骨格系および結合組織のその他の障害(M95-M99)	M9990-M9999	この範囲の全て	○
糸球体疾患(N00-N08)	N009	急性腎炎症候群 詳細不明	○
糸球体疾患(N00-N08)	N019	急速進行性腎炎症候群 詳細不明	○
糸球体疾患(N00-N08)	N029	反復性および持続性血尿 詳細不明	○
糸球体疾患(N00-N08)	N039	慢性腎炎症候群 詳細不明	○
糸球体疾患(N00-N08)	N049	ネフローゼ症候群 詳細不明	○
糸球体疾患(N00-N08)	N050-N059	この範囲の全て	○
糸球体疾患(N00-N08)	N069	明示された形態学的病変を伴う単独たんぱく<蛋白>尿 詳細不明	○
糸球体疾患(N00-N08)	N079	遺伝性腎症<ネフロパシー>, 他に分類されないもの 詳細不明	○
腎尿細管間質性疾患(N10-N16)	N119	慢性尿細管間質性腎炎, 詳細不明	○
腎尿細管間質性疾患(N10-N16)	N12	尿細管間質性腎炎, 急性または慢性と明示されないもの	○
腎尿細管間質性疾患(N10-N16)	N133	その他および詳細不明の水腎症	○
腎尿細管間質性疾患(N10-N16)	N139	閉塞性尿路疾患および逆流性尿路疾患, 詳細不明	○
腎尿細管間質性疾患(N10-N16)	N142	詳細不明の薬物, 薬剤または生物学的製剤により誘発された腎症<ネフロパシー>	○
腎尿細管間質性疾患(N10-N16)	N159	腎尿細管間質性疾患, 詳細不明	○
腎不全(N17-N19)	N179	急性腎不全, 詳細不明	○
腎不全(N17-N19)	N189	慢性腎不全, 詳細不明	○
腎不全(N17-N19)	N19	詳細不明の腎不全	○
尿路結石症(N20-N23)	N209	尿路結石, 詳細不明	○
尿路結石症(N20-N23)	N219	下部尿路結石, 詳細不明	○
尿路結石症(N20-N23)	N23	詳細不明の腎仙痛	○
腎および尿管のその他の障害(N25-N29)	N259	腎尿細管機能障害から生じた障害, 詳細不明	○
腎および尿管のその他の障害(N25-N29)	N26	詳細不明の萎縮腎	○
腎および尿管のその他の障害(N25-N29)	N279	矮小腎, 患側不明	○
腎および尿管のその他の障害(N25-N29)	N289	腎および尿管の障害, 詳細不明	○
尿路系のその他の疾患(N30-N39)	N309	膀胱炎, 詳細不明	○
尿路系のその他の疾患(N30-N39)	N319	神経因性膀胱(機能障害), 詳細不明	○
尿路系のその他の疾患(N30-N39)	N329	膀胱障害, 詳細不明	○
尿路系のその他の疾患(N30-N39)	N343	尿道症候群, 詳細不明	○
尿路系のその他の疾患(N30-N39)	N359	尿道狭窄, 詳細不明	○
尿路系のその他の疾患(N30-N39)	N369	尿道の障害, 詳細不明	○
尿路系のその他の疾患(N30-N39)	N390	尿路感染症, 部位不明	○
尿路系のその他の疾患(N30-N39)	N391	持続性たんぱく<蛋白>尿, 詳細不明	○
尿路系のその他の疾患(N30-N39)	N392	起立性たんぱく<蛋白>尿, 詳細不明	○
尿路系のその他の疾患(N30-N39)	N399	尿路系の障害, 詳細不明	○
男性性器の疾患(N40-N51)	N419	前立腺の炎症性疾患, 詳細不明	○
男性性器の疾患(N40-N51)	N429	前立腺の障害, 詳細不明	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
男性性器の疾患(N40-N51)	N433	精巣<睾丸>水腫, 詳細不明	○
男性性器の疾患(N40-N51)	N489	陰茎の障害, 詳細不明	○
男性性器の疾患(N40-N51)	N499	部位不明の男性生殖器の炎症性障害	○
男性性器の疾患(N40-N51)	N509	男性生殖器の障害, 詳細不明	○
乳房の障害(N60-N64)	N609	良性乳房異形成(症), 詳細不明	○
乳房の障害(N60-N64)	N63	乳房の詳細不明の塊<lump>	
乳房の障害(N60-N64)	N649	乳房の障害, 詳細不明	○
女性骨盤臓器の炎症性疾患(N70-N77)	N709	卵管炎および卵巣炎, 詳細不明	○
女性骨盤臓器の炎症性疾患(N70-N77)	N719	子宮の炎症性疾患, 詳細不明	○
女性骨盤臓器の炎症性疾患(N70-N77)	N732	詳細不明の子宮傍(結合)組織炎および骨盤蜂巣炎<蜂窩織炎>	○
女性骨盤臓器の炎症性疾患(N70-N77)	N735	女性骨盤腹膜炎, 詳細不明	○
女性骨盤臓器の炎症性疾患(N70-N77)	N739	女性骨盤炎症性疾患, 詳細不明	○
女性骨盤臓器の炎症性疾患(N70-N77)	N759	バルトリン<Bartholin>腺の疾患, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N809	子宮内膜症, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N814	子宮腔脱, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N819	女性性器脱, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N829	女性性器瘻, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N832	その他および詳細不明の卵巣のうく囊>胞	
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N839	卵巣, 卵管および子宮広間膜の非炎症性障害, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N849	女性性器のポリープ, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N859	子宮の非炎症性障害, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N879	子宮頸(部)の異形成, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N889	子宮頸(部)の非炎症性障害, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N893	腔異形成, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N899	腔の非炎症性障害, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N903	外陰異形成, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N909	外陰および会陰の非炎症性障害, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N912	無月経, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N915	希発月経, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N926	月経不順, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N939	子宮および腔の異常出血, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N946	月経困難症, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N949	女性生殖器および月経周期に関連する詳細不明の病態	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N959	閉経期および閉経周辺期障害, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N979	女性不妊症, 詳細不明	○
女性生殖器の非炎症性障害(N80-N98)	N989	人工授精に関連する合併症, 詳細不明	○
尿路生殖器系のその他の障害(N99)	N999	腎尿路生殖器系の処置後障害, 詳細不明	○
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O009	子宮外妊娠, 詳細不明	○
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O019	胎状奇胎, 詳細不明	○
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O029	受胎の異常生成物, 詳細不明	○
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O033	自然流産 不全流産, その他および詳細不明の合併症を伴うもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O035	自然流産 完全流産または詳細不明の流産, 生殖器および骨盤内感染症を合併するもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O036	自然流産 完全流産または詳細不明の流産, 遅延出血または多量出血を合併するもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O037	自然流産 完全流産または詳細不明の流産, 塞栓症を合併するもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O038	自然流産 完全流産または詳細不明の流産, その他および詳細不明の合併症を伴うもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O039	自然流産 完全流産または詳細不明の流産, 合併症を伴わないもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O043	医学的人工流産 不全流産, その他および詳細不明の合併症を伴うもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O045	医学的人工流産 完全流産または詳細不明の流産, 生殖器および骨盤内感染症を合併するもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O046	医学的人工流産 完全流産または詳細不明の流産, 遅延出血または多量出血を合併するもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O047	医学的人工流産 完全流産または詳細不明の流産, 塞栓症を合併するもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O048	医学的人工流産 完全流産または詳細不明の流産, その他および詳細不明の合併症を伴うもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O049	医学的人工流産 完全流産または詳細不明の流産, 合併症を伴わないもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O053	その他の流産 不全流産, その他および詳細不明の合併症を伴うもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O055	その他の流産 完全流産または詳細不明の流産, 生殖器および骨盤内感染症を合併するもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O056	その他の流産 完全流産または詳細不明の流産, 遅延出血または多量出血を合併するもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O057	その他の流産 完全流産または詳細不明の流産, 塞栓症を合併するもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O058	その他の流産 完全流産または詳細不明の流産, その他および詳細不明の合併症を伴うもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O059	その他の流産 完全流産または詳細不明の流産, 合併症を伴わないもの	
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O060-O069	この範囲の全て	○
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O073	不成功に終わった医学的人工流産, その他および詳細不明の合併症を伴うもの	○
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O075	その他および詳細不明の不成功に終わった人工流産, 生殖器および骨盤内感染症を合併するもの	○
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O076	その他および詳細不明の不成功に終わった人工流産, 遅延出血または多量出血を合併するもの	○
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O077	その他および詳細不明の不成功に終わった人工流産, 塞栓症を合併するもの	○
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O078	その他および詳細不明の不成功に終わった人工流産, その他および詳細不明の合併症を伴うもの	○
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O079	その他および詳細不明の不成功に終わった人工流産, 合併症を伴わないもの	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
流産に終わった妊娠(O00-O08)	O089	流産、子宮外妊娠および胎状奇胎妊娠に続発する合併症、詳細不明	○
妊娠、分娩および産じょく<褥>における浮腫、たんぱく<蛋白>および高血圧性障害(O10-O16)	O109	妊娠、分娩および産じょく<褥>に合併する詳細不明の既存の高血圧(症)	○
妊娠、分娩および産じょく<褥>における浮腫、たんぱく<蛋白>および高血圧性障害(O10-O16)	O149	子かん<痙>前症、詳細不明	○
妊娠、分娩および産じょく<褥>における浮腫、たんぱく<蛋白>および高血圧性障害(O10-O16)	O159	子かん<痙>、発生時期不明	○
妊娠、分娩および産じょく<褥>における浮腫、たんぱく<蛋白>および高血圧性障害(O10-O16)	O16	詳細不明の母体の高血圧(症)	
主として妊娠に関連するその他の母体障害(O20-O29)	O209	妊娠早期の出血、詳細不明	○
主として妊娠に関連するその他の母体障害(O20-O29)	O219	妊娠嘔吐、詳細不明	○
主として妊娠に関連するその他の母体障害(O20-O29)	O229	妊娠中の静脈合併症、詳細不明	○
主として妊娠に関連するその他の母体障害(O20-O29)	O234	妊娠中の詳細不明の尿路感染症	○
主として妊娠に関連するその他の母体障害(O20-O29)	O239	妊娠中のその他および詳細不明の腎尿路性器感染症	○
主として妊娠に関連するその他の母体障害(O20-O29)	O243	既存の糖尿病、詳細不明	○
主として妊娠に関連するその他の母体障害(O20-O29)	O249	妊娠中の糖尿病、詳細不明	○
主として妊娠に関連するその他の母体障害(O20-O29)	O269	妊娠に関連する病態、詳細不明	○
主として妊娠に関連するその他の母体障害(O20-O29)	O289	母体の分娩前スクリーニングにおける異常所見、詳細不明	○
主として妊娠に関連するその他の母体障害(O20-O29)	O299	妊娠中の麻酔合併症、詳細不明	○
胎児および羊膜腔に関連する母体ケアならびに予想される分娩の諸問題(O30-O48)	O300-O479	この範囲の「9」となるもの	○
分娩の合併症(O60-O75)	O619	分娩誘発の不成功、詳細不明	○
分娩の合併症(O60-O75)	O629	娩出力の異常、詳細不明	○
分娩の合併症(O60-O75)	O639	遷延分娩、詳細不明	○
分娩の合併症(O60-O75)	O649	胎位異常および胎向異常による分娩停止、詳細不明	○
分娩の合併症(O60-O75)	O654	胎児骨盤不均衡による分娩停止、詳細不明	○
分娩の合併症(O60-O75)	O659	母体の骨盤異常による分娩停止、詳細不明	○
分娩の合併症(O60-O75)	O664	試験分娩の不成功、詳細不明	
分娩の合併症(O60-O75)	O665	吸引分娩および鉗子分娩の不成功、詳細不明	
分娩の合併症(O60-O75)	O669	分娩停止、詳細不明	○
分娩の合併症(O60-O75)	O679	分娩時出血、詳細不明	○
分娩の合併症(O60-O75)	O689	胎児ストレスを合併する分娩、詳細不明	○
分娩の合併症(O60-O75)	O699	臍帯合併症を合併する分娩、詳細不明	○
分娩の合併症(O60-O75)	O709	分娩における会陰裂傷<laceration>、詳細不明	○
分娩の合併症(O60-O75)	O719	産科的外傷、詳細不明	○
分娩の合併症(O60-O75)	O749	分娩における麻酔合併症、詳細不明	○
分娩の合併症(O60-O75)	O756	自然破水または詳細不明の破水後の遷延分娩	
分娩の合併症(O60-O75)	O759	分娩の合併症、詳細不明	○
分娩(O80-O84)	O809	単胎自然分娩、詳細不明	○
分娩(O80-O84)	O813	その他および詳細不明の鉗子分娩	○
分娩(O80-O84)	O829	帝王切開による分娩、詳細不明	○
分娩(O80-O84)	O839	介助単胎分娩、詳細不明	○
分娩(O80-O84)	O849	多胎分娩、詳細不明	○
主として産褥に関連する問題(O85-O92)	O864	分娩に続発する原因不明の発熱	
主として産褥に関連する問題(O85-O92)	O879	産じょく<褥>における静脈合併症、詳細不明	○
主として産褥に関連する問題(O85-O92)	O899	産じょく<褥>における麻酔合併症、詳細不明	○
主として産褥に関連する問題(O85-O92)	O909	産じょく<褥>の合併症、詳細不明	○
主として産褥に関連する問題(O85-O92)	O922	分娩に関連するその他および詳細不明の乳房障害	
主として産褥に関連する問題(O85-O92)	O927	その他および詳細不明の乳汁分泌障害	
その他の産科的病態、他に分類されないもの(O94-O99)	O95	原因不明の産科的死亡	
その他の産科的病態、他に分類されないもの(O94-O99)	O989	妊娠、分娩および産じょく<褥>に合併する詳細不明の母体の感染症および寄生虫症	○
母体側要因ならびに妊娠および分娩の合併症により影響を受けた胎児および新生児(P00-P04)	P009	詳細不明の母体の病態により影響を受けた胎児および新生児	○
母体側要因ならびに妊娠および分娩の合併症により影響を受けた胎児および新生児(P00-P04)	P019	母体の妊娠合併症により影響を受けた胎児および新生児、詳細不明	○
母体側要因ならびに妊娠および分娩の合併症により影響を受けた胎児および新生児(P00-P04)	P022	その他および詳細不明の胎盤の形態および機能の異常により影響を受けた胎児および新生児	
母体側要因ならびに妊娠および分娩の合併症により影響を受けた胎児および新生児(P00-P04)	P026	臍帯のその他および詳細不明の病態により影響を受けた胎児および新生児	
母体側要因ならびに妊娠および分娩の合併症により影響を受けた胎児および新生児(P00-P04)	P029	卵膜の異常により影響を受けた胎児および新生児、詳細不明	○
母体側要因ならびに妊娠および分娩の合併症により影響を受けた胎児および新生児(P00-P04)	P039	分娩合併症により影響を受けた胎児および新生児、詳細不明	○
母体側要因ならびに妊娠および分娩の合併症により影響を受けた胎児および新生児(P00-P04)	P049	母体の有害な影響を受けた胎児および新生児、詳細不明	○
妊娠期間および胎児発育に関連する障害(P05-P08)	P059	胎児の発育遅延<成長遅滞>、詳細不明	○
出産外傷(P10-P15)	P109	出産損傷による詳細不明の頭蓋内裂傷<laceration>および出血	○
出産外傷(P10-P15)	P112	出産損傷による詳細不明の脳傷害	○
出産外傷(P10-P15)	P119	中枢神経系の出産損傷、詳細不明	○
出産外傷(P10-P15)	P129	頭皮の出産損傷、詳細不明	○
出産外傷(P10-P15)	P139	骨格の出産損傷、詳細不明	○
出産外傷(P10-P15)	P149	末梢神経系の出産損傷、詳細不明	○
出産外傷(P10-P15)	P159	出産損傷、詳細不明	○
周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害(P20-P29)	P209	子宮内低酸素症、詳細不明	○
周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害(P20-P29)	P219	出生時仮死、詳細不明	○
周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害(P20-P29)	P229	新生児の呼吸窮<促>迫、詳細不明	○
周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害(P20-P29)	P239	先天性肺炎、詳細不明	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害 (P20-P29)	P249	新生児吸引症候群, 詳細不明	○
周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害 (P20-P29)	P269	周産期に発生した詳細不明の肺出血	○
周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害 (P20-P29)	P279	周産期に発生した詳細不明の慢性呼吸器疾患	○
周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害 (P20-P29)	P281	その他および詳細不明の新生児無気肺	
周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害 (P20-P29)	P289	新生児の呼吸器病態, 詳細不明	○
周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害 (P20-P29)	P299	周産期に発生した心血管障害, 詳細不明	○
周産期に特異的な感染症 (P35-P39)	P359	先天性ウイルス疾患, 詳細不明	○
周産期に特異的な感染症 (P35-P39)	P361	その他および詳細不明のレンサ球菌による新生児の敗血症	
周産期に特異的な感染症 (P35-P39)	P363	その他および詳細不明のブドウ球菌による新生児の敗血症	
周産期に特異的な感染症 (P35-P39)	P369	新生児の細菌性敗血症, 詳細不明	○
周産期に特異的な感染症 (P35-P39)	P379	先天性感染症または寄生虫症, 詳細不明	
周産期に特異的な感染症 (P35-P39)	P399	周産期に特異的な感染症, 詳細不明	○
胎児および新生児の出血性障害および血液障害 (P50-P61)	P509	胎児失血, 詳細不明	○
胎児および新生児の出血性障害および血液障害 (P50-P61)	P519	新生児の臍出血, 詳細不明	○
胎児および新生児の出血性障害および血液障害 (P50-P61)	P523	胎児および新生児の詳細不明の脳室内(非外傷性)出血	
胎児および新生児の出血性障害および血液障害 (P50-P61)	P529	胎児および新生児の頭蓋内(非外傷性)出血, 詳細不明	○
胎児および新生児の出血性障害および血液障害 (P50-P61)	P549	新生児出血, 詳細不明	○
胎児および新生児の出血性障害および血液障害 (P50-P61)	P559	胎児および新生児の溶血性疾患, 詳細不明	○
胎児および新生児の出血性障害および血液障害 (P50-P61)	P569	その他および詳細不明の溶血性疾患による胎児水腫	
胎児および新生児の出血性障害および血液障害 (P50-P61)	P579	核黄疸, 詳細不明	○
胎児および新生児の出血性障害および血液障害 (P50-P61)	P589	多量の溶血による新生児黄疸, 詳細不明	○
胎児および新生児の出血性障害および血液障害 (P50-P61)	P592	その他および詳細不明の肝細胞傷害による新生児黄疸	
胎児および新生児の出血性障害および血液障害 (P50-P61)	P599	新生児黄疸, 詳細不明	
胎児および新生児の出血性障害および血液障害 (P50-P61)	P619	周産期の血液障害, 詳細不明	○
胎児および新生児に特異的な一過性の内分泌障害および代謝障害 (P70-P74)	P700-P749	この範囲の「.9」となるもの	○
胎児および新生児の消化器系障害 (P75-P78)	P760-P789	この範囲の「.9」となるもの	○
胎児および新生児の外皮および体温調節に関連する病態 (P80-P83)	P809	新生児低体温, 詳細不明	○
胎児および新生児の外皮および体温調節に関連する病態 (P80-P83)	P819	新生児の体温調節機能障害, 詳細不明	
胎児および新生児の外皮および体温調節に関連する病態 (P80-P83)	P833	胎児および新生児に特異的なその他および詳細不明の浮腫	
胎児および新生児の外皮および体温調節に関連する病態 (P80-P83)	P839	胎児および新生児に特異的な外皮の病態, 詳細不明	○
周産期に発生したその他の障害 (P90-P96)	P919	新生児の脳の機能障害, 詳細不明	○
周産期に発生したその他の障害 (P90-P96)	P929	新生児の哺乳上の問題, 詳細不明	○
周産期に発生したその他の障害 (P90-P96)	P949	新生児の筋緊張障害, 詳細不明	○
周産期に発生したその他の障害 (P90-P96)	P95	原因不明の胎児死亡	
周産期に発生したその他の障害 (P90-P96)	P969	周産期に発生した病態, 詳細不明	○
神経系の先天奇形 (Q00-Q07)	Q019	脳瘤, 詳細不明	○
神経系の先天奇形 (Q00-Q07)	Q039	先天性水頭症, 詳細不明	○
神経系の先天奇形 (Q00-Q07)	Q049	脳の先天奇形, 詳細不明	○
神経系の先天奇形 (Q00-Q07)	Q054	詳細不明の二分脊椎<脊椎披<破>裂>, 水頭症を伴うもの	
神経系の先天奇形 (Q00-Q07)	Q059	二分脊椎<脊椎披<破>裂>, 詳細不明	○
神経系の先天奇形 (Q00-Q07)	Q069	脊髄の先天奇形, 詳細不明	○
神経系の先天奇形 (Q00-Q07)	Q079	神経系の先天奇形, 詳細不明	○
眼, 耳, 顔面および頸部の先天奇形 (Q10-Q18)	Q129	先天(性)水晶体奇形, 詳細不明	○
眼, 耳, 顔面および頸部の先天奇形 (Q10-Q18)	Q139	前眼部の先天奇形, 詳細不明	○
眼, 耳, 顔面および頸部の先天奇形 (Q10-Q18)	Q149	眼球後極部の先天奇形, 詳細不明	○
眼, 耳, 顔面および頸部の先天奇形 (Q10-Q18)	Q159	眼の先天奇形, 詳細不明	○
眼, 耳, 顔面および頸部の先天奇形 (Q10-Q18)	Q169	聴覚障害の原因となる耳の先天奇形, 詳細不明	
眼, 耳, 顔面および頸部の先天奇形 (Q10-Q18)	Q179	耳の先天奇形, 詳細不明	○
眼, 耳, 顔面および頸部の先天奇形 (Q10-Q18)	Q189	顔面および頸部の先天奇形, 詳細不明	○
循環器系の先天奇形 (Q20-Q28)	Q209	心臓の房室および結合部の先天奇形, 詳細不明	○
循環器系の先天奇形 (Q20-Q28)	Q219	心(臓)中隔の先天奇形, 詳細不明	○
循環器系の先天奇形 (Q20-Q28)	Q229	三尖弁の先天奇形, 詳細不明	○
循環器系の先天奇形 (Q20-Q28)	Q239	大動脈弁および僧帽弁の先天奇形, 詳細不明	○
循環器系の先天奇形 (Q20-Q28)	Q249	心臓の先天奇形, 詳細不明	○
循環器系の先天奇形 (Q20-Q28)	Q259	大型動脈の先天奇形, 詳細不明	○
循環器系の先天奇形 (Q20-Q28)	Q264	肺静脈還流<結合>異常(症), 詳細不明	○
循環器系の先天奇形 (Q20-Q28)	Q269	大型静脈の先天奇形, 詳細不明	○
循環器系の先天奇形 (Q20-Q28)	Q279	末梢血管系の先天奇形, 詳細不明	○
循環器系の先天奇形 (Q20-Q28)	Q289	循環器系の先天奇形, 詳細不明	○
呼吸器系の先天奇形 (Q30-Q34)	Q300-Q349	この範囲の「.9」となるもの	○
唇裂および口蓋裂(Q35-Q37)	Q359	詳細不明の口蓋裂	○
唇裂および口蓋裂(Q35-Q37)	Q378	詳細不明の口蓋裂, 両側性唇裂を伴うもの	○
唇裂および口蓋裂(Q35-Q37)	Q379	詳細不明の口蓋裂, 片側性唇裂を伴うもの	○
消化器系のその他の先天奇形 (Q38-Q45)	Q399	食道の先天奇形, 詳細不明	○
消化器系のその他の先天奇形 (Q38-Q45)	Q403	胃の先天奇形, 詳細不明	○



中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
消化器系のその他の先天奇形 (Q38-Q45)	Q409	上部消化管の先天奇形, 詳細不明	○
消化器系のその他の先天奇形 (Q38-Q45)	Q419	小腸の先天(性)欠損, 閉鎖および狭窄, 部位不明	○
消化器系のその他の先天奇形 (Q38-Q45)	Q419A	小腸の先天(性)欠損, 閉鎖および狭窄, 部位不明 欠損	○
消化器系のその他の先天奇形 (Q38-Q45)	Q419B	小腸の先天(性)欠損, 閉鎖および狭窄, 部位不明 閉鎖	○
消化器系のその他の先天奇形 (Q38-Q45)	Q419C	小腸の先天(性)欠損, 閉鎖および狭窄, 部位不明 狭窄	○
消化器系のその他の先天奇形 (Q38-Q45)	Q429	大腸の先天(性)欠損, 閉鎖および狭窄, 部位不明	○
消化器系のその他の先天奇形 (Q38-Q45)	Q429A	大腸の先天(性)欠損, 閉鎖および狭窄, 部位不明 欠損	○
消化器系のその他の先天奇形 (Q38-Q45)	Q429B	大腸の先天(性)欠損, 閉鎖および狭窄, 部位不明 閉鎖	○
消化器系のその他の先天奇形 (Q38-Q45)	Q429C	大腸の先天(性)欠損, 閉鎖および狭窄, 部位不明 狭窄	○
消化器系のその他の先天奇形 (Q38-Q45)	Q439	腸の先天奇形, 詳細不明	○
消化器系のその他の先天奇形 (Q38-Q45)	Q459	消化器系の先天奇形, 詳細不明	○
性器の先天奇形 (Q50-Q56)	Q519	子宮および子宮頸(部)の先天奇形, 詳細不明	○
性器の先天奇形 (Q50-Q56)	Q529	女性性器の先天奇形, 詳細不明	○
性器の先天奇形 (Q50-Q56)	Q539	停留精巣<辜丸>, 患側不明	○
性器の先天奇形 (Q50-Q56)	Q549	尿道下裂, 詳細不明	○
性器の先天奇形 (Q50-Q56)	Q559	男性生殖器の先天奇形, 詳細不明	○
性器の先天奇形 (Q50-Q56)	Q563	仮性半陰陽, 詳細不明	○
性器の先天奇形 (Q50-Q56)	Q564	性不確定, 詳細不明	○
尿路系の先天奇形 (Q60-Q64)	Q602	腎無発生, 患側不明	○
尿路系の先天奇形 (Q60-Q64)	Q605	腎低形成<形成不全>, 患側不明	○
尿路系の先天奇形 (Q60-Q64)	Q613	多発性のう<囊>胞腎, 病型不明	○
尿路系の先天奇形 (Q60-Q64)	Q619	のう<囊>胞性腎疾患, 詳細不明	○
尿路系の先天奇形 (Q60-Q64)	Q639	腎の先天奇形, 詳細不明	○
尿路系の先天奇形 (Q60-Q64)	Q649	尿路系の先天奇形, 詳細不明	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q652	先天性股関節脱臼<先天股脱>, 患側不明	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q655	先天性股関節垂脱臼, 患側不明	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q659	股関節の先天(性)変形, 詳細不明	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q669	足の先天(性)変形, 詳細不明	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q685	脚の長管骨の先天(性)彎曲, 詳細不明	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q699	多指<趾>(症), 詳細不明	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q709	合指<趾>(症), 詳細不明	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q719	上肢の減形成, 詳細不明	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q729	下肢の減形成, 詳細不明	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q730	詳細不明の(四)肢の先天(性)欠損	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q731	フオコモリー<あざらし肢症>, 詳細不明の(四)肢	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q738	詳細不明の(四)肢のその他の減形成	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q749	(四)肢の詳細不明の先天奇形	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q759	頭蓋および顔面骨の先天奇形, 詳細不明	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q769	骨性胸郭の先天奇形, 詳細不明	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q779	骨軟骨異形成<形成異常>(症), 長管骨および脊椎の成長障害を伴うもの, 詳細不明	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q789	骨軟骨異形成<形成異常>(症), 詳細不明	○
筋骨格系の先天奇形および変形 (Q65-Q79)	Q799	筋骨格系の先天奇形, 詳細不明	○
その他の先天奇形 (Q80-Q89)	Q809	先天性魚りんせん<鱗癬>, 詳細不明	○
その他の先天奇形 (Q80-Q89)	Q819	表皮水疱症, 詳細不明	○
その他の先天奇形 (Q80-Q89)	Q829	皮膚の先天奇形, 詳細不明	○
その他の先天奇形 (Q80-Q89)	Q839	乳房の先天奇形, 詳細不明	○
その他の先天奇形 (Q80-Q89)	Q849	外皮の先天奇形, 詳細不明	○
その他の先天奇形 (Q80-Q89)	Q859	母斑症, 詳細不明	○
その他の先天奇形 (Q80-Q89)	Q899	先天奇形, 詳細不明	○
染色体異常、他に分類されないもの (Q90-Q99)	Q909	ダウン<Down>症候群, 詳細不明	○
染色体異常、他に分類されないもの (Q90-Q99)	Q913	エドワーズ<Edwards>症候群, 詳細不明	○
染色体異常、他に分類されないもの (Q90-Q99)	Q917	パトー<Patau>症候群, 詳細不明	○
染色体異常、他に分類されないもの (Q90-Q99)	Q929	常染色体のトリソミーおよび部分トリソミー, 詳細不明	○
染色体異常、他に分類されないもの (Q90-Q99)	Q939	常染色体欠失, 詳細不明	○
染色体異常、他に分類されないもの (Q90-Q99)	Q959	均衡型再配列およびマーカー(染色体), 詳細不明	○
染色体異常、他に分類されないもの (Q90-Q99)	Q969	ターナー<Turner>症候群, 詳細不明	○
染色体異常、他に分類されないもの (Q90-Q99)	Q979	性染色体異常, 女性表現型, 詳細不明	○
染色体異常、他に分類されないもの (Q90-Q99)	Q984	クラインフェルター<Klinefelter>症候群, 詳細不明	○
染色体異常、他に分類されないもの (Q90-Q99)	Q989	性染色体異常, 男性表現型, 詳細不明	○
染色体異常、他に分類されないもの (Q90-Q99)	Q999	染色体異常, 詳細不明	○
◇R分類については、全てにおいて他に分類出来ないか再検討を要する。			
循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候 (R00-R09)	R000	頻脈, 詳細不明	○
循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候 (R00-R09)	R001	徐脈, 詳細不明	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候 (R00-R09)	R008	その他および詳細不明の心拍の異常	○
循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候 (R00-R09)	R011	心雑音, 詳細不明	○
循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候 (R00-R09)	R049	気道からの出血, 詳細不明	○
循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候 (R00-R09)	R068	その他および詳細不明の呼吸の異常	○
循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候 (R00-R09)	R074	胸痛, 詳細不明	○
消化器系および腹部に関する症状および徴候 (R10-R19)	R104	その他および詳細不明の腹痛	○
皮膚および皮下組織に関する症状および徴候 (R20-R29)	R208	その他および詳細不明の皮膚感覚障害	○
皮膚および皮下組織に関する症状および徴候 (R20-R29)	R229	限局性腫脹, 腫瘍<mass>および塊<lump>, 部位不明	○
皮膚および皮下組織に関する症状および徴候 (R20-R29)	R238	その他および詳細不明の皮膚変化	○
皮膚および皮下組織に関する症状および徴候 (R20-R29)	R251	振戦, 詳細不明	○
皮膚および皮下組織に関する症状および徴候 (R20-R29)	R258	その他および詳細不明の異常不随意運動	○
皮膚および皮下組織に関する症状および徴候 (R20-R29)	R268	歩行および移動のその他および詳細不明の異常	○
皮膚および皮下組織に関する症状および徴候 (R20-R29)	R270	運動失調(症), 詳細不明	○
皮膚および皮下組織に関する症状および徴候 (R20-R29)	R278	その他および詳細不明の協調運動障害	○
皮膚および皮下組織に関する症状および徴候 (R20-R29)	R298	神経系および筋骨格系に関するその他および詳細不明の症状および徴候	○
尿路系に関する症状および徴候 (R30-R39)	R309	排尿痛, 詳細不明	○
尿路系に関する症状および徴候 (R30-R39)	R398	尿路系に関するその他および詳細不明の症状および徴候	○
認識, 知覚, 情緒状態および行動に関する症状および徴候 (R40-R46)	R402	昏睡, 詳細不明	○
認識, 知覚, 情緒状態および行動に関する症状および徴候 (R40-R46)	R410	失見当(識), 詳細不明	○
認識, 知覚, 情緒状態および行動に関する症状および徴候 (R40-R46)	R418	認知機能および自覚に関するその他および詳細不明の症状および徴候	○
認識, 知覚, 情緒状態および行動に関する症状および徴候 (R40-R46)	R438	嗅覚および味覚のその他および詳細不明の障害	○
認識, 知覚, 情緒状態および行動に関する症状および徴候 (R40-R46)	R443	幻覚, 詳細不明	○
認識, 知覚, 情緒状態および行動に関する症状および徴候 (R40-R46)	R448	一般感覚および知覚に関するその他および詳細不明の症状および徴候	○
認識, 知覚, 情緒状態および行動に関する症状および徴候 (R40-R46)	R457	情緒性ショックおよびストレスの(持続)状態, 詳細不明	○
言語および音声に関する症状および徴候 (R47-R49)	R478	その他および詳細不明の言語の障害	○
言語および音声に関する症状および徴候 (R47-R49)	R488	その他および詳細不明の表象機能の障害	○
言語および音声に関する症状および徴候 (R47-R49)	R498	その他および詳細不明の音声の障害	○
全身症状および徴候 (R50-R69)	R509	発熱, 詳細不明	○
全身症状および徴候 (R50-R69)	R529	疼痛, 詳細不明	○
全身症状および徴候 (R50-R69)	R568	その他および詳細不明のけいれん<痙攣>	○
全身症状および徴候 (R50-R69)	R579	ショック, 詳細不明	○
全身症状および徴候 (R50-R69)	R599	リンパ節腫大, 詳細不明	○
全身症状および徴候 (R50-R69)	R609	浮腫, 詳細不明	○
全身症状および徴候 (R50-R69)	R619	発汗過多<多汗>(症), 詳細不明	○
全身症状および徴候 (R50-R69)	R629	身体標準発育不足, 詳細不明	○
全身症状および徴候 (R50-R69)	R682	口内乾燥, 詳細不明	○
血液検査の異常所見, 診断名の記載がないもの (R70-R79)	R739	高血糖, 詳細不明	○
血液検査の異常所見, 診断名の記載がないもの (R70-R79)	R749	詳細不明の血清酵素の異常値	○
血液検査の異常所見, 診断名の記載がないもの (R70-R79)	R769	血清の免疫学的異常所見, 詳細不明	○
血液検査の異常所見, 診断名の記載がないもの (R70-R79)	R779	血漿たんぱく<蛋白>の異常, 詳細不明	○
血液検査の異常所見, 診断名の記載がないもの (R70-R79)	R789	詳細不明の物質の検出, 正常では血中から検出されないもの	○
血液検査の異常所見, 診断名の記載がないもの (R70-R79)	R799	血液化学的異常所見, 詳細不明	○
尿検査の異常所見, 診断名の記載がないもの (R80-R82)	R829	尿のその他および詳細不明の異常所見	○
その他の体液, 検体<材料>および組織の検査の異常所見, 診断名の記載がないもの (R83-R89)	R839	脳脊髄液に関する異常所見 詳細不明の異常所見	○
その他の体液, 検体<材料>および組織の検査の異常所見, 診断名の記載がないもの (R83-R89)	R849	呼吸器および胸部<郭>からの検体<材料>の異常所見 詳細不明の異常所見	○
その他の体液, 検体<材料>および組織の検査の異常所見, 診断名の記載がないもの (R83-R89)	R859	消化器および腹腔からの検体<材料>の異常所見 詳細不明の異常所見	○
その他の体液, 検体<材料>および組織の検査の異常所見, 診断名の記載がないもの (R83-R89)	R869	男性生殖器からの検体<材料>の異常所見 詳細不明の異常所見	○
その他の体液, 検体<材料>および組織の検査の異常所見, 診断名の記載がないもの (R83-R89)	R879	女性生殖器からの検体<材料>の異常所見 詳細不明の異常所見	○
その他の体液, 検体<材料>および組織の検査の異常所見, 診断名の記載がないもの (R83-R89)	R899	その他の臓器, 器官系および組織からの検体<材料>の異常所見 詳細不明の異常所見	○
頭部損傷 (S00-S09)	S009	頭部の表在損傷, 部位不明	○
頭部損傷 (S00-S09)	S019	頭部の開放創, 部位不明	○
頭部損傷 (S00-S09)	S029	頭蓋骨および顔面骨の骨折, 部位不明	○
頭部損傷 (S00-S09)	S0290	頭蓋骨および顔面骨の骨折, 部位不明 閉鎖性	○
頭部損傷 (S00-S09)	S0291	頭蓋骨および顔面骨の骨折, 部位不明 開放性	○
頭部損傷 (S00-S09)	S033	頭部のその他および部位不明の脱臼	○
頭部損傷 (S00-S09)	S035	頭部のその他および部位不明の関節および靭帯の捻挫およびストレッチ	○
頭部損傷 (S00-S09)	S049	詳細不明の脳神経損傷	○
頭部損傷 (S00-S09)	S059	眼球および眼窩の損傷, 詳細不明	○
頭部損傷 (S00-S09)	S069	頭蓋内損傷, 詳細不明	○
頭部損傷 (S00-S09)	S0690	頭蓋内損傷, 詳細不明 頭蓋内に達する開放創を伴わないもの	○
頭部損傷 (S00-S09)	S0691	頭蓋内損傷, 詳細不明 頭蓋内に達する開放創を伴うもの	○
頭部損傷 (S00-S09)	S079	頭部の挫滅損傷, 部位不明	○
頭部損傷 (S00-S09)	S089	頭部の部位不明の外傷性切断	○
頭部損傷 (S00-S09)	S099	頭部の詳細不明の損傷	○
頭部損傷 (S10-S19)	S101	咽喉部<のど>のその他および詳細不明の表在損傷	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
頸部損傷(S10-S19)	S109	頸部の表在損傷, 部位不明	○
頸部損傷(S10-S19)	S119	頸部の開放創, 部位不明	○
頸部損傷(S10-S19)	S129	頸部の骨折, 部位不明	○
頸部損傷(S10-S19)	S1290	頸部の骨折, 部位不明 閉鎖性	○
頸部損傷(S10-S19)	S1291	頸部の骨折, 部位不明 開放性	○
頸部損傷(S10-S19)	S132	頸部のその他および部位不明の脱臼	
頸部損傷(S10-S19)	S136	頸部のその他および部位不明の関節および靭帯の捻挫およびストレイン	
頸部損傷(S10-S19)	S141	頸髄のその他および詳細不明の損傷	
頸部損傷(S10-S19)	S146	頸部のその他および詳細不明の神経損傷	
頸部損傷(S10-S19)	S159	頸部の詳細不明の血管損傷	○
頸部損傷(S10-S19)	S179	頸部の挫減損傷, 部位不明	
頸部損傷(S10-S19)	S199	頸部の詳細不明の損傷	○
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S201	乳房のその他および詳細不明の表在損傷	
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S208	胸部<郭>のその他および部位不明の表在損傷	
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S219	胸部<郭>の開放創, 部位不明	○
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S229	骨性胸郭の骨折, 部位不明	○
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S2290	骨性胸郭の骨折, 部位不明 閉鎖性	○
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S2291	骨性胸郭の骨折, 部位不明 開放性	○
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S232	胸部<郭>のその他および部位不明の脱臼	
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S235	胸部<郭>のその他および部位不明の捻挫およびストレイン	
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S241	胸髄のその他および詳細不明の損傷	
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S246	胸部<郭>の詳細不明の神経損傷	○
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S259	胸部<郭>の詳細不明の血管損傷	○
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S269	心臓損傷, 詳細不明	○
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S2690	心臓損傷, 詳細不明 胸腔に達する開放創を伴わないもの	○
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S2691	心臓損傷, 詳細不明 胸腔に達する開放創を伴うもの	○
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S279	詳細不明の胸腔内臓器の損傷	○
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S2790	詳細不明の胸腔内臓器の損傷 胸腔に達する開放創を伴わないもの	○
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S2791	詳細不明の胸腔内臓器の損傷 胸腔に達する開放創を伴うもの	○
胸部(郭)損傷(S20-S29)	S299	胸部<郭>の詳細不明の損傷	○
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S309	腹部, 下背部および骨盤部の表在損傷, 部位不明	○
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S315	その他および詳細不明の外性器の開放創	
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S318	腰部のその他および部位不明の開放創	
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S328	腰椎および骨盤のその他および部位不明の骨折	
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S3280	腰椎および骨盤のその他および部位不明の骨折 閉鎖性	
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S3281	腰椎および骨盤のその他および部位不明の骨折 開放性	
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S333	腰椎および骨盤のその他および部位不明の脱臼	
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S337	腰椎および骨盤のその他および部位不明の捻挫およびストレイン	
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S348	腹部, 下背部および骨盤部のその他および詳細不明の神経損傷	
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S359	腹部, 下背部および骨盤部の詳細不明の血管損傷	○
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S369	詳細不明の腹腔内臓器の損傷	○
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S3690	詳細不明の腹腔内臓器の損傷 腹腔に達する開放創を伴わないもの	○
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S3691	詳細不明の腹腔内臓器の損傷 腹腔に達する開放創を伴うもの	○
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S379	詳細不明の骨盤臓器の損傷	○
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S3790	詳細不明の骨盤臓器の損傷 骨盤腔に達する開放創を伴わないもの	○
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S3791	詳細不明の骨盤臓器の損傷 骨盤腔に達する開放創を伴うもの	○
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S381	腹部, 下背部および骨盤部のその他および部位不明の挫減損傷	
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S383	腹部, 下背部および骨盤部のその他および部位不明の外傷性切断	
腰部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷(S30-S39)	S399	腹部, 下背部および骨盤部の詳細不明の損傷	○
肩および上腕の損傷(S40-S49)	S409	肩および上腕の表在損傷, 詳細不明	○
肩および上腕の損傷(S40-S49)	S418	肩甲<上肢>帯のその他および部位不明の開放創	
肩および上腕の損傷(S40-S49)	S429	肩甲<上肢>帯の骨折, 部位不明	○
肩および上腕の損傷(S40-S49)	S4290	肩甲<上肢>帯の骨折, 部位不明 閉鎖性	○
肩および上腕の損傷(S40-S49)	S4291	肩甲<上肢>帯の骨折, 部位不明 開放性	○
肩および上腕の損傷(S40-S49)	S433	肩甲<上肢>帯のその他および部位不明の脱臼	
肩および上腕の損傷(S40-S49)	S437	肩甲<上肢>帯のその他および部位不明の捻挫およびストレイン	
肩および上腕の損傷(S40-S49)	S449	肩および上腕の詳細不明の神経損傷	○
肩および上腕の損傷(S40-S49)	S459	肩および上腕の詳細不明の血管損傷	○
肩および上腕の損傷(S40-S49)	S469	肩および上腕の詳細不明の筋および腱の損傷	○
肩および上腕の損傷(S40-S49)	S489	肩および上腕の外傷性切断, 部位不明	○
肩および上腕の損傷(S40-S49)	S499	肩および上腕の詳細不明の損傷	○
肘および前腕の損傷(S50-S59)	S501	前腕のその他および部位不明の挫減	
肘および前腕の損傷(S50-S59)	S509	前腕の表在損傷, 詳細不明	○
肘および前腕の損傷(S50-S59)	S519	前腕の開放創, 部位不明	○
肘および前腕の損傷(S50-S59)	S529	前腕の骨折, 部位不明	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
肘および前腕の損傷(S50-S59)	S5290	前腕の骨折, 部位不明 閉鎖性	○
肘および前腕の損傷(S50-S59)	S5291	前腕の骨折, 部位不明 開放性	○
肘および前腕の損傷(S50-S59)	S531	肘の脱臼, 詳細不明	
肘および前腕の損傷(S50-S59)	S549	前腕の詳細不明の神経損傷	○
肘および前腕の損傷(S50-S59)	S559	前腕の詳細不明の血管損傷	○
肘および前腕の損傷(S50-S59)	S568	前腕のその他および詳細不明の筋および腱の損傷	
肘および前腕の損傷(S50-S59)	S579	前腕の挫減損傷, 部位不明	○
肘および前腕の損傷(S50-S59)	S589	前腕の外傷性切断, 部位不明	○
肘および前腕の損傷(S50-S59)	S599	前腕の詳細不明の損傷	○
手首および手の損傷(S60-S69)	S609	手首および手の表在損傷, 詳細不明	○
手首および手の損傷(S60-S69)	S619	手首および手の開放創, 部位不明	○
手首および手の損傷(S60-S69)	S628	手首および手のその他および部位不明の骨折	
手首および手の損傷(S60-S69)	S6280	手首および手のその他および部位不明の骨折 閉鎖性	
手首および手の損傷(S60-S69)	S6281	手首および手のその他および部位不明の骨折 開放性	
手首および手の損傷(S60-S69)	S637	手のその他および部位不明の捻挫およびストレイン	
手首および手の損傷(S60-S69)	S649	手首および手の詳細不明の神経損傷	○
手首および手の損傷(S60-S69)	S659	手首および手の詳細不明の血管損傷	○
手首および手の損傷(S60-S69)	S669	手首および手の詳細不明の筋および腱の損傷	○
手首および手の損傷(S60-S69)	S678	手首および手のその他および部位不明の挫減損傷	
手首および手の損傷(S60-S69)	S689	手首および手の外傷性切断, 部位不明	○
手首および手の損傷(S60-S69)	S699	手首および手の詳細不明の損傷	○
股関節部および大腿の損傷(S70-S79)	S709	股関節部および大腿の表在損傷, 詳細不明	○
股関節部および大腿の損傷(S70-S79)	S718	骨盤<下肢>帯のその他および部位不明の開放創	
股関節部および大腿の損傷(S70-S79)	S729	大腿骨骨折, 部位不明	○
股関節部および大腿の損傷(S70-S79)	S7290	大腿骨骨折, 部位不明 閉鎖性	○
股関節部および大腿の損傷(S70-S79)	S7291	大腿骨骨折, 部位不明 開放性	○
股関節部および大腿の損傷(S70-S79)	S749	股関節部および大腿の詳細不明の神経損傷	○
股関節部および大腿の損傷(S70-S79)	S759	股関節部および大腿の詳細不明の血管損傷	○
股関節部および大腿の損傷(S70-S79)	S764	大腿のその他および詳細不明の筋および腱の損傷	
股関節部および大腿の損傷(S70-S79)	S789	股関節部および大腿の外傷性切断, 部位不明	○
股関節部および大腿の損傷(S70-S79)	S799	股関節部および大腿の詳細不明の損傷	○
膝および下腿の損傷(S80-S89)	S801	下腿のその他および部位不明の挫傷	
膝および下腿の損傷(S80-S89)	S809	下腿の表在損傷, 詳細不明	○
膝および下腿の損傷(S80-S89)	S819	下腿の開放創, 部位不明	○
膝および下腿の損傷(S80-S89)	S829	下腿の骨折, 部位不明	○
膝および下腿の損傷(S80-S89)	S8290	下腿の骨折, 部位不明 閉鎖性	○
膝および下腿の損傷(S80-S89)	S8291	下腿の骨折, 部位不明 開放性	○
膝および下腿の損傷(S80-S89)	S836	膝のその他および部位不明の捻挫およびストレイン	
膝および下腿の損傷(S80-S89)	S849	下腿の詳細不明の神経損傷	○
膝および下腿の損傷(S80-S89)	S859	下腿の詳細不明の血管損傷	○
膝および下腿の損傷(S80-S89)	S869	下腿の詳細不明の筋および腱の損傷	○
膝および下腿の損傷(S80-S89)	S878	下腿のその他および部位不明の挫減損傷	
膝および下腿の損傷(S80-S89)	S889	下腿の外傷性切断, 部位不明	○
膝および下腿の損傷(S80-S89)	S899	下腿の詳細不明の損傷	○
足首および足の損傷(S90-S99)	S903	足のその他および部位不明の挫傷	
足首および足の損傷(S90-S99)	S909	足首および足の表在損傷, 詳細不明	○
足首および足の損傷(S90-S99)	S929	足の骨折, 詳細不明	○
足首および足の損傷(S90-S99)	S9290	足の骨折, 詳細不明 閉鎖性	○
足首および足の損傷(S90-S99)	S9291	足の骨折, 詳細不明 開放性	○
足首および足の損傷(S90-S99)	S933	足のその他および部位不明の脱臼	
足首および足の損傷(S90-S99)	S936	足のその他および部位不明の捻挫およびストレイン	
足首および足の損傷(S90-S99)	S949	足首および足の詳細不明の神経損傷	○
足首および足の損傷(S90-S99)	S959	足首および足の詳細不明の血管損傷	○
足首および足の損傷(S90-S99)	S969	足首および足の詳細不明の筋および腱の損傷	○
足首および足の損傷(S90-S99)	S984	足の外傷性切断, 部位不明	○
足首および足の損傷(S90-S99)	S999	足首および足の詳細不明の損傷	○
多部位の損傷(T00-T07)	T009	多発性表在損傷, 詳細不明	○
多部位の損傷(T00-T07)	T019	多発性開放創, 詳細不明	○
多部位の損傷(T00-T07)	T029	多発骨折, 詳細不明	○
多部位の損傷(T00-T07)	T0290	多発骨折, 詳細不明 閉鎖性	○
多部位の損傷(T00-T07)	T0291	多発骨折, 詳細不明 開放性	○
多部位の損傷(T00-T07)	T039	多発性の脱臼, 捻挫およびストレイン, 詳細不明	○
多部位の損傷(T00-T07)	T049	多発性挫減損傷, 詳細不明	○
多部位の損傷(T00-T07)	T059	多発性外傷性切断, 詳細不明	○
多部位の損傷(T00-T07)	T07	詳細不明の多発性損傷	

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T08-0	脊椎骨折, 部位不明 閉鎖性	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T08-1	脊椎骨折, 部位不明 開放性	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T090-T099	この範囲の全て	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T10-0	上肢の骨折, 部位不明 閉鎖性	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T10-1	上肢の骨折, 部位不明 開放性	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T110	上肢の表在損傷, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T111	上肢の開放創, 部位不明	
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T112	上肢の詳細不明の関節および靭帯の脱臼, 捻挫およびストレイン, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T113	上肢の詳細不明の神経損傷, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T114	上肢の詳細不明の血管損傷, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T115	上肢の詳細不明の筋および腱の損傷, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T116	上肢の外傷性切断, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T118	上肢のその他の明示された損傷, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T119	上肢の詳細不明の損傷, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T12-0	下肢の骨折, 部位不明 閉鎖性	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T12-1	下肢の骨折, 部位不明 開放性	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T130	下肢の表在損傷, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T131	下肢の開放創, 部位不明	
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T132	下肢の詳細不明の関節および靭帯の脱臼, 捻挫およびストレイン, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T133	下肢の詳細不明の神経損傷, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T134	下肢の詳細不明の血管損傷, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T135	下肢の詳細不明の筋および腱の損傷, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T136	下肢の外傷性切断, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T138	下肢のその他の明示された損傷, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T139	下肢の詳細不明の損傷, 部位不明	○
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷(T08-T14)	T140-T149	この範囲の全て	
自然開口部からの異物進入の作用(T15-T19)	T150-T199	この範囲の「9」となるもの	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T200	頭部および頸部の程度不明の熱傷	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T204	頭部および頸部の程度不明の腐食	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T210	体幹の程度不明の熱傷	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T214	体幹の程度不明の腐食	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T220	肩および上肢の程度不明の熱傷, 手首および手を除く	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T224	肩および上肢の程度不明の腐食, 手首および手を除く	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T230	手首および手の程度不明の熱傷	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T234	手首および手の程度不明の腐食	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T240	股関節部および下肢の程度不明の熱傷, 足首および足を除く	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T244	股関節部および下肢の程度不明の腐食, 足首および足を除く	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T250	足首および足の程度不明の熱傷	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T254	足首および足の程度不明の腐食	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T264	眼および付属器の熱傷, 部位不明	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T269	眼および付属器の腐食, 部位不明	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T273	気道の熱傷, 部位不明	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T277	気道の腐食, 部位不明	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T284	その他および詳細不明の内臓の熱傷	
熱傷および腐食(T20-T32)	T289	その他および詳細不明の内臓の腐食	
熱傷および腐食(T20-T32)	T290	多部位の熱傷, 程度不明	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T294	多部位の腐食, 程度不明	○
熱傷および腐食(T20-T32)	T300-T307	この範囲の全て	○
凍傷(T33-T35)	T339	その他および部位不明の表在性凍傷	○
凍傷(T33-T35)	T349	その他および部位不明の組織えく壊>死を伴う凍傷	○
凍傷(T33-T35)	T352	頭部および頸部の詳細不明の凍傷	○
凍傷(T33-T35)	T353	胸部<郭>, 腹部, 下背部および骨盤部の詳細不明の凍傷	○
凍傷(T33-T35)	T354	上肢の詳細不明の凍傷	○
凍傷(T33-T35)	T355	下肢の詳細不明の凍傷	○
凍傷(T33-T35)	T356	多部位の詳細不明の凍傷	○
凍傷(T33-T35)	T357	詳細不明の凍傷, 部位不明	○
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T369	全身性抗生物質による中毒, 詳細不明	○
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T379	全身性抗感染薬および抗寄生虫薬による中毒, 詳細不明	○
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T388	その他および詳細不明のホルモン類およびその合成代替薬による中毒	
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T389	その他および詳細不明のホルモン拮抗薬による中毒	○
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T399	非オピオイド系鎮痛薬, 解熱薬および抗リウマチ薬による中毒, 詳細不明	○
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T406	その他および詳細不明の麻薬による中毒	
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T409	その他および詳細不明の精神変容薬[幻覚発現薬]による中毒	
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T412	その他および詳細不明の全身麻酔薬による中毒	
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T414	麻酔薬による中毒, 詳細不明	○

中分類名称等	ICDコード	留意すべきICD分類名称	部位不明・詳細不明コード
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T427	抗てんかん薬および鎮静・催眠薬による中毒, 詳細不明	○
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T432	その他および詳細不明の抗うつ薬による中毒	
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T435	その他および詳細不明の抗精神病薬および神経抑制薬による中毒	
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T439	向精神薬による中毒, 詳細不明	○
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T449	主として自律神経系に作用するその他および詳細不明の薬物による中毒	
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T459	主として全身および血液に作用する薬物による中毒, 詳細不明	○
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T469	主として心血管系に作用するその他および詳細不明の薬物による中毒	○
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T479	主として消化器系に作用する薬物による中毒, 詳細不明	○
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T482	主として筋肉に作用するその他および詳細不明の薬物による中毒	
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T487	主として呼吸器系に作用するその他および詳細不明の薬物による中毒	
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T499	局所用薬による中毒, 詳細不明	○
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50)	T509	その他および詳細不明の薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	
薬用を主としないう物質の毒作用(T51-T65)	T510-T659	この範囲の「9」となるもの	○
外因のその他および詳細不明の作用(T66-T78)	T66	放射線の作用, 詳細不明	
外因のその他および詳細不明の作用(T66-T78)	T675	日射病, 詳細不明	○
外因のその他および詳細不明の作用(T66-T78)	T679	熱および光線の作用, 詳細不明	○
外因のその他および詳細不明の作用(T66-T78)	T699	低温の作用, 詳細不明	○
外因のその他および詳細不明の作用(T66-T78)	T702	高所のその他および詳細不明の作用	
外因のその他および詳細不明の作用(T66-T78)	T709	気圧および水圧の作用, 詳細不明	○
外因のその他および詳細不明の作用(T66-T78)	T739	欠乏・消耗の作用, 詳細不明	○
外因のその他および詳細不明の作用(T66-T78)	T749	虐待症候群, 詳細不明	○
外因のその他および詳細不明の作用(T66-T78)	T782	アナフィラキシーショック, 詳細不明	
外因のその他および詳細不明の作用(T66-T78)	T784	アレルギー, 詳細不明	
外因のその他および詳細不明の作用(T66-T78)	T789	有害作用, 詳細不明	○
外傷の早期合併症(T79)	T799	外傷の詳細不明の早期合併症	○
外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの(T80-T88)	T809	輸液、輸血および治療用注射に続発する詳細不明の合併症	○
外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの(T80-T88)	T819	処置の詳細不明の合併症	○
外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの(T80-T88)	T829	心臓および血管のプロステーシス、挿入物および移植片の詳細不明の合併症	○
外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの(T80-T88)	T839	尿路性器プロステーシス、挿入物および移植片の詳細不明の合併症	○
外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの(T80-T88)	T849	体内整形外科のプロステーシス、挿入物および移植片の詳細不明の合併症	○
外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの(T80-T88)	T859	体内プロステーシス、挿入物および移植片の詳細不明の合併症	○
外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの(T80-T88)	T869	詳細不明の移植臓器および組織の不全および拒絶反応	○
外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの(T80-T88)	T876	切断端のその他および詳細不明の合併症	
外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの(T80-T88)	T887	薬物および薬剤の詳細不明の有害作用	○
外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの(T80-T88)	T889	外科的および内科的ケアの合併症, 詳細不明	○
損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症(T90-T98)	T909	頭部の詳細不明の損傷の続発・後遺症	○
損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症(T90-T98)	T919	頸部および体幹の詳細不明の損傷の続発・後遺症	○
損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症(T90-T98)	T929	上肢の詳細不明の損傷の続発・後遺症	○
損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症(T90-T98)	T939	下肢の詳細不明の損傷の続発・後遺症	○
損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症(T90-T98)	T941	損傷の続発・後遺症, 部位の明示されないもの	
損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症(T90-T98)	T959	詳細不明の熱傷、腐食および凍傷の続発・後遺症	○
損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症(T90-T98)	T981	外因のその他および詳細不明の作用の続発・後遺症	
原因不明の新たな疾患の暫定分類(U00-U49)	U049	重症急性呼吸器症候群[SARS], 詳細不明	○
抗生物質に耐性の細菌性病原体(U80-U89)	U899	詳細不明の抗生物質耐性病原体	○

「D P C 導入の影響評価」に係る  
レセプトデータダウンロード方式による  
レセプト情報データ収集について

第10版

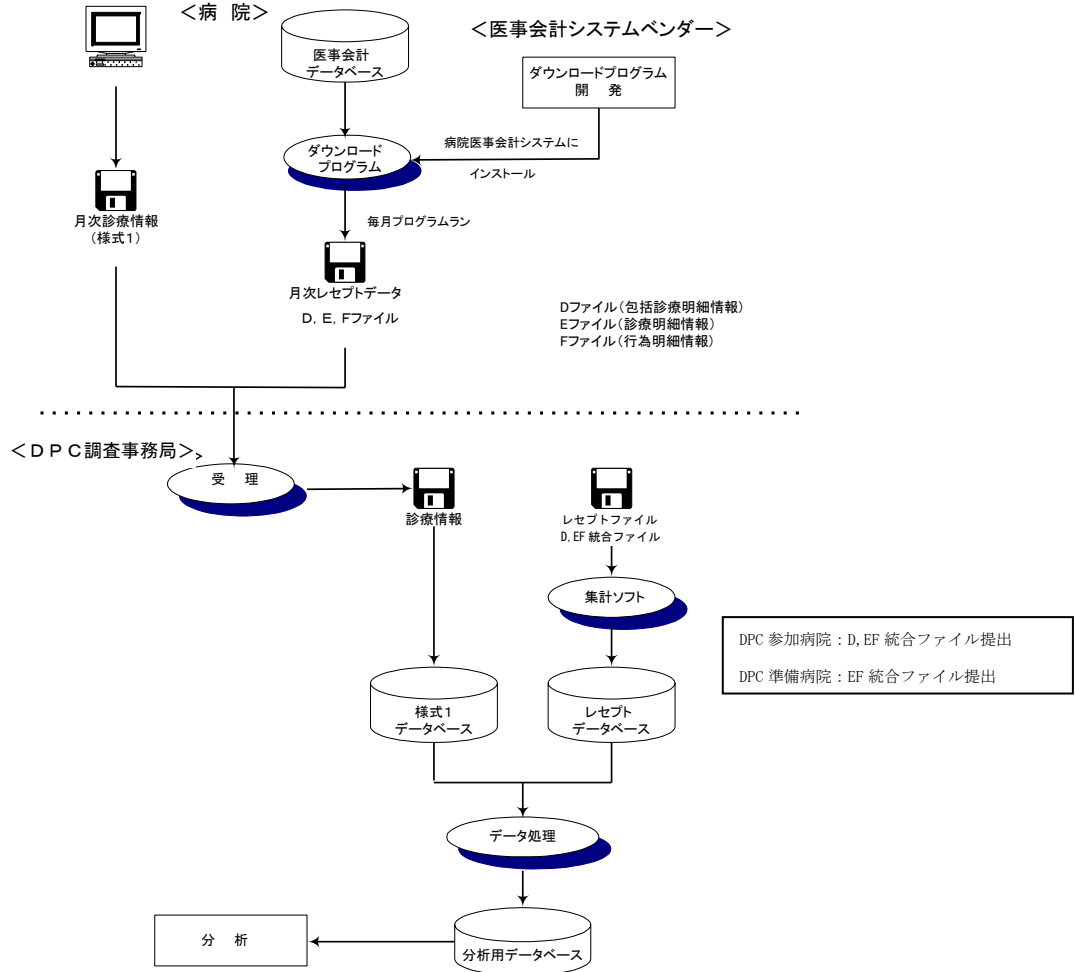
平成25年3月29日

データ収集におけるレセプト情報は、所定の統一形式でレセプトのデータを毎月ダウンロードしたデータを蓄積する方法（レセプトデータダウンロード方式）が基本となる。

本資料はレセプトデータダウンロード方式の詳細を提示するものです。

このレセプトデータダウンロード方式による役割分担と作業フローは次に示す形になります。

### ＜レセプトデータを活用した試行診療情報データ収集方式＞



## 1. レセプトデータダウンロード方式の提出データの仕様

ファイルレイアウト: レセプトデータダウンロード・データ仕様 参照

提出データ形式: タブ区切テキスト形式。  
日本語はシフトJIS形式。  
外字は含めない。(単位, 名称等)

提出媒体: MO, CD, DVD-R, DVD+R

提出単位: 毎月, 1ヶ月分をダウンロードし、3ヶ月毎に3ヶ月分をまとめて提出。

ファイル名: ファイル名は16ページ参照。



## 2. ファイル作成方式の基本的な方法

以下の点がファイルレコードを生成する上での基本です。

- ・メーカーにて開発されたアプリケーションプログラムを、病院設置のコンピュータにインストール、常駐させる形とし、病院の担当者が月に一度当該アプリケーションを起動させると所定の形式にのっとりデータファイルが作成される形を基本とする。
- ・その際、当該処理月の指定やファイル名のインプット等が必要であっても、作業が容易に病院の担当者により実施可能なアプリケーションとする。
- ・月内の全入院症例に係るコンピュータ内に取り込まれ、または生成された診療行為単位に、全行為情報をレコードとして作成する。
- ・データファイルはEファイル（診療明細情報）、Fファイル（行為明細情報）とDファイル（包括診療明細情報）の3種類で構成される（最終ページ、レセプトダウンロードデータ仕様参照）。E、Fファイルの関係は親子の関係であり、Eファイルのレコードは、一連の行為を基本とし、Fファイルではその中に含まれる行為単位、薬剤、診療材料単位に分割してレコードを作成する。
- ・医科の範囲とする。
- ・同一データ識別者に同月内に複数の入院が発生する場合に、入退院別に診療行為を分割する。さらに入退院の中で同一診療行為が複数日にわたって実施されている場合、極力レコードを分離し、実施日別に別レコードとする。
- ・当該月内に存在した症例に関わるすべてのデータを含むこと。

下記参照のこと。

入退院時期	前月以前	当該月	翌月以降
当月内に入退院が完結		←→	
前月以前に入院、当月に退院	←→		
当月に入院、翌月以降に退院		←→	←→
前月以前に入院、翌月以降に退院	←→	←→	←→
当月内に複数入退院が発生 <sup>(注)</sup>	←→	←→	←→

(注)：この場合は入退院年月日を別にし、レコードを分ける。

- ・加算についてもレコードを作成する。一連の行為を単位として独立する場合はEファイルにもレコードとして作成する。従属の場合はFにレコードが発生する。

## 3. データ仕様の概要

各々のデータ項目毎の定義等はプロセスデータ仕様を参照していただくこととし、以下に追加の説明を加える。

### 1) Eファイル（診療明細情報）、Fファイル（行為明細情報）

DPC参加病院におけるEファイル、Fファイルは、医科点数表に準じて計算した点数（出来高換算した点数）にて作成すること。

平成22年度より、特定入院料等に包括される診療項目に関するデータの記載が求められることとなったが、特定入院料等に包括される診療項目のデータの記載範囲としては、医科点数表により算定できる範囲とする。ただし、基本的検体検査実施料、基本的エックス線診断料については、特定入院料等算定期間中の基本的検体検査実施料および基本的エックス線診断料の記載は行わず、個々の細かい診療内容を記載することとする。特定入院料等算定期間中の入院基本料および入院基本料等加算については、記載不要とする。また、検体検査判断料、時間外加算、および乳幼児加算などについては記載しなくても良い。

- ・施設コード：（E-1, F-1, EF-1）

レセプトに記載するコード。都道府県コード（2桁）と医療機関コード（7桁）を合わせて9桁とする。（様式1と同一コード）

- ・データ識別番号（E-2, F-2, EF-2）

データを識別するための固有番号で、複数回入退院があっても同一のコードとする。様式1と同一の番号とする。カルテの番号である必要はない。

- ・退院年月日：(E-3, F-3, EF-3)

当月末時点において、当該入院がまだ入院中の場合は、ゼロ8桁‘0000000’とする。

- ・入院年月日：(E-4, F-4, EF-4)

当該入院日を8桁 (yyyymmdd) で記載する。

- ・データ区分：(E-5, F-5, EF-5)

レセプト電算処理システムの診療識別コード (医科) をうめる。以下のうち ( ) 内は外来データを作成する場合に適用となる。

[コード]	[名称]	[コード]	[名称]
11	初診	32	静脈内
(12)	(再診)	33	その他
13	指導	39	薬剤料減点=入院
14	在宅	40	処置
21	内服	50	手術
22	屯服	54	麻酔
23	外用	60	検査・病理
24	調剤=入院	70	画像診断
(25)	(処方)	80	その他
26	麻毒	90	入院基本料=入院
27	調基	92	特定入院料=入院
28	その他=入院	97	食事療養・標準負担額=入院
31	皮下筋肉内		

※先進医療に係る項目はデータ区分80を設定する。

- ・順序番号：(E-6, F-6, EF-6)

データ識別番号、入退院及びデータ区分の分類毎に一連の行為を最大のレコードとして0001から順に採番する。極力同一行為は実施日別に別レコードを発生させる。入退院が複数月にまたがる場合には月を通して連続番号で採番することを基本とする。これが不可能な場合には、上記の分類毎に月内の採番でも可とする。

- ・行為明細番号：(F-7, EF-7)

Fファイルでは、順序番号の中を更に行為や医薬品、診療材料単位に分割してレコードを発生させる。前提として、実施日別のレコードとする。(順序番号を親とすると、行為明細番号は子に相当する)

診療明細情報の順序番号に対応する行為明細を001から付番すること。(001~999)

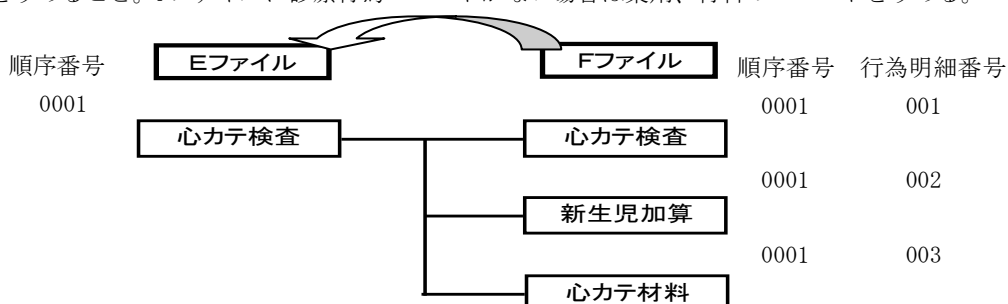
ただし、投薬についてはレセプト入力日単位にまとめることも可とする。

先進医療に係る項目を行った場合、行為明細番号については必ず001を記載することとし、定められた解釈番号および行為明細点数を行為明細番号001の列に記載する。

- ・レセプト電算処理システム用コード：(E-8, F-9, EF-9)

レセプト電算処理システム用コードが設定されていない診療材料については‘777770000’をうめる。

診療行為のE-8レセプト電算コードについてはFファイルに対応する先頭の診療行為レコードのレセプト電算コードをうめること。Fファイルに診療行為レコードがない場合は薬剤、材料のレコードをうめる。



また、コメントについてEファイルは不要であるが、Fファイルについては残すようにする。Eファイルでコメントコード‘810000000’を使用した場合は点数ゼロとする (先進医療に係る項目を除く)。

なお、平成18年度調査からは、全てのレセプト電算コード対応を必須とする。

先進医療に係る項目を行った場合には‘810000001’のフリーコメントを記載し、下記解釈番号を付与すること。

・ 解釈番号：(E-9, F-10, EF-10)

点数表コード (K600等) で、病院のマスターが対応できる場合にうめる。

先進医療に係る項目を行った場合には、下記例の通り明記する。

(例：第2項先進医療の**内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術** (整理番号45) を行った場合、Z2045と入力。)

(例：第3項先進医療の経皮的肺がんラジオ波焼灼療法 (整理番号6) を行った場合、Z3006と入力。)

解釈番号については、必ず行為明細番号001が付与されている列に記載すること。

※整理番号については、新しいものが追加される度に下記URLに掲載されるので、その都度参照すること。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/sensiniryu/kikan03.html>

・ 診療行為名称：(E-10) および、診療明細名称：(F-11, EF-11)

レセプトに記載する名称。病院のマスターにて使用している名称を用いても良いが、その場合には院内で設定している外字などの定義がなくとも可読なように変換を行うこと。日本語コードにはシフトJISを用いること。

・ 行為点数：(E-11, EF-18)

一連の行為をレコードの最大単位としている。包括化、まるめなどによって、差異が発生するが、Eファイルの点数フィールドの値はレセプトと同一の値を正とする (査定前)。減加算の場合は-をつけ負の形態をとる。

・ 円点区分：(E-14, F-17, EF-15)

Eファイルの場合円となるのは食事のみで、他は点数表示とする。

先進医療に係る項目を行った場合、F-17 (EF-15) の円点区分は、1：円単位とする。

・ 行為明細点数：(F-14, EF-14)

行為の点数または金額を設定する。なお、先進医療に係る項目を行った場合、行為明細点数に先進医療について徴収した特別の料金の金額を記載する。

先進医療に係る項目を記載する際は以下の通りとする。

(例：内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術 (整理番号45) を実施し、特別の料金として122,800円徴収した場合)

データ区分 (F-5)	順序番号 (F-6)	行為明細番号 (F-7)	レセプト電算処理システム用コード (F-9)	解釈番号 (F-10)	診療明細名称 (F-11)	行為明細点数 (F-14)	円点区分 (F-17)
80	0025	001	810000001	Z2045	先進医療	122800	1

※データ区分は80とし、診療明細名称に記載する内容は任意とする。

データ区分 (E-5)	順序番号 (E-6)	レセプト電算処理システム用コード (E-8)	解釈番号 (E-9)	診療行為名称 (E-10)	行為点数 (E-11)	円点区分 (E-14)
80	0025	810000001	Z2045	先進医療	122800	1

・ 行為明細薬剤料：(F-15, EF-14)

行為毎の薬剤料で薬価×使用量とする。

1円未満の場合は小数点第3位まで出力のこと。

・ 行為明細材料料：(F-16, EF-14)

行為毎の材料料で、購入価または公示価に使用量をかけた値とする。

1円未満の場合は小数点第3位まで出力のこと。

・ 行為回数：(E-15, EF-21)

同一日に同一行為が複数回発生した場合は、合計した点数がE-11, 12, 13に計上され、回数は1とすることを基本とする。(薬剤等)

ただし、合計処理が不可能な場合で、各々を別レコードとして分離できず、かつ、点数が1回当たり点数となる場合は、回数として2以上が入る。合計処理は、統一データ処理にて実施。

・ レセ電算保険者番号：(E-16, EF-22)

主たる保険をうめる。

・ レセプト種別コード：(E-17, EF-23)

レセプト電算処理システムのレセプト種別コードをうめる。(別紙—4参照)

・ レセプト科区分：(E-19, EF-25)

レセプト電算処理システムのレセプト科コード。(別紙—2参照)

・ 診療科区分：(E-20, EF-26)

処置伝票などをコンピュータに入力する際に同時に入力された標榜科などの診療科をうめる。コードは、厚生労働省の様式で指定された診療科コードとする。(別紙—1参照)

- ・ 医師コード：（E-21, EF-27）  
処置伝票などをコンピュータに入力する際に同時に入力された医師コードをうめる。
- ・ 基準単位：（F-13, EF-3）  
レセプト電算処理システム用特定器材単位コード表を使用。（別紙—3参照）
- ・ 病棟コード：（E-22, EF-28）  
病院独自コードとする。退院時の病棟コードではなく、実施日毎にセットすること。
- ・ 病棟区分：（E-23, EF-29）  
入院中の外来診療については、病棟を外来扱いとし、コードをうめる。  
このとき、レセプト科区分と診療科区分は当該診療科とし、医師は外来診療を行った医師のコードをうめることとする。
- ・ 施設タイプ：（E-25, EF-31）  
統一データ処理用のフィールドである。
- ・ 出来高実績点数：（F-18, EF-16）  
出来高算定として、請求すべき点数を設定する。なお、特定入院料等に包括される診療項目に関しては0点でも良い。  
行為、薬剤、材料のレコードの出来高実績点数の合算が、Eファイルの行為点数と一致すること。  
薬剤レコードの出来高実績点数の合算が、Eファイルの行為薬剤料と一致すること。  
材料レコードの出来高実績点数の合算が、Eファイルの行為材料料と一致すること。  
薬剤、材料に関しては、計算した単位の最後のレコードに点数を設定する。  
行為に関して、加算がある場合には、加算分のレコードには、加算分の点数を設定すること。  
なお、%加算等で端数が発生する場合には、その加算レコードで調整すること。  
但し、その場合でも、行為（加算含む）の出来高実績点数の合計は、Eファイルの行為点数の薬剤・材料を除いた分と一致すること。  
また、%減算がある場合には、「—」（マイナス）付きで、マイナス点数を設定すること。  
いわゆる「まるめ」等、1グループで点数を算定する行為は、グループの最後のレコードに点数を設定する。  
特定入院料等に包括される診療項目に関しても、D006 出血・凝固検査、D007 血液化学検査 等のまるめ項目については項目ごとに出力する。その際、出来高実績点数は0点で入力して構わない。
- ・ 出来高・包括フラグ：（F-19, EF-17）  
診療行為は診療行為マスターのDPC適用区分と同じ値を設定する。  
薬剤、特定器材には包括「0」を設定する。  
但し、退院時処方に関しては出来高「1」を設定する（※必須とする）。  
また、特定入院料等に包括される診療項目（薬剤、特定医療材料含む）に関しては「6」を設定する（※必須とする）。  
但し、特定入院料等本体には「6」を設定しない。
- ・ 外泊の扱い：  
1日当たり1レコードとする（レセプト電算処理システムの外泊コード）。行為点数には外泊率加算後の点数をセット。

## 2) Dファイル（包括診療明細情報）

DファイルはDPC参加病院のみ作成するファイルである。なお、Dファイルの点数は、実際に請求した点数にて作成すること。（包括評価対象外の患者についても作成すること。）

- ・ 施設コード：（D-1）  
レセプトに記載するコード。都道府県コード（2桁）と医療機関コード（7桁）を合わせて9桁とする。（様式1と同一コード）
- ・ データ識別番号（D-2）  
データを識別するための固有番号で、複数回入退院があっても同一のコードとする。様式1と同一の番号とする。カルテの番号である必要はない。
- ・ 退院年月日：（D-3）  
当月末時点において、当該入院がまだ入院中の場合は、ゼロ8桁‘00000000’とする。
- ・ 入院年月日：（D-4）  
当該入院日を8桁（yyyymmdd）で記載する。
- ・ データ区分：（D-5）

レセプト電算処理システムの診療識別コード（医科）をうめる。（データ区分：（E-5, F-5）を参照）

但し、DPC包括点数のレコードは、「93」、DPC調整点数のレコードは、「94」を設定すること。

- ・ **順序番号：（D-6）**  
データ識別番号，入退院及びデータ区分の分類毎に一連の行為を最大のレコードとして0001から順に採番する。極力同一行為は実施日別に別レコードを発生させる。入退院が複数月にまたがる場合には月を通して連続番号で採番することを基本とする。これが不可能な場合には，上記の分類毎に月内の採番でも可とする。  
なお，E、Fファイルの順序番号とは同期を取る必要は無い。
- ・ **レセプト電算処理システム用コード：（D-8）**  
E、Fファイルと同様に、レセプト電算コードを設定すること。  
但し、DPC包括点数レコードについては'930000000'をうめる。  
また、DPC調整点数レコードについては'940000000'をうめる。
- ・ **解釈番号：（D-9）**  
点数表コード（K600等）で、病院のマスターが対応できる場合にうめる。
- ・ **診療行為名称：（D-10）**  
レセプトに記載する名称。病院のマスターにて使用している名称を用いても良いが、その場合には院内で設定している外字などの定義がなくとも可読なように変換を行うこと。日本語コードにはシフトJISを用いること。  
DPC包括点数レコード及びDPC調整点数レコードには、診断群分類区分（名称）を設定しても良い。
- ・ **行為点数：（D-11）**  
一連の行為をレコードの最大単位としている。包括化、丸めなどによって、差異が発生するが、Dファイルの点数フィールドの値はレセプトと同一の値を正とする（査定前）。減加算の場合は－をつけ負の形態をとる。  
なお、DPC包括点数レコードでは、診断群分類点数を設定すること（医療機関係数を掛ける前の値とする）  
また、DPC調整点数レコードでは、調整点数を設定すること（医療機関係数を掛けた後の調整点数を設定する）（マイナスの場合には、－をつけ負の形態をとる）
- ・ **円点区分：（D-14）**  
Dファイルの場合円となるのは食事のみで、他は点数表示とする。  
DPC包括点数レコード及びDPC調整点数レコードは点数表示とする。
- ・ **行為回数：（E-15）**  
同一日に同一行為が複数回発生した場合は、合計した点数がE-23, 24, 25に計上され、回数は1とすることを基本とする。（薬剤等）
- ・ **レセ電算保険者番号：（D-16）**  
主たる保険をうめる。
- ・ **レセプト種別コード：（D-17）**  
レセプト電算処理システムのレセプト種別コードをうめる。（別紙—4参照）
- ・ **レセプト科区分：（D-19）**  
レセプト電算処理システムのレセプト科コード。（別紙—2参照）
- ・ **診療科区分：（D-20）**  
処置伝票などをコンピュータに入力する際に同時に入力された標榜科などの診療科をうめる。コードは、厚生労働省の様式で指定された診療科コードとする。（別紙—1参照）
- ・ **医師コード：（D-21）**  
処置伝票などをコンピュータに入力する際に同時に入力された医師コードをうめる。
- ・ **算定開始日：（D-26）**  
DPC適用開始日を設定すること。  
DPC包括算定期間のレコード全体に設定すること。
- ・ **算定終了日：（D-27）**  
DPC適用終了日を設定すること。  
DPC包括算定期間のレコード全体に設定すること。
- ・ **算定起算日：（D-28）**  
DPC算定の起算日を設定すること。  
DPC包括算定期間のレコード全体に設定すること。
- ・ **診断群分類番号：（D-29）**  
診断群分類番号を設定すること。

DPC 包括算定期間のレコード全体に設定すること。

・医療機関係数：(D-30)

医療機関係数を設定すること。

DPC 包括算定期間のレコード全体に設定すること。

※D ファイルは、DPC 参加病院のみ提出すること。

※D-26 以降は、DPC 包括算定開始日から DPC 包括算定終了日までの全レコードに設定すること。また、DPC 包括算定期間外のレコードには設定しないこと。

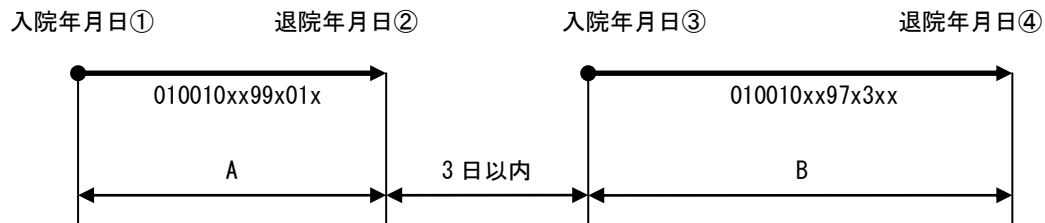
※特定集中治療室管理料等は、請求通り、加算点数のレコードを設定すること。

※DPC により包括されて 0 点となった項目は、レコードを作成する必要は無い。

※同一疾病で 3 日以内の再入院し、一連の入院と判断した場合は以下のようにする。

同一疾病で 3 日以内に再入院した場合の例

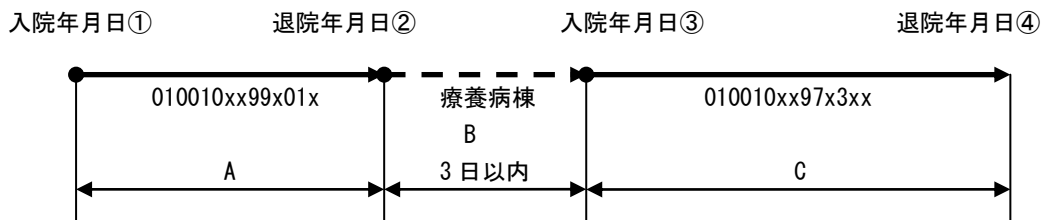
入院年月日①で入院、退院年月日②で退院し、脳梗塞 手術なし 副傷病あり (010010xx99x01x) を算定した。3 日以内に入院年月日③で脳梗塞 (010010) にて再入院し、退院年月日④で退院した。2 回目の入院は脳梗塞 その他の手術あり 手術処置等 2 3 あり (010010xx97x3xx) を算定した。



	D4 入院年月日	D3 退院年月日	D28 算定起算日	D26 算定開始日	D27 算定終了日
A	入院年月日①	退院年月日② または 00000000	入院年月日①	入院年月日①	退院年月日④ または 00000000
B	入院年月日③	退院年月日④	入院年月日①	入院年月日①	退院年月日④

同一疾病で3日以内に一般病棟へ再転棟した場合

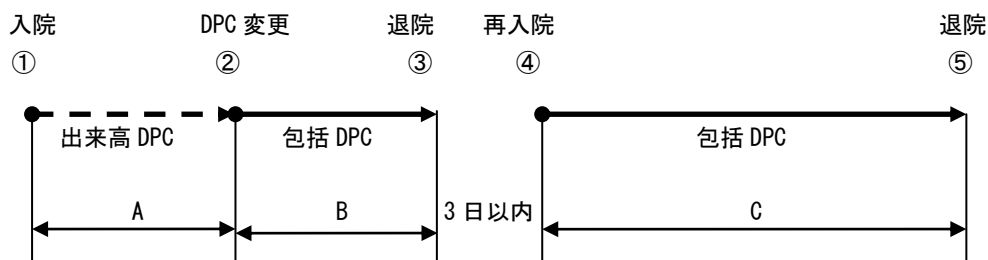
入院年月日①で入院、退院年月日②で退院し、脳梗塞 手術なし 副傷病あり (010010xx99x01x) を算定した。療養病棟へ転棟後、3日以内に入院年月日③で脳梗塞 (010010) にて一般病棟へ再転棟し、退院年月日④で退院した。2回目の入院は脳梗塞 その他の手術あり 手術処置等2 3あり (010010xx97x3xx) を算定した。



	D4 入院年月日	D3 退院年月日	D28 算定起算日	D26 算定開始日	D27 算定終了日
A	入院年月日①	退院年月日④ または 00000000	入院年月日①	入院年月日①	退院年月日④ または 00000000
B	入院年月日①	退院年月日④ または 00000000			
C	入院年月日①	退院年月日④ または 00000000	入院年月日①	入院年月日①	退院年月日④ または 00000000

出来高分類から包括分類に変更し、同一疾患で3日以内に再入院した場合

一般病棟へ入院。出来高 DPC から包括評価 DPC へ入院途中で変更し退院。3日以内に同一疾患で再入院し、包括評価 DPC にて算定した。



	D4 入院年月日	D3 退院年月日	D28 算定起算日	D26 算定開始日	D27 算定終了日
A	①	③			
B	①	③ または 00000000	① または ②※	②	⑤ または 00000000
C	④	⑤	① または ②※	②	⑤

※医療資源を最も投入した傷病名が異なる場合

レセプトデータダウンロード・データ仕様

Eファイル<診療明細情報>

DE 番号	必須 項目	データエレメント Data Element (DE)	桁数	累積 桁数	前ゼロ の必須	説 明
E-1	○	施設コード	9	9	必須	都道府県番号+医療機関コード 間には区切りを入れない。
E-2	○	データ識別番号	10	19	必須	複数回入退院しても共通の番号。様式1と一致する。
E-3	○	退院年月日(西暦)	8	27		(共通) yyyymmdd 1996年1月1日の場合、19960101
E-4	○	入院年月日(西暦)	8	35		退院年月日において未確定時は00000000とする
E-5	○	データ区分	2	37	必須	レセプト電算処理システムの診療識別に準ずる(※)
E-6	○	順序番号	4	41	必須	データ区分別に、診療行為明細を1からの連続した番号で付与する。
E-7	○	病院点数マスタコード	12	53		12桁ない場合は、左詰め。
E-8	○	レセプト電算処理システム用コード	9	62		レセプト電算処理システム用コード無い場合、材料777770000とする。
E-9	▲	解釈番号(基本)	8	70		診療報酬点数上の解釈番号 K600等
E-10	○	診療行為名称	254	324		診療行為の名称(最大漢字127文字)。満たない場合は、左詰め。
E-11	○	行為点数	8	332	必須	診療行為(剤単位)での点数計。手技料+E12 行為薬剤料+E13 行為材料料
E-12	○	行為薬剤料	8	340	必須	診療行為内の薬剤点数計(再掲)。薬剤料のみ。
E-13	○	行為材料料	8	348	必須	診療行為内の材料点数計(再掲)。材料料のみ。
E-14	○	円・点区分	1	349		1:円単位 0:点単位
E-15	○	行為回数	3	352	必須	診療行為の実施回数(同日の同一行為は1とカウント)
E-16	○	保険者番号	8	360		コードが4桁あるいは6桁の場合は、前に各々4桁、2桁のスペースを挿入。
E-17	△	レセプト種別コード	4	364		レセプト種別コード(医科)。1111~1999
E-18	○	実施年月日	8	372		yyymmdd(西暦年4桁)1996年1月1日の場合、19960101
E-19	○	レセプト科区分	2	374	必須	レセプト電算処理システムの診療科区分を入力。
E-20	○	診療科区分	3	377	必須	医師の所属する診療科。厚生労働省様式のコードを使用。
E-21	△	医師コード	10	387		病院独自コード。左詰め。
E-22	△	病棟コード	10	397		病院独自コード。但し、一般、一般以外の区別が可能なこと。左詰め。
E-23	○	病棟区分	1	398		1:一般以外 0:一般 2:入院中の外来診療
E-24	○	入外区分	1	399		1:外来 0:入院
E-25	○	施設タイプ	3	402		データ挿入不用。タブでフィールドのみ作成。

注1) 薬剤だけとれる検査の時は、E-8に薬剤のコードを入れ、E-11とE-12が同じ点数となる

注2) 加算点数はコメント情報扱い(独立レコードとして分離できない場合)

注3) 外泊の場合、1日あたり1レコードとし、E-8にレセプト電算処理システムの外泊コードを入れ、E-11の点数は外泊率加算後の点数

(※) 11, 13, 14, 21, 22, 23, 24, 26, 27, 31, 32, 33, 40, 50, 54, 60, 70, 80, 90, 92, 97のいずれかが入る



Fファイル<行為明細情報>

DE 番号	必須 項目	データエレメント Data Element (DE)	桁数	累積 桁数	前ゼロ の必須	説 明
F-1	○	施設コード	9	9	必須	都道府県番号+医療機関コード 間には区切りを入れない。
F-2	○	データ識別番号	10	19	必須	複数回入退院しても共通の番号。様式1と一致する。
F-3	○	退院年月日(西暦)	8	27		(共通) yyyymmdd 1996年1月1日の場合、19960101
F-4	○	入院年月日(西暦)	8	35		退院年月日において未確定時は00000000とする
F-5	○	データ区分	2	37	必須	レセプト電算処理システムの診療識別に準ずる(※)
F-6	○	順序番号	4	41	必須	データ区分別に、診療行為明細を1からの連続した番号で付与する。
F-7	○	行為明細番号	3	44	必須	診療明細情報の順序番号に対応する行為明細を、1から付番する。 001~999
F-8	○	病院点数マスタコード	12	56		12桁ない場合は、左詰め。
F-9	○	レセプト電算処理システム 用コード	9	65		Fファイルにはコメントデータを残す(コード810000000使用)。Eには不用。
F-10	▲	解釈番号(基本)	8	73		診療報酬点数上の解釈番号 K600等
F-11	○	診療明細名称	254	327		診療明細の名称(最大漢字127文字)。満たない場合は、左詰め。
F-12	○	使用量	11	338	必須	小数点以上7桁、小数点以下3桁にて設定(小数点は『.』にて設定する)。0.002mlの場合、0000000.002。行為コードでレセプト電算処理システム用コードの単位が設定されていない場合は0000000.000を設定。
F-13	○	基準単位	3	341		診療行為も含めてレセプト電算処理システム用特定器材コードを使用。無い場合は'000'。
F-14	○	行為明細点数	8	349	必須	行為の点数計
F-15	○	行為明細薬剤料	12	361	必須	行為の薬剤料(薬価×使用量)。
F-16	○	行為明細材料料	12	373	必須	行為の材料料(購入価または公示価×数量)。
F-17	○	円・点区分	1	374		1:円単位 0:点単位
F-18	○	出来高実績点数	8	382	必須	出来高算定として請求すべき点数。
F-19	○	出来高・包括フラグ	1	383	必須	診療行為はレセ電算マスタのDPC適用区分をセットする。退院時処方1をセットする。

注1) 点数のないものは、円表示とする

注2) 行為明細情報の点数は、丸め処理をする前のもの

注3) 外泊の場合、1日あたり1レコードとし、F-9にレセ電算の外泊コードを入れ、F-14の点数はE-11と同一

注4) F-14、F-15、F-16にはいずれか一つに点数が入る

(※) 11, 13, 14, 21, 22, 23, 24, 26, 27, 31, 32, 33, 40, 50, 54, 60, 70, 80, 90, 92, 97のいずれかが入る

Dファイル<包括診療明細情報>

DE 番号	必須 項目	データエレメント Data Element (DE)	桁数	累積 桁数	前ゼロ の必須	説 明
D-1	○	施設コード	9	9	必須	都道府県番号+医療機関コード 間には区切りを入れない。
D-2	○	データ識別番号	10	19	必須	複数回入退院しても共通の番号。様式1と一致する。
D-3	○	退院年月日(西暦)	8	27		(共通) yyyymmdd 1996年1月1日の場合、19960101。未確定時は00000000
D-4	○	入院年月日(西暦)	8	35		(共通) yyyymmdd 1996年1月1日の場合、19960101
D-5	○	データ区分	2	37	必須	レセプト電算処理システムの診療識別に準ずる(※)
D-6	○	順序番号	4	41	必須	データ区分別に、診療行為明細を1からの連続した番号で付与する。
D-7	○	病院点数マスタコード	12	53		12桁ない場合は、左詰め。
D-8	○	レセプト電算処理システム用コード	9	62		レセプト電算処理システム用コード無い場合、材料777770000とする。
D-9	▲	解釈番号(基本)	8	70		診療報酬点数上の解釈番号 K600等
D-10	○	診療行為名称	254	324		診療行為の名称(最大漢字127文字)。満たない場合は、左詰め。
D-11	○	行為点数	8	332	必須	診療行為(剤単位)での点数計
D-12	○	行為薬剤料	8	340	必須	診療行為内の薬剤点数計(再掲)。
D-13	○	行為材料料	8	348	必須	診療行為内の材料点数計(再掲)。
D-14	○	円・点区分	1	349		1:円単位 0:点単位
D-15	○	行為回数	3	352	必須	診療行為の実施回数(同日の同一行為は1とカウント)
D-16	○	保険者番号	8	360		コードが4桁あるいは6桁の場合は、前に各々4桁、2桁のスペースを挿入。
D-17	△	レセプト種別コード	4	364		レセプト種別コード(医科)。1111~1999
D-18	○	実施年月日	8	372		yyymmdd(西暦年4桁)1996年1月1日の場合、19960101
D-19	○	レセプト科区分	2	374	必須	レセプト電算処理システムの診療科区分を入力。
D-20	○	診療科区分	3	377	必須	医師の所属する診療科。厚生労働省様式のコードを使用。
D-21	△	医師コード	10	387		病院独自コード。左詰め。
D-22	△	病棟コード	10	397		病院独自コード。但し、一般、一般以外の区別が可能。左詰め。
D-23	○	病棟区分	1	398		1:一般以外 0:一般 2:入院中の外来診療
D-24	○	入外区分	1	399		1:外来 0:入院
D-25	○	施設タイプ	3	402		データ挿入不用。タブでフィールドのみ作成。
D-26	◎	算定開始日	8	410		DPC適用開始日
D-27	◎	算定終了日	8	418		DPC適用終了日
D-28	◎	算定起算日	8	426		算定起算日
D-29	◎	分類番号	14	440		DPCコード(14桁)
D-30	◎	医療機関係数	6	446		診療年月に対応する医療機関調整係数例) 1.1234(小数点も1桁として設定)

○: 必須 △: 出来高の時必須 ◎: DPC 包括算定期間のみ必須 ▲: 必須ではない

(※) 11, 13, 14, 21, 22, 23, 24, 26, 27, 31, 32, 33, 40, 50, 54, 60, 70, 80, 90, 92, 93, 94, 97のいずれかが入る

EF統合ファイル<行為明細情報>

DE 番号	必須 項目	データエレメント Data Element (DE)	桁数	累積 桁数	前ゼロ の必須	E ファイル	F ファイル	備 考
EF-1	○	施設コード	9	9	必須	E1 施設コード	F1 施設コード	
EF-2	○	データ識別番号	10	19	必須	E2 データ識別番号	F2 データ識別番号	
EF-3	○	退院年月日(西暦)	8	27		E3 退院年月日	F3 退院年月日	
EF-4	○	入院年月日(西暦)	8	35		E4 入院年月日	F4 入院年月日	
EF-5	○	データ区分	2	37	必須	E5 データ区分	F5 データ区分	
EF-6	○	順序番号	4	41	必須	E6 順序番号	F6 順序番号	
EF-7	○	行為明細番号	3	44	必須		F7 行為明細番号	
EF-8	○	病院点数マスタコード	12	56		(E7 病院点数マスタ コード)	F8 病院点数マスタコー ド	
EF-9	○	レセプト電算処理シス テム用コード	9	65		(E8 レセプト電算コ ード)	F9 レセプト電算コード	
EF-10	▲	解釈番号	8	73		(E9 解釈番号)	F10 解釈番号	
EF-11	○	診療明細名称	254	327		(E10 診療行為名称)	F11 診療明細名称	
EF-12	○	使用量	11	338	必須		F12 使用量	
EF-13	○	基準単位	3	341			F13 基準単位	
EF-14	○	明細点数	8	349	必須	}	F14 行為明細点数 F15 行為明細薬剤料 F16 行為明細材料料	
EF-15	○	円・点区分	1	350			(E14 円点区分)	F17 円点区分
EF-16	○	出来高実績点数	8	358	必須		F18 出来高実績点数	
EF-17	○	出来高・包括フラグ	1	359	必須		F19 出来高包括フラグ	
EF-18	○	行為点数	8	367	必須	E11 行為点数		
EF-19	○	行為薬剤料	8	375	必須	E12 行為薬剤料		
EF-20	○	行為材料料	8	383	必須	E13 行為材料料		
EF-21	○	行為回数	3	386	必須	E15 行為回数		全レコード
EF-22	○	保険者番号	8	394		E16 保険者番号		
EF-23	△	レセプト種別コード	4	398		E17 レセプト種別コ ード		
EF-24	○	実施年月日	8	406		E18 実施年月日		全レコード
EF-25	○	レセプト科区分	2	408	必須	E19 レセプト科区分		
EF-26	○	診療科区分	3	411	必須	E20 診療科区分		全レコード
EF-27	△	医師コード	10	421		E21 医師コード		全レコード
EF-28	△	病棟コード	10	431		E22 病棟コード		全レコード
EF-29	○	病棟区分	1	432		E23 病棟区分		全レコード
EF-30	○	入外区分	1	433		E24 入外区分		
EF-31	○	施設タイプ	3	436		E25 施設タイプ		

○：必須 △：出来高の時必須 ◎：DPC 包括算定期間のみ必須 ▲：必須ではない

(※) 11, 13, 14, 21, 22, 23, 24, 26, 27, 31, 32, 33, 40, 50, 54, 60, 70, 80, 90, 92, 97のいずれかが入る

# 平成 25 年度調査における外来 EF ファイルの仕様について

## 1. ファイル作成の基本的な方法について

- ファイルの作成方法は、厚生労働省保険局医療課による「DPC 導入の影響評価」に係るレセプトデータダウンロード方式によるレセプト情報データ収集について 第 10 版 に規定された方法論に従い、外来診療データを対象として EF ファイルを作成する。
- フィールドは入院 EF ファイルと同一とする。
- 提出ファイルは入院 EF ファイルと外来 EF ファイルの 2 つとする（入院と外来は統合しない）。
- EF 統合ファイルソフトは調査事務局にて準備する（医療機関は「自ら EF 統合ファイルを作成」又は「E ファイル・F ファイル別々に作成」のいずれを実行しても構わない）。

## 2. 提出対象となる患者について

- 調査期間内の外来診療データすべて。
- 入院の有無により対象患者を絞り込む必要はない。
- ただし、入院期間中の外来診療（自院・他院係わらず）については、入院 EF ファイルに出力し、外来 EF ファイルには出力しないこと。
- 外来医療保険の対象の全患者を出力。労災・公害・その他の除外分と保険分との混在の場合は、医療保険部分のみ対象とする。

## 3. 外来 EF ファイルにおける各フィールドの入力規則

外来 EF ファイルにおいては、下記の点で入力規則について注意すること。

- (1) データ識別番号：(E-2, F-2)  
入院 EF・様式 1 等と外来 EF で同一の患者については同一の匿名化処理後番号を使用する。
- (2) 退院年月日：(E-3, F-3)  
常にゼロ 8 桁「00000000」とする。
- (3) 入院年月日：(E-4, F-4)  
外来受診年月日を YYYYMMDD 形式により入力する。
- (4) 順序番号：(E-6, F-6)  
データ識別番号及びデータ区分の分類毎に一連の行為を最大のレコードとして 0001 から順に採番する。入院 EF ファイルと同様、同一診療行為は外来受診日別に別レコードを発生させる。同一月内は連続番号で採番することとし、月が変わった際は番号を振り直す。  
外来受診年月日（入院年月日）内の連番での入力も可とするが、診療科別にはしないこと。
- (5) 「病棟コード：(E-22)」→「999999999」を入力する。
- (6) 「病棟区分：(E-23)」→「9」を入力する。
- (7) 「入外区分：(E-24)」→「1：外来」を入力する。

## 4. 外来特有の診療行為の取扱い

- (1) 入院にない項目：処方せん料、処方薬（院外処方薬）
  - 外来受診日に複数の処方箋が発生した場合、原則として 1 処方 1 レコード(RP 毎/剤毎)として E ファイルに作成し、診療科を明記する。
  - 院外処方、院内処方により処方された薬剤については 1 薬剤 1 レコードとして F ファイルに作成する。
  - 院外処方薬については、データ区分「20 番台」にし行為点数(E-11)に「0」を、「F-19 出来高・包括フラグ」に「9」を入力する。処方せん料についてはデータ区分「80」で作成することとし、院外処方において一般名処方を行った場合等の記載方法については、以下を参照のこと。

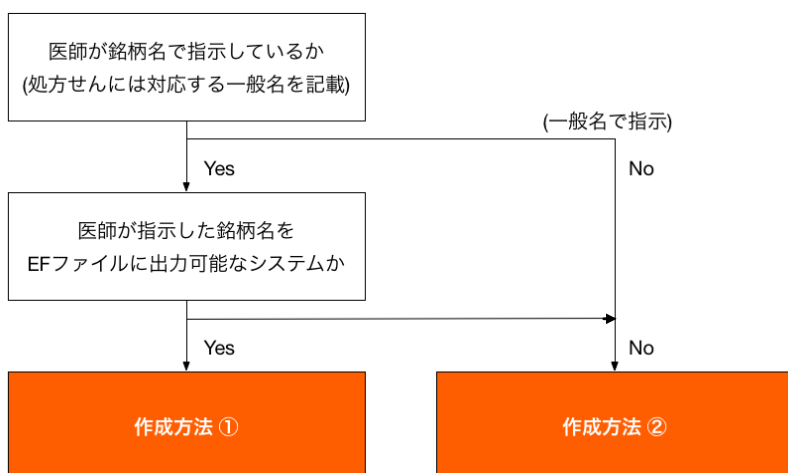
### ① 処方せん料および院外処方薬の作成方法

- i. 処方せん料の作成
  - データ区分「80」で作成する。（レセプト請求データと同じ）

- ii. 院外処方薬の作成
- 通常の院内処方薬と同様、データ区分「20番台」で作成する。
  - 「E-11(EF-18) 行為点数」および「E-12(EF-19) 行為薬剤料」に「0」を入力する。
  - 「F-19(EF-17) 出来高・包括フラグ」に「9」を入力する。
- ただし、一般名により処方せんを記載した場合は、次項「② 院外処方において一般名処方を行った場合のデータ作成方法」に従い、「8」または「7」を入力する。

※外来 EF ファイルの作成例は P180 を参照。

## ② 院外処方において一般名処方を行った場合の院外処方薬データ作成方法



- i. 作成方法①
- 医師が指示した銘柄名（薬価基準に記載されている名称）の医薬品で作成する。
  - 「F-19(EF-17) 出来高・包括フラグ」に「8」を入力する。
- ii. 作成方法②
- 一般名に対応する任意の銘柄名の医薬品（\*）で作成する。  
「F-15 行為明細薬剤料/EF-14 明細点数」には、同一剤形・規格内の最低薬価ではなく、当該銘柄名の医薬品の薬剤料を入力すること。
  - 「F-19(EF-17) 出来高・包括フラグ」に「7」を入力する。
- \* 厚生労働省が提供している一般名処方マスタのコード（一般名コード）で指示した場合、原則、薬価基準収載医薬品コード（厚生労働省医政局経済課の分類コード）の上9桁が一般名コードの上9桁と一致する医薬品コードの中で任意のものを使用する。

※上記より、院外処方に対する「F-19(EF-17) 出来高・包括フラグ」の入力は次の通りとなる。

- ◇ 一般名処方ではない院外処方の場合は「9」を入力する。
- ◇ 一般名処方を行い、医師が指示した銘柄名を EF ファイルに出力する場合は「8」を入力する。
- ◇ 一般名処方を行い、任意の銘柄名を EF ファイルに出力する場合は「7」を入力する。

## (2) 複数科受診の取扱い

- 初診料、再診料について請求可能なものについて、それぞれ1レコードとして E ファイルに作成し、診療科を明記する。

## 5. 包括診療行為の取扱い

入院 EF ファイルと同様に包括診療行為の詳細な実施情報を記載（例：D007 血液化学検査 10 項目以上を算定する場合は、当該点数に包括され実施した個別検査項目を記載）。包括される診療行為については、「行為点数：(E-11)」に「0」を入力。

外来 E ファイル<診療明細情報>

DE 番号	必須 項目	データエレメント Data Element (DE)	桁数	累積 桁数	前ゼロ の必須	説 明
E-1	○	施設コード	9	9	必須	都道府県番号+医療機関コード 間には区切りを入れない。
E-2	○	データ識別番号	10	19	必須	複数回入退院しても共通の番号。様式1と一致する。入院・外来同一コード。
E-3	○	退院年月日(西暦)	8	27		常にゼロ8桁‘00000000’とする。
E-4	○	入院年月日・外来受診年月日(西暦)	8	35		外来受診年月日をYYYYMMDD形式によりセットする。
E-5	○	データ区分	2	37	必須	レセプト電算処理システムの診療識別に準ずる。(※)
E-6	○	順序番号	4	41	必須	データ識別番号、入院年月日(本調査では外来受診年月日)及びデータ区分の分類毎に一連の行為を最大のレコードとして0001から順に採番する。これが不可能な場合には、データ識別番号毎に月内の採番でも可とする。
E-7	○	病院点数マスタコード	12	53		12桁ない場合は、左詰め。
E-8	○	レセプト電算処理システム用コード	9	62		レセプト電算処理システム用コード無い場合、材料777770000とする。
E-9	▲	解釈番号(基本)	8	70		診療報酬点数上の解釈番号 K600等
E-10	○	診療行為名称	254	324		診療行為の名称(最大漢字127文字)。満たない場合は、左詰め。
E-11	○	行為点数	8	332	必須	診療行為(剤単位)での点数計。手技料+E12行為薬剤料+E13行為材料料
E-12	○	行為薬剤料	8	340	必須	診療行為内の薬剤点数計(再掲)。薬剤料のみ。
E-13	○	行為材料料	8	348	必須	診療行為内の材料点数計(再掲)。材料料のみ。
E-14	○	円・点区分	1	349		1:円単位 0:点単位
E-15	○	行為回数	3	352	必須	診療行為の実施回数(同日の同一行為は1とカウント)
E-16	○	保険者番号	8	360		コードが4桁あるいは6桁の場合は、前に各々4桁、2桁のスペースを挿入。
E-17	○	レセプト種別コード	4	364		レセプト種別コード(医科)。1111~1999
E-18	○	実施年月日	8	372		yyyymmdd(西暦年4桁)1996年1月1日の場合、19960101
E-19	○	レセプト科区分	2	374	必須	レセプト電算処理システムの診療科区分を入力。
E-20	○	診療科区分	3	377	必須	医師の所属する診療科。厚生労働省様式のコードを使用。
E-21	▲	医師コード	10	387		病院独自コード。左詰め。
E-22	○	病棟コード	10	397		「9999999999」をセットすること。左詰め。
E-23	○	病棟区分	1	398		「9」をセットすること。
E-24	○	入外区分	1	399		「1:外来」をセットすること
E-25	○	施設タイプ	3	402		データ挿入不用。タブでフィールドのみ作成。

○：必須 ▲：必須ではない

注1) 薬剤だけとれる検査の時は、E-8に薬剤のコードを入れ、E-11とE-12が同じ点数となる

注2) 加算点数はコメント情報扱い(独立レコードとして分離できない場合)

(※) 11、12、13、14、21、22、23、25、26、27、31、32、33、40、50、54、60、70、80、のいずれかが入る。

外来 F ファイル<行為明細情報>

DE 番号	必須 項目	データエレメント Data Element (DE)	桁数	累積 桁数	前ゼロ の必須	説 明
F-1	○	施設コード	9	9	必須	都道府県番号+医療機関コード 間には区切りを入れない。
F-2	○	データ識別番号	10	19	必須	複数回入退院しても共通の番号。様式1と一致する。入院・外来同一コード。
F-3	○	退院年月日(西暦)	8	27		常にゼロ8桁'00000000'とする。
F-4	○	入院年月日・外来受診年月日(西暦)	8	35		外来受診年月日をYYYYMMDD形式によりセットする。
F-5	○	データ区分	2	37	必須	レセプト電算処理システムの診療識別に準ずる。(※)
F-6	○	順序番号	4	41	必須	データ識別番号、入院年月日(本調査では外来受診年月日)及びデータ区分の分類毎に一連の行為を最大のレコードとして0001から順に採番する。これが不可能な場合には、データ識別番号毎に月内の採番でも可とする。
F-7	○	行為明細番号	3	44	必須	診療明細情報の順序番号に対応する行為明細を、1から付番する。001~999
F-8	○	病院点数マスタコード	12	56		12桁ない場合は、左詰め。
F-9	○	レセプト電算処理システム用コード	9	65		Fファイルにはコメントデータを残す(コード810000000使用)。Eには不用。
F-10	▲	解釈番号(基本)	8	73		診療報酬点数上の解釈番号 K600等
F-11	○	診療明細名称	254	327		診療明細の名称(最大漢字127文字)。満たない場合は、左詰め。
F-12	○	使用量	11	338	必須	小数点以上7桁、小数点以下3桁にて設定(小数点は『.』にて設定する)。0.002mlの場合、0000000.002。行為コードでレセプト電算処理システム用コードの単位が設定されていない場合は0000000.000を設定。
F-13	○	基準単位	3	341		診療行為も含めてレセプト電算処理システム用特定器材コードを使用。無い場合は'000'。
F-14	○	行為明細点数	8	349	必須	行為の点数計
F-15	○	行為明細薬剤料	12	361	必須	行為の薬剤料(薬価×使用量)。
F-16	○	行為明細材料料	12	373	必須	行為の材料料(購入価または公示価×数量)。
F-17	○	円・点区分	1	374		1:円単位 0:点単位
F-18	○	出来高実績点数	8	382	必須	出来高算定として請求すべき点数。
F-19	○	出来高・包括フラグ	1	383	必須	原則、1をセットするが、院外処方に伴う薬剤については9をセットする。ただし、一般名処方を行った場合は、8または7をセットする。

○：必須 ▲：必須ではない

注1) 点数のないものは、円表示とする。

注2) 行為明細情報の点数は、丸め処理をする前のもの。

注3) F-14、F-15、F-16にはいずれか一つに点数が入る。

(※) Eファイルと同じ

外来 EF 統合ファイル<行為明細情報>

DE 番号	必須 項目	データエレメント Data Element (DE)	桁数	累積 桁数	前ゼロ の必須	E ファイル	F ファイル	備 考
EF-1	○	施設コード	9	9	必須	E1 施設コード	F1 施設コード	
EF-2	○	データ識別番号	10	19	必須	E2 データ識別番号	F2 データ識別番号	
EF-3	○	退院年月日(西暦)	8	27		E3 退院年月日	F3 退院年月日	
EF-4	○	入院年月日(西暦)	8	35		E4 入院年月日	F4 入院年月日	
EF-5	○	データ区分	2	37	必須	E5 データ区分	F5 データ区分	
EF-6	○	順序番号	4	41	必須	E6 順序番号	F6 順序番号	
EF-7	○	行為明細番号	3	44	必須		F7 行為明細番号	
EF-8	○	病院点数マスタコード	12	56		(E7 病院点数マスタ コード)	F8 病院点数マスタコー ド	
EF-9	○	レセプト電算処理シス テム用コード	9	65		(E8 レセプト電算コ ード)	F9 レセプト電算コード	
EF-10	▲	解釈番号	8	73		(E9 解釈番号)	F10 解釈番号	
EF-11	○	診療明細名称	254	327		(E10 診療行為名称)	F11 診療明細名称	
EF-12	○	使用量	11	338	必須		F12 使用量	
EF-13	○	基準単位	3	341			F13 基準単位	
EF-14	○	明細点数	8	349	必須	}	F14 行為明細点数 F15 行為明細薬剤料 F16 行為明細材料料	
EF-15	○	円・点区分	1	350			(E14 円点区分)	F17 円点区分
EF-16	○	出来高実績点数	8	358	必須		F18 出来高実績点数	
EF-17	○	出来高・包括フラグ	1	359	必須		F19 出来高包括フラグ	
EF-18	○	行為点数	8	367	必須	E11 行為点数		
EF-19	○	行為薬剤料	8	375	必須	E12 行為薬剤料		
EF-20	○	行為材料料	8	383	必須	E13 行為材料料		
EF-21	○	行為回数	3	386	必須	E15 行為回数		全レコード
EF-22	○	保険者番号	8	394		E16 保険者番号		
EF-23	○	レセプト種別コード	4	398		E17 レセプト種別コ ード		
EF-24	○	実施年月日	8	406		E18 実施年月日		全レコード
EF-25	○	レセプト科区分	2	408	必須	E19 レセプト科区分		
EF-26	○	診療科区分	3	411	必須	E20 診療科区分		全レコード
EF-27	▲	医師コード	10	421		E21 医師コード		全レコード
EF-28	○	病棟コード	10	431		E22 病棟コード		全レコード
EF-29	○	病棟区分	1	432		E23 病棟区分		全レコード
EF-30	○	入外区分	1	433		E24 入外区分		
EF-31	○	施設タイプ	3	436		E25 施設タイプ		

○：必須 ▲：必須ではない

(※) データ区分はEファイルと同じ



別紙—1 E-20：診療科区分（厚生労働省 様式コード表）

診療科目	コード番号	診療科目	コード番号	診療科目	コード番号
内科	010	整形外科	120	眼科	230
心療内科	020	形成外科	130	耳鼻咽喉科	240
精神科	030	美容外科	140	気管食道科	250
神経科	040	脳神経外科	150	リハビリテーション科	260
呼吸器科	050	呼吸器外科	160	放射線科	270
消化器科	060	心臓血管外科	170	神経内科	280
循環器科	070	小児外科	180	胃腸科	290
アレルギー科	080	皮膚泌尿器科	190	皮膚科	300
リウマチ科	090	性病科	200	泌尿器科	310
小児科	100	肛門科	210	産科	320
外科	110	産婦人科	220	婦人科	330

呼吸器内科	340	代謝内科	440	大腸肛門科	540
循環器内科	350	内分泌内科	450	眼形成眼窩外科	550
歯科	360	救急医学科	460	不妊内分泌科	560
歯科矯正科	370	血液科	470	膠原病リウマチ内科	570
小児歯科	380	血液内科	480	脳卒中科	580
歯科口腔外科	390	麻酔科	490	腫瘍治療科	590
糖尿病科	400	消化器内科	500	総合診療科	600
腎臓内科	410	消化器外科	510	乳腺甲状腺外科	610
腎移植科	420	肝胆膵外科	520	新生児科	620
血液透析科	430	糖尿内科	530	小児循環器科	630

別紙—2 E-19：レセプト電算処理システム用診療科コード

コード名	コード	内 容
診療科コード	01	内科
	02	精神科
	03	神経科
	04	神経内科
	05	呼吸器科
	06	消化器科
	07	胃腸科
	08	循環器科
	09	小児科
	10	外科
	11	整形外科
	12	形成外科
	13	美容外科
	14	脳神経外科
	15	呼吸器外科
	16	心臓血管外科
	17	小児外科
	18	皮膚泌尿器科
	19	皮膚科
	20	泌尿器科
	21	性病科
	22	肛門科
	23	産婦人科（産科又は婦人科）
	24	産科
	25	婦人科
	26	眼科
	27	耳鼻咽喉科
	28	気管食道科
	29	（欠）
	30	放射線科（放射線診断科又は放射線治療科）
	31	麻酔科
	32	（欠）
	33	心療内科
	34	アレルギー科
	35	リウマチ科
	36	リハビリテーション科
	37	病理診断科
	38	臨床検査科
	39	救急科

別紙—3 F-13：特定器材単位コード

コード名	コード	内 容	コード	内 容	コード	内 容	コード	内 容
特定器材単位 コード	001	分	031	滴	101	分画	131	月
	002	回	032	mg	102	染色	132	入院初日
	003	種	033	g	103	種類	133	入院中
	004	箱	034	Kg	104	株	134	退院時
	005	巻	035	cc	105	菌株	135	初回
	006	枚	036	mL	106	照射	136	口腔
	007	本	037	L	107	臓器	137	顎
	008	組	038	mLV	108	件	138	週
	009	セット	039	バイアル	109	部位	139	窩洞
	010	個	040	cm	110	肢	140	神経
	011	裂	041	cm <sup>2</sup>	111	局所	141	一連
	012	方向	042	m	112	種目	142	2週
	013	トローチ	043	μCi	113	スキャン	143	2月
	014	アンプル	044	mCi	114	コマ	144	3月
	015	カプセル	045	μg	115	処理	145	4月
	016	錠	046	管(瓶)	116	指	146	6月
	017	丸	047	筒	117	歯	147	12月
	018	包	048	GBq	118	面	148	5年
	019	瓶	049	MBq	119	側	149	妊娠中
	020	袋	050	KBq	120	個所	150	検査当り
	021	瓶(袋)	051	キット	121	日	151	1疾患当り
	022	管	052	国際単位	122	椎間	153	装置
	023	シリンジ	053	患者当り	123	筋	154	1歯1回
	024	回分	054	気圧	124	菌種	155	1口腔1回
	025	テスト分	055	缶	125	項目	156	床
	026	ガラス筒	056	手術当り	126	箇所	157	1顎1回
	027	桿錠	057	容器	127	椎弓	158	椎体
	028	単位	058	mL(g)	128	食		
	029	万単位	059	ブリスター	129	根管		
	030	フィート	060	シート	130	3分の1顎		

別紙—4 E-17: レセプト種別コード (医科)

コード名	コード	社会保険診療報酬支払基金	国民健康保険団体連合会
レセプト 種別 (医科)	1111	医科・医保単独・本人・入院	医科・国保単独・世帯主・入院
	1112	〃・〃・本人・入院外	〃・〃・世帯主・入院外
	1113	〃・〃・未就学者・入院	〃・〃・未就学者・入院
	1114	〃・〃・未就学者・入院外	〃・〃・未就学者・入院外
	1115	〃・〃・家族・入院	〃・〃・その他・入院
	1116	〃・〃・家族・入院外	〃・〃・その他・入院外
	1117	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院
	1118	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院外	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院外
	1119	〃・〃・高齢受給者7割・入院	〃・〃・高齢受給者7割・入院
	1110	〃・〃・高齢受給者7割・入院外	〃・〃・高齢受給者7割・入院外
	1121	〃・医保と1種の公費併用・本人・入院	〃・国保と1種の公費併用・世帯主・入院
	1122	〃・〃・本人・入院外	〃・〃・世帯主・入院外
	1123	〃・〃・未就学者・入院	〃・〃・未就学者・入院
	1124	〃・〃・未就学者・入院外	〃・〃・未就学者・入院外
	1125	〃・〃・家族・入院	〃・〃・その他・入院
	1126	〃・〃・家族・入院外	〃・〃・その他・入院外
	1127	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院
	1128	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院外	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院外
	1129	〃・〃・高齢受給者7割・入院	〃・〃・高齢受給者7割・入院
	1120	〃・〃・高齢受給者7割・入院外	〃・〃・高齢受給者7割・入院外
	1131	〃・医保と2種の公費併用・本人・入院	〃・国保と2種の公費併用・世帯主・入院
	1132	〃・〃・本人・入院外	〃・〃・世帯主・入院外
	1133	〃・〃・未就学者・入院	〃・〃・未就学者・入院
	1134	〃・〃・未就学者・入院外	〃・〃・未就学者・入院外
	1135	〃・〃・家族・入院	〃・〃・その他・入院
	1136	〃・〃・家族・入院外	〃・〃・その他・入院外
	1137	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院
	1138	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院外	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院外
	1139	〃・〃・高齢受給者7割・入院	〃・〃・高齢受給者7割・入院
	1130	〃・〃・高齢受給者7割・入院外	〃・〃・高齢受給者7割・入院外
	1141	〃・医保と3種の公費併用・本人・入院	〃・国保と3種の公費併用・世帯主・入院
	1142	〃・〃・本人・入院外	〃・〃・世帯主・入院外
	1143	〃・〃・未就学者・入院	〃・〃・未就学者・入院
	1144	〃・〃・未就学者・入院外	〃・〃・未就学者・入院外
	1145	〃・〃・家族・入院	〃・〃・その他・入院
	1146	〃・〃・家族・入院外	〃・〃・その他・入院外
	1147	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院
	1148	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院外	〃・〃・高齢受給者一般・低所得者・入院外
	1149	〃・〃・高齢受給者7割・入院	〃・〃・高齢受給者7割・入院
	1140	〃・〃・高齢受給者7割・入院外	〃・〃・高齢受給者7割・入院外
1151	医科・医保と4種の公費併用・本人・入院	医科・国保と4種の公費併用・世帯主・入院	
1152	〃・〃・本人・入院外	〃・〃・世帯主・入院外	
1153	〃・〃・未就学者・入院	〃・〃・未就学者・入院	
1154	〃・〃・未就学者・入院外	〃・〃・未就学者・入院外	
1155	〃・〃・家族・入院	〃・〃・その他・入院	
1156	〃・〃・家族・入院外	〃・〃・その他・入院外	

コード名	コード	社会保険診療報酬支払基金	国民健康保険団体連合会
	1157	〃 ・ 〃 ・ 高齢受給者一般・低所得者 ・ 入院	〃 ・ 〃 ・ 高齢受給者一般・低所得者 ・ 入院
	1158	〃 ・ 〃 ・ 高齢受給者一般・低所得者 ・ 入院外	〃 ・ 〃 ・ 高齢受給者一般・低所得者 ・ 入院外
	1159	〃 ・ 〃 ・ 高齢受給者7割 ・ 入院	〃 ・ 〃 ・ 高齢受給者7割 ・ 入院
	1150	〃 ・ 〃 ・ 高齢受給者7割 ・ 入院外	〃 ・ 〃 ・ 高齢受給者7割 ・ 入院外
	1211	〃 ・ 公費単独 ・ 入院	_____
	1212	〃 ・ 〃 ・ 入院外	_____
	1221	〃 ・ 2種の公費併用 ・ 入院	_____
	1222	〃 ・ 〃 ・ 入院外	_____
	1231	〃 ・ 3種の公費併用 ・ 入院	_____
	1232	〃 ・ 〃 ・ 入院外	_____
	1241	〃 ・ 4種の公費併用 ・ 入院	_____
	1242	〃 ・ 〃 ・ 入院外	_____
	1317	〃 ・ 後期高齢者単独 ・ 一般・低所得者 ・ 入院	医科・後期高齢者単独 ・ 一般・低所得者 ・ 入院
	1318	〃 ・ 〃 ・ 一般・低所得者 ・ 入院外	〃 ・ 〃 ・ 一般・低所得者 ・ 入院外
	1319	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院
	1310	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院外	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院外
	1327	〃 ・ 後期高齢者と1種の公費併用 ・ 一般・低所得者 ・ 入院	〃 ・ 後期高齢者と1種の公費併用 ・ 一般・低所得者 ・ 入院
	1328	〃 ・ 〃 ・ 一般・低所得者 ・ 入院外	〃 ・ 〃 ・ 一般・低所得者 ・ 入院外
	1329	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院
	1320	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院外	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院外
	1337	〃 ・ 後期高齢者と2種の公費併用 ・ 一般・低所得者 ・ 入院	〃 ・ 後期高齢者と2種の公費併用 ・ 一般・低所得者 ・ 入院
	1338	〃 ・ 〃 ・ 一般・低所得者 ・ 入院外	〃 ・ 〃 ・ 一般・低所得者 ・ 入院外
	1339	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院
	1330	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院外	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院外
	1347	〃 ・ 後期高齢者と3種の公費併用 ・ 一般・低所得者 ・ 入院	〃 ・ 後期高齢者と3種の公費併用 ・ 一般・低所得者 ・ 入院
	1348	〃 ・ 〃 ・ 一般・低所得者 ・ 入院外	〃 ・ 〃 ・ 一般・低所得者 ・ 入院外
	1349	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院
	1340	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院外	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院外
	1357	〃 ・ 後期高齢者と4種の公費併用 ・ 一般・低所得者 ・ 入院	〃 ・ 後期高齢者と4種の公費併用 ・ 一般・低所得者 ・ 入院
	1358	〃 ・ 〃 ・ 一般・低所得者 ・ 入院外	〃 ・ 〃 ・ 一般・低所得者 ・ 入院外
	1359	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院
	1350	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院外	〃 ・ 〃 ・ 7割 ・ 入院外
	1411	_____	医科・退職者単独 ・ 本人 ・ 入院
	1412	_____	〃 ・ 〃 ・ 本人 ・ 入院外
	1413	_____	〃 ・ 〃 ・ 未就学者 ・ 入院
	1414	_____	〃 ・ 〃 ・ 未就学者 ・ 入院外
	1415	_____	〃 ・ 〃 ・ 家族 ・ 入院
	1416	_____	〃 ・ 〃 ・ 家族 ・ 入院外
	1421	_____	〃 ・ 退職者と1種の公費併用 ・ 本人 ・ 入院
	1422	_____	〃 ・ 〃 ・ 本人 ・ 入院外
	1423	_____	〃 ・ 〃 ・ 未就学者 ・ 入院
	1424	_____	〃 ・ 〃 ・ 未就学者 ・ 入院外
	1425	_____	〃 ・ 〃 ・ 家族 ・ 入院
	1426	_____	〃 ・ 〃 ・ 家族 ・ 入院外

コード名	コード	社会保険診療報酬支払基金	国民健康保険団体連合会
	1431	_____	" ・ 退職者と2種の公費併用 ・ 本人 ・ 入院
	1432	_____	" ・ " ・ 本人 ・ 入院外
	1433	_____	" ・ " ・ 未就学者 ・ 入院
	1434	_____	" ・ " ・ 未就学者 ・ 入院外
	1435	_____	" ・ " ・ 家族 ・ 入院
	1436	_____	" ・ " ・ 家族 ・ 入院外
	1441	_____	" ・ 退職者と3種の公費併用 ・ 本人 ・ 入院
	1442	_____	" ・ " ・ 本人 ・ 入院外
	1443	_____	" ・ " ・ 未就学者 ・ 入院
	1444	_____	" ・ " ・ 未就学者 ・ 入院外
	1445	_____	" ・ " ・ 家族 ・ 入院
	1446	_____	" ・ " ・ 家族 ・ 入院外
	1451	_____	医科 ・ 退職者と4種の公費併用 ・ 本人 ・ 入院
	1452	_____	" ・ " ・ 本人 ・ 入院外
	1453	_____	" ・ " ・ 未就学者 ・ 入院
	1454	_____	" ・ " ・ 未就学者 ・ 入院外
	1455	_____	" ・ " ・ 家族 ・ 入院
	1456	_____	" ・ " ・ 家族 ・ 入院外

<患者>  
4月29日

入院

病名 C700 悪性脳室髄膜腫

DPC 010010xx99000x 脳腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし

5月 1日

病理組織顕微鏡検査(1臓器) 実施

病理診断料 実施

5月 2日

K168 脳切除術 実施

5月 3~5日

ICU

5月 7~8日

外泊

5月10日

退院

退院時投与

メネシット配合錠100mg 1T 14日分

DPCの退院時見直し

DPC 010010xx01x00x 脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等2なし 副傷病

<5月分レセプト>

※仮に、医療機関係数は、1.1234としています。

※特定機能病院の一般病棟10:1看護としています。

分類番号		診断群分類区分	脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等2なし 副傷病なし		
010010XX01X00X					
傷病名	悪性脳室髄膜腫	ICD	傷病名	C700	
副傷病名		10	副傷病名		
今回入院年月日	平成 25年 4月 29日	今回退院年月日	平成 25年 5月 10日		
患者基礎情報	<傷病情報> 主傷病名 C700 悪性脳室髄膜腫 入院の契機となった傷病名 C700 悪性脳室髄膜腫	包括評価部分	<包括評価部分> (4月請求分) 入I 2753 × 2 = 5506 合計 5506 × 1.1234 = 6185 (5月診療分) 外泊日 7日 8日 入I 2782 × 7 = 19474 入II 2057 × 1 = 2057 (合計 (19474+2057) × 1.1234 = 24188 入I 2782 × 2 = 5564 合計 5564 × 1.1234 = 6251 (調整 6251 - 6185 = 66 合計 24188 + 66 = 24254		
	<入退院情報> 転科 : 無 予定・緊急入院区分 : 1予定入院		1993		
	<診療関連情報> 年齢 : 33歳 手術・処置等 K168 脳切除術 25年 5月 2日実施		出来高部分	121 *メネシット配合錠100 1T (退院時持ち帰り 14日分) 4 × 14 150 *脳切除術 2日 35150 × 1 160 *組織診断料 400 × 1 170 *画像診断管理加算 1 70 × 1 190 *外泊(特一10) 7日 8日 197 × 2 190 *特定集中治療室管理料 1 (7日以内) (算定日 3日~5日) 7188 × 3 197 *食事療養費(I) 3食 ¥1920 × 7 *食事療養費(I) 1食 ¥640 × 1	

a)Dファイルの作成例 : レセプトの\*(アスタリスク)行為毎に作成する

<レセプト明細>

<Dファイル>(4月分)

D-5 ター区分	D-6 順番号	D-7 ター区分	D-8 順番号	D-9 ター区分	D-10 順番号	D-11 ター区分	D-12 順番号	D-13 ター区分	D-14 順番号	D-15 ター区分	D-16 順番号	D-17 ター区分	D-18 順番号	D-19 ター区分	D-20 順番号	D-30 ター区分
	93	0001	9300000000 Null		脳腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし		2753	0	0	0						1.1234
	93	0002	9300000000 Null		脳腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし		2753	0	0	0						1.1234

D-5 ター区分	D-6 順番号	D-7 ター区分	D-8 順番号	D-9 ター区分	D-10 順番号	D-11 ター区分	D-12 順番号	D-13 ター区分	D-14 順番号	D-15 ター区分	D-16 順番号	D-17 ター区分	D-18 順番号	D-19 ター区分	D-20 順番号	D-30 ター区分
	21	0001	620124001 Null		メネジット配合錠100		4	4	0	0						1.1234
	50	0001	150070310 Null		脳切除術		35150	0	0	0						1.1234
	60	0001	160155110 Null		組織診断料 ↑病理組織顕微鏡検査料は包括のため出力しません。(0点で出力しても可)		400	0	0	0						1.1234
	70	0001	170020270 Null		画像診断管理加算1 ↑エックス線診断料は包括のため出力しません。(0点で出力しても可)		70	0	0	0						1.1234
	90	0001	190107290 Null		外泊(入院基本料の減額)		197	0	0	0						1.1234
	90	0002	190107290 Null		外泊(入院基本料の減額)		197	0	0	0						1.1234
	92	0001	193001610 Null		特定集中治療室管理料 1 (7日以内)		7188	0	0	0						1.1234
	92	0002	193001610 Null		特定集中治療室管理料 1 (7日以内)		7188	0	0	0						1.1234
	92	0003	193001610 Null		特定集中治療室管理料 1 (7日以内) ↑DPCの加算としてのコードを設定します。		7188	0	0	0						1.1234

D-5 ター区分	D-6 順番号	D-7 ター区分	D-8 順番号	D-9 ター区分	D-10 順番号	D-11 ター区分	D-12 順番号	D-13 ター区分	D-14 順番号	D-15 ター区分	D-16 順番号	D-17 ター区分	D-18 順番号	D-19 ター区分	D-20 順番号	D-30 ター区分
	93	0001	9300000000 Null		脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等2なし 副傷病		2782	0	0	0						1.1234
	93	0002	9300000000 Null		脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等2なし 副傷病		2782	0	0	0						1.1234
	93	0003	9300000000 Null		脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等2なし 副傷病		2782	0	0	0						1.1234
	93	0004	9300000000 Null		脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等2なし 副傷病		2782	0	0	0						1.1234
	93	0005	9300000000 Null		脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等2なし 副傷病		2782	0	0	0						1.1234
	93	0006	9300000000 Null		脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等2なし 副傷病		2782	0	0	0						1.1234
	93	0007	9300000000 Null		脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等2なし 副傷病		2782	0	0	0						1.1234
	93	0008	9300000000 Null		脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等2なし 副傷病		2057	0	0	0						1.1234
	94	0001	9400000000 Null		Null		66	0	0	0						1.1234

4月診療分

<包括診療部分>  
(4月請求分)

入 I 2753 X 2 = 5506  
合計 5506 X 1.1234 = 6185

5月診療分

<包括診療部分>  
(5月請求分)

メネジット配合錠100 11  
(退院時持帰り 14日分)  
\* 脳切除術 4 X 14  
35150 X 1  
\* 組織診断料 400 X 1  
\* 画像診断管理加算1 70 X 1  
\* 外泊(特一0) 197 X 2

\* 特定集中治療室管理料 1 (7日以内)  
(算定日 3日~5日) 7188 X 3

<包括診療部分>  
(4月請求分)

入 I 2753 X 2 = 5506  
合計 5506 X 1.1234 = 6185

<包括診療部分>  
(5月診療分)

外泊日 7日 8日  
入 I 2782 X 7 = 19474  
入 II 2057 X 1 = 2057  
合計 (19474+2057) X 1.1234 = 24188

<包括診療部分>  
(4月調整分)

入 I 2782 X 2 = 5564  
合計 5564 X 1.1234 = 6251  
調整 6251 - 6185 = 66

<包括診療部分>  
(5月請求分)

合計 24188 + 66 = 24254

<包括診療部分>  
(5月診療分)

\* 食事療養費(1) 3食 1920 X 7  
\* 食事療養費(1) 1食 1920 X 1



<患者>  
4月29日

入院

病名 C700 悪性脳室髄膜腫  
DPC 010010xx01x00x 脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等2なし 副傷病なし

6月 1日

病理組織顕微鏡検査(1臓器) 実施

病理診断料 実施

6月 2日

K168 脳切除術 実施

6月 6~7日

外泊

6月13日

末梢血液一般検査 実施

投薬

ラキソベロン内用液 50ml

6月14日

退院

退院時投与

メネシット配合錠100mg 1T 14日分

<6月分レセプト>

※仮に、医療機関係数は、1.1234としています。  
※特定機能病院の一般病棟10:1看護としています。

分類番号		診断群分類区分	脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等2なし	
010010XX01X00X				
傷病名	悪性脳室髄膜腫	ICD	傷病名	C700
副傷病名		10	副傷病名	
今回入院年月日	平成 25年 4月 29日	今回退院年月日	平成 25年 6月 14日	
患者基礎情報	<傷病情報>	包括評価部分	<包括評価部分>	
	主傷病名		( 4月請求分)	
	C700 悪性脳室髄膜腫 入院の契機となった傷病名 C700 悪性脳室髄膜腫		入 I 2782 × 2 = 5564 合計 5564 × 1.1234 = 6251 ( 5月請求分) 入 I 2782 × 9 = 25038 入 II 2057 × 11 = 22627 入 III 1748 × 11 = 19228 合計 66893 × 1.1234 = 75148 ( 6月請求分) 外泊日 6日 7日 入 III 1748 × 5 = 8740 合計 8740 × 1.1234 = 9819	
<入退院情報>	出来高部分	<出来高部分>		
転科 : 無		1:50 *脳切除術 2日 35150 × 1		
予定・緊急入院区分 : 1予定入院		1:60 *組織診断料 400 × 1		
診療関連情報	<診療関連情報>	1:90 *外泊(特一10) 6日 7日 197 × 2		
	年齢 : 33歳			
	手術・処置等 K168 脳切除術 25年 6月 2日実施			

出来高明細書

2 1	*ラキソベロン内用液 50ml	135 × 1
	*メネシット配合錠100mg 1T (退院時持ち帰り 14日分)	4 × 14
6 0	*末梢血液一般	21 × 1
9 0	*特一10	1311 × 6

# a)D7ファイルの作成例：レセプトの\*(アスタリスク)行為毎に作成する

<レセプト明細>

<D7ファイル>(4月分)		D-8		D-9		D-10		D-11		D-12		D-13		D-14		D-15		D-16		D-17		D-18		D-19		D-20	
子区分	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号
D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5
行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分
行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分

## 4月診療

<4月請求分>  
(4月請求分)  
合計

2782 X 9 = 5564  
5756 X 1.1234 = 6466

## 5月診療

<5月請求分>  
(5月請求分)  
合計

2782 X 9 = 25038  
2057 X 11 = 22627  
1748 X 11 = 19228  
66893 X 1.1234 = 75148

## 6月診療

<6月請求分>  
(6月請求分)  
合計

2878 X 2 = 5756  
5756 X 1.1234 = 6466

2878 X 9 = 25902  
2127 X 11 = 23397  
1808 X 11 = 19888  
69187 X 1.1234 = 77725

7日  
1808 X 6 = 10848  
10848 X 1.1234 = 12187

35150 X 1 = 35150  
400 X 1 = 400  
21 X 1 = 21

## 出費高明細

35150 X 1  
400 X 1  
107 X 2

135 X 1  
4 X 14  
21 X 1  
1311 X 6

子区分	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号	区分番号
D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5	D-5
行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分
行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分	行爲区分

E・Fファイ作成例  
 く出来高レセプト>

11	初診	回	250
13	指導	回	2910
14	在宅		429
20	21 内服	85 単	165
22	22 頓服	5 単	98
23	23 外用	14 日	14
24	24 調剤	14 日	
26	26 麻毒	14 日	
27	27 消毒		
30	31 皮下筋肉内	回	
32	32 静脈内	回	
33	33 その他	12 回	2461
40	処置	30 回	1721
42	処置		3033
50	手術・麻酔	1 回	10070
60	検査	31 回	4803
70	検査	4 回	684
80	画像診断		
90	薬劑		
92	特定入院料・その他		
入院	入院年月日		
90	90入院料	2038 x	14 日
入院	2038 x	x	日
療養	請求点	決定点	負担金額
の	55184		
給			
付			

97	標準		
食事	特選	円x	
の		円x	
療養	請求円	決定円	負担金額
①			
②			

- 13 \* 診療情報提供料(1) 1回 250x 1
- 14 \* 在宅成分栄養経管栄養法指導管理料 2500x 1
- ツインラインNF(400ml)組 3組 110x 1
- \* 訪問看護指示料 300x 1
- 21 \* ラキソブロン内用液 50ml (退院時投与) 135x 1
- \* メネンソット配合錠100mg 1T 4x 14
- \* メネンソット配合錠100mg 1T (退院時投与) 4x 28
- \* リスバダール錠 1mg 1T 3x 14
- \* リスバダール錠 1mg 1T (退院時投与) 3x 28
- 23 \* マイコソポール外用液1% 2 91x 1
- \* ビサゴシル坐剤10mg 5個 10x 1
- \* ビサゴシル坐剤10mg 14個 (退院時投与) 27x 1
- \* ポルタレンサホ25mg 3個 16x 1
- \* ポルタレンサホ25g 21x 1
- 33 \* ヘパリンNaロック100シリンジ(1000単位10ml) 1個 18x 4
- \* ソリター-T3号輸液 500mL 4瓶
- チエナム点滴用500mgキット 2キット
- ピタメジン静注用 1瓶 439x 1
- \* 点滴/ソリター-T3号輸液 500mL 3瓶
- ピタメジン静注用 1瓶
- チエナム点滴用 500mgキット 2キット
- ドパストン20ml 1A 450x 1
- 点滴注射 95x 1
- \* 点滴/ソリター-T3号輸液 500mL 2瓶
- チエナム点滴用 500mgキット 2キット
- ピタメジン静注用 1瓶 405x 3
- 40 \* 点滴注射 95x 2
- \* 鼻腔栄養 60x 14
- \* 喀痰吸引(1日につき) 48x 14
- \* エンジュア・リット 1000ml 63x 7
- \* フォール 1000ml 86x 2
- \* ツインラインNF(400ml)組 3組 110x 22
- \* 老人留置カテーテル設置 40x 1
- キノロカインリー-2% 5ml 4x 1
- 膀胱留置用デ・スホ-ザフルカテーテル(2) 2管一般(Ⅱ) 1本 65x 1
- 50 \* 排便 100x 1
- \* 看護設備 0070x 1
- \* 局麻
- カスコントップ内用液2% 3ml
- キノロカインリーカス 2% 5ml
- キノロカインリー 2% 5ml
- リトカイン注射液1% 1ml 9x 1

- 60 \* 血液学的検査判断料 125x 1
- \* 生化学的検査(I)判断料 144x 1
- \* 免疫学的検査判断料 144x 1
- \* 尿・糞便検査判断料 34x 1
- \* 検体検査管理加算(Ⅲ) 300x 1
- \* 末梢血液一般検査 21x 3
- \* 末梢血液像 25x 3
- \* C反応性蛋白(CRP)定量 16x 3
- \* 生化学的検査①(10項目以上) 総蛋白(血清) Na.Cl(血清) K(血清) Mg(血清) Ca(血清) 無機リン定量(血清) クレアチン(血清) 尿酸窒素(血清) AST(血清) ALT(血清) アルカリホスファターゼ(血清) γ-GTP(血清) 総ビリルビン(血清) 直接ビリルビン(血清) 総コレステロール(血清) トリグリセライド(血清) 糖定量(血清) 121x 1
- \* LD7アイガム 48x 1
- \* プロトロンビン時間測定(血清) 18x 1
- \* 活性化部分トロンボプラスチン時間 29x 1
- \* フィブリノーゲン定量 23x 1
- \* 生化学的検査①(8項目又は9項目) 総蛋白(血清) 尿酸窒素(血清) クレアチン(血清) AST(血清) ALT(血清) Na.Cl(血清) K(血清) LD(血清) LD(血清) 糖定量(血清) 102x 1
- \* 生化学的検査①(10項目以上) 総蛋白(血清) 尿酸窒素(血清) クレアチン(血清) LD(血清) Na.Cl(血清) K(血清) 無機リン定量(血清) AST(血清) ALT(血清) 121x 1
- \* グルコース 11x 1
- \* 免疫グロブリン(IgG) 38x 1
- \* 髄液(一般検査) 腰椎穿刺 212x 1
- リトカイン注射液1% 3ml 3x 1
- \* 尿中蛋白定量 7x 1
- \* β 2-マクログロブリン精密測定(髄液) 115x 1
- \* 組織診断料 400x 1
- \* 病理組織標本作製(1臓器につき) 内視鏡下生検法(1臓器につき) 1170x 1
- \* 脳波検査判断料 180x 1
- \* 嗅液検査・鼻腔・副鼻腔・副鼻腔入口部 ファイバースコープ 600x 1
- キノロカインリー-2% 3ml 2x 1
- \* 脳誘発電位検査(視覚誘発電位) 670x 1

- 70 \* 腹部単純撮影 1枚 1方向 171x 2
- \* 胸部単純撮影 1枚 1方向 171x 2
- 70 \* 特定機能病院一般病棟10対1入院基本料 (2種地域) 2038x 14

a)Eファイルの作成例：レセプトの\*(アスタリスク)行為毎に作成する

<レセプト詳細>

- 13 250x 1  
\*診療情報提供料(1) 1回  
2500x 1
- 14 110x 1  
\*在宅成分栄養経管栄養法指導管理料  
3組  
110x 1
- \*訪問看護指示料  
300x 1
- 21 135x 1  
\*ラキソプロン内服液 50ml  
(退院時投与)
- 4x 14  
\*メネシット配合錠100mg 1T
- 4x 28  
\*メネシット配合錠100mg 1T  
(退院時投与)
- 3x 14  
\*リスバダール錠1mg 1T
- 3x 28  
\*リスバダール錠1mg 1T  
(退院時投与)

- 23 91x 1  
\*マイコソール外用液 1% 20ml
- 10x 1  
\*ピサコジル坐剤10mg 5個
- 27x 1  
\*ピサコジル坐剤10mg 14個  
(退院時投与)
- 16x 1  
\*ホルタレンサボ25mg 3個
- 21x 1  
\*ホルタレンゲル 25g

<Eファイル>

E-5	E-6	E-8	E-9	E-10	E-11	E-12	E-13	E-14	E-15	E-18
データ区分	順序番号	レセプト番号	レセプト番号	診療行為名称	行為点数	行為回数	行為回数	行為回数	行為回数	行為回数
13	0001	180016110	8009	診療情報提供料(1)	250	0	0	0	0	1 20130714
14	0001	114008010	NuII	訪問看護指示料	300	0	0	0	0	1 20130714
14	0002	114004310	NuII	在宅成分栄養経管栄養法指導管理料	2610	110	0	0	0	1 20130714
21	0001	620491401	NuII	ラキソプロン内服液0.75%	135	135	0	0	0	1 20130714
21	0002	620124001	NuII	メネシット配合錠100	4	4	0	0	0	28 20130714
21	0003	610409340	NuII	リスバダール錠1mg	3	3	0	0	0	28 20130714
21	0004	620124001	NuII	メネシット配合錠100	4	4	0	0	0	7 20130711
21	0005	610409340	NuII	リスバダール錠1mg	3	3	0	0	0	7 20130711
21	0006	620124001	NuII	メネシット配合錠100	4	4	0	0	0	7 20130703
21	0007	610409340	NuII	リスバダール錠1mg	3	3	0	0	0	7 20130703
23	0001	662350108	NuII	ピサコジル坐剤 10mg	27	27	0	0	0	1 20130714
23	0002	620660401	NuII	マイコソール外用液 1%	91	91	0	0	0	1 20130711
23	0003	661140080	NuII	ホルタレンサボ25mg	16	16	0	0	0	1 20130711
23	0004	662350108	NuII	ピサコジル坐剤 10mg	10	10	0	0	0	1 20130709
23	0005	620007787	NuII	ホルタレンゲル 1%	21	21	0	0	0	1 20130704
24	0001	120001110	NuII	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130701
24	0002	120001110	NuII	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130702
24	0003	120001110	NuII	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130703
24	0004	120001110	NuII	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130704
24	0005	120001110	NuII	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130705
24	0006	120001110	NuII	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130706
24	0007	120001110	NuII	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130707
24	0008	120001110	NuII	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130708
24	0009	120001110	NuII	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130709
24	0010	120001110	NuII	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130710
24	0011	120001110	NuII	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130711
24	0012	120001110	NuII	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130712
24	0013	120001110	NuII	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130713
24	0014	120001110	NuII	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130714
26	0001	120000410	NuII	調剤料(麻・向・覚・毒)(入院)	1	0	0	0	0	1 20130701
26	0002	120000410	NuII	調剤料(麻・向・覚・毒)(入院)	1	0	0	0	0	1 20130702
26	0003	120000410	NuII	調剤料(麻・向・覚・毒)(入院)	1	0	0	0	0	1 20130703
26	0004	120000410	NuII	調剤料(麻・向・覚・毒)(入院)	1	0	0	0	0	1 20130704
26	0005	120000410	NuII	調剤料(麻・向・覚・毒)(入院)	1	0	0	0	0	1 20130705
26	0006	120000410	NuII	調剤料(麻・向・覚・毒)(入院)	1	0	0	0	0	1 20130706
26	0007	120000410	NuII	調剤料(麻・向・覚・毒)(入院)	1	0	0	0	0	1 20130707
26	0008	120000410	NuII	調剤料(麻・向・覚・毒)(入院)	1	0	0	0	0	1 20130708
26	0009	120000410	NuII	調剤料(麻・向・覚・毒)(入院)	1	0	0	0	0	1 20130709
26	0010	120000410	NuII	調剤料(麻・向・覚・毒)(入院)	1	0	0	0	0	1 20130710
26	0011	120000410	NuII	調剤料(麻・向・覚・毒)(入院)	1	0	0	0	0	1 20130711
26	0012	120000410	NuII	調剤料(麻・向・覚・毒)(入院)	1	0	0	0	0	1 20130712
26	0013	120000410	NuII	調剤料(麻・向・覚・毒)(入院)	1	0	0	0	0	1 20130713
26	0014	120000410	NuII	調剤料(麻・向・覚・毒)(入院)	1	0	0	0	0	1 20130714

診療情報提供料は  
区分13で作成する

区分毎、実施日毎に  
レコードを作成する

a)E)ファイアールの作成例：レセプトの\*(アスタリスク)行為毎に作成する

<レセプト詳細>

- 33 \*ヘパリンNaロック用1000J/mLシリンジ 10mLタンベ 1斗 1筒 18x 4
- \*ソリターT3号輸液 500mL 4瓶
- チエナム点滴用500mgキット 2キット
- ピタマジン静注用 1瓶 439x 1
- \*点滴/ソリターT3号輸液 500mL 3瓶
- ピタマジン静注用 1瓶
- チエナム点滴用 500mgキット 2キット
- ドバストン20ml 1A 450x 1
- 点滴注射 95x 1
- \*点滴/ソリターT3号輸液 500mL 2瓶
- チエナム点滴用 500mgキット 2キット
- ピタマジン静注用 1瓶 405x 3
- 点滴注射 95x 2

E-5	E-6	E-8	E-9	E-10	E-11	E-12	E-13	E-14	E-15	E-18
データ区分	順序番号	レセプト番号	レセプト電算処理解釈番号	診療行為名称	行為点数	行為薬剤行為材料	円	区分	行為回数	実施年月日
33	0001	620007329	NuII	ソリターT3号輸液 500mL	405	0	0	0	0	1 20130707
33	0002	621463401	NuII	ヘパリンNaロック用1000J/mLシリン	18	18	0	0	0	1 20130706
33	0003	620007329	NuII	ソリターT3号輸液 500mL	405	405	0	0	0	1 20130706
33	0004	621463401	NuII	ヘパリンNaロック用1000J/mLシリン	18	18	0	0	0	1 20130705
33	0005	620007329	NuII	ソリターT3号輸液 500mL	405	405	0	0	0	1 20130705
33	0006	621463401	NuII	ヘパリンNaロック用1000J/mLシリン	18	18	0	0	0	1 20130704
33	0007	620007329	NuII	ソリターT3号輸液 500mL	450	450	0	0	0	1 20130711
33	0008	621463401	NuII	ヘパリンNaロック用1000J/mLシリン	18	18	0	0	0	1 20130711
33	0009	620007329	NuII	ソリターT3号輸液 500mL	439	439	0	0	0	1 20130711
33	0010	130003810	NuII	点滴注射	95	0	0	0	0	1 20130704
33	0011	130003810	NuII	点滴注射	95	0	0	0	0	1 20130705

行為点数=手技点数+行為薬剤料+行為材料料となる

- 40 \*鼻腔栄養 60x 14
- \*喀痰吸引(1日につき) 48x 14
- \*エンジュアキット 1000ml 63x 7
- \*ラコールNF配合経腸用液 1000ml 86x 2
- \*ツインラインNF (400ml 1組) 3組 110x 22
- \*老人留置カテーテル設置 40x 1
- 膀胱留置用子イネーガルカテーテル(2管一取(Ⅱ)) 1本 65x 1
- 点滴 100x 1

40	0001	140037710	J022-2	摘便	100	0	0	0	0	1 20130713
40	0002	140013810	NuII	留置カテーテル設置	109	4	65	0	0	1 20130713
40	0003	613250031	NuII	ツインラインNF配合経腸用液 (混合剤)	110	110	0	0	0	14 20130711
40	0004	613250031	NuII	ツインラインNF配合経腸用液 (混合剤)	110	110	0	0	0	7 20130710
40	0005	613250031	NuII	ツインラインNF配合経腸用液 (混合剤)	110	110	0	0	0	1 20130709
40	0006	622070901	NuII	ラコールNF配合経腸用液 (混合剤)	86	86	0	0	0	2 20130708
40	0007	613250027	NuII	エンジュアキット	63	63	0	0	0	7 20130703
40	0008	140023210	J120	鼻腔栄養	60	0	0	0	0	1 20130701
40	0009	140023210	J120	鼻腔栄養	60	0	0	0	0	1 20130702
40	0010	140023210	J120	鼻腔栄養	60	0	0	0	0	1 20130703
40	0011	140023210	J120	鼻腔栄養	60	0	0	0	0	1 20130704
40	0012	140023210	J120	鼻腔栄養	60	0	0	0	0	1 20130705
40	0013	140023210	J120	鼻腔栄養	60	0	0	0	0	1 20130706
40	0014	140023210	J120	鼻腔栄養	60	0	0	0	0	1 20130707
40	0015	140023210	J120	鼻腔栄養	60	0	0	0	0	1 20130708
40	0016	140023210	J120	鼻腔栄養	60	0	0	0	0	1 20130709
40	0017	140023210	J120	鼻腔栄養	60	0	0	0	0	1 20130710
40	0018	140023210	J120	鼻腔栄養	60	0	0	0	0	1 20130711
40	0019	140023210	J120	鼻腔栄養	60	0	0	0	0	1 20130712
40	0020	140023210	J120	鼻腔栄養	60	0	0	0	0	1 20130713
40	0021	140023210	J120	鼻腔栄養	60	0	0	0	0	1 20130714
40	0022	140003810	J018	喀痰吸引	48	0	0	0	0	1 20130701
40	0023	140003810	J018	喀痰吸引	48	0	0	0	0	1 20130702
40	0024	140003810	J018	喀痰吸引	48	0	0	0	0	1 20130703
40	0025	140003810	J018	喀痰吸引	48	0	0	0	0	1 20130704
40	0026	140003810	J018	喀痰吸引	48	0	0	0	0	1 20130705
40	0027	140003810	J018	喀痰吸引	48	0	0	0	0	1 20130706
40	0028	140003810	J018	喀痰吸引	48	0	0	0	0	1 20130707
40	0029	140003810	J018	喀痰吸引	48	0	0	0	0	1 20130708
40	0030	140003810	J018	喀痰吸引	48	0	0	0	0	1 20130709
40	0031	140003810	J018	喀痰吸引	48	0	0	0	0	1 20130710
40	0032	140003810	J018	喀痰吸引	48	0	0	0	0	1 20130711
40	0033	140003810	J018	喀痰吸引	48	0	0	0	0	1 20130712
40	0034	140003810	J018	喀痰吸引	48	0	0	0	0	1 20130713
40	0035	140003810	J018	喀痰吸引	48	0	0	0	0	1 20130714

手技、薬剤、材料に分けてセットする

- 50 \*胃瘻造設術 0070x 1
- \*局麻 0070x 1
- カスコントップ内用液2% 3ml
- キシロカイン入 2% 5ml
- キシロカイン入 2% 5ml
- 小カイン注射液 1ml

50	0001	150171610	K684	胃瘻造設術(経皮の内視鏡下胃瘻造設)	10070	0	0	0	0	1 20130703
54	0001	620004961	NuII	カスコントップ内用液 2%	9	9	0	0	0	1 20130703

麻酔は区分54で作成する

a)E)ファイアイルの作成例：レセプトの\*(アスタリスク)行為毎に作成する

<レセプト詳細>

60	*血液学的検査判断料	125x 1
	*生化学的検査①(1)判断料	144x 1
	*免疫学的検査判断料	144x 1
	*尿・糞便検査判断料	34x 1
	*検体検査管理加算(Ⅲ)	300x 1
	*末梢血液一般検査	21x 3
	*末梢血液像	25x 3
	*C反応性蛋白(CRP)定量	16x 3
	*生化学的検査①(10項目以上)	
	総蛋白(血清) NaCl(血清)	
	K(血清) Mg(血清) Ca(血清)	
	無機リン定量(血清) アルファン(血清)	
	尿素窒素(血清) AST(血清)	
	ALT(血清)	
	アルカリホスファターゼ(血清)	
	γ-GTP(血清) 総ビリルビン(血清)	
	直接ビリルビン(血清)	
	総コレステロール(血清)	
	トリグリセリド(血清) 糖定量(血清)	121x 1
	*LDアイザイム	48x 1
	*プロトロンビン時間測定(血清)	18x 1
	*活性化部分トロンボプラスチン時間	28x 1
	*フィブリノーゲン半定量	28x 1
	*生化学的検査①(8項目又は9項目)	
	総蛋白(血清) 尿素窒素(血清)	
	アルファン(血清) AST(血清)	
	ALT(血清) NaCl(血清)	
	K(血清) LDH(血清) 糖定量(血清)	102x 1
	*生化学的検査①(10項目以上)	
	総蛋白(血清) 尿素窒素(血清)	
	アルファン(血清) LDH(血清)	
	NaCl(血清) K(血清)	
	無機リン定量(血清) AST(血清)	
	ALT(血清)	121x 1
	*グルコース	11x 1
	*免疫グロブリン(IgG)	38x 1
	*髄液(一般検査) 腰椎穿刺	212x 1
	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ注射液1% 3ml	3x 1
	*尿中蛋白定量	7x 1
	*β2-マイクログロブリン精密測定(髄液)	115x 1
	*組織診断料	400x 1
	*病理組織標本作製(1臓器につき)	
	内視鏡下生検法(1臓器につき)	1170x 1
	*脳波検査判断料	180x 1
	*嗅裂部・鼻咽腔・副鼻腔入口部	
	ファイバースコープ	600x 1
	キノロンゼリ-2% 3ml	2x 1
	*脳誘発電位検査(視覚誘発電位)	670x 1



<E)ファイアイル>

E-5	E-6	E-8	E-9	E-10	E-11	E-12	E-13	E-14	E-15	E-18
データ区分	順序番号	レセプト番号	電算処理解釈番号	診療行為名称	行為点数	行為回数	行為回数	行為回数	行為回数	実施年月日
60	0001	160076210	D2362	視覚誘発電位	670	0	0	0	0	1 20130711
60	0002	160147610	D238	脳波検査判断料	180	0	0	0	0	1 20130711
60	0003	160019410	D0071	グルコース	11	0	0	0	0	1 20130710
60	0004	160055210	D0154	IgG	38	0	0	0	0	1 20130710
60	0005	160061110	D0044	髄液一般	215	3	0	0	0	1 20130710
60	0006	160000410	D0011	尿蛋白	7	0	0	0	0	1 20130710
60	0007	160036610	D01512	β2-マイクログロブリン	115	0	0	0	0	1 20130710
60	0008	160061710	D0261	尿・糞便等検査判断料	34	0	0	0	0	1 20130710
60	0009	160082310	D288	EF-嗅裂・鼻咽・副鼻腔	602	2	0	0	0	1 20130710
60	0010	160008010	D0055	末梢血液一般	21	0	0	0	0	1 20130707
60	0011	160008210	D0056	末梢血液像(顕検法)	25	0	0	0	0	1 20130707
60	0012	160054710	D0151	CRP(定量)	16	0	0	0	0	1 20130707
60	0013	160017410	D0071	TP	121	0	0	0	0	1 20130707
60	0014	160008010	D0055	末梢血液一般	21	0	0	0	0	1 20130704
60	0015	160008210	D0056	末梢血液像(顕検法)	25	0	0	0	0	1 20130704
60	0016	160054710	D0151	CRP(定量)	16	0	0	0	0	1 20130704
60	0017	160017410	D0071	TP	102	0	0	0	0	1 20130703
60	0018	160060010	N000	T-M	1170	0	0	0	0	1 20130703
60	0019	160155110	N0061	組織診断料	400	0	0	0	0	1 20130702
60	0020	160008010	D0055	末梢血液一般	21	0	0	0	0	1 20130702
60	0021	160008210	D0056	末梢血液像(顕検法)	25	0	0	0	0	1 20130702
60	0022	160054710	D0151	CRP(定量)	16	0	0	0	0	1 20130702
60	0023	160017410	D0071	TP	121	0	0	0	0	1 20130702
60	0024	160026810	D00716	LDアイソ	48	0	0	0	0	1 20130702
60	0025	160012010	D0062	PT	18	0	0	0	0	1 20130702
60	0026	160012310	D0067	APTT	29	0	0	0	0	1 20130702
60	0027	160012610	D0064	フィブリノーゲン半定量	23	0	0	0	0	1 20130702
60	0028	160061810	D0262	血液学的検査判断料	125	0	0	0	0	1 20130702
60	0029	160061910	D0263	生化学的検査①判断料	144	0	0	0	0	1 20130702
60	0030	160062110	D0265	免疫学的検査判断料	144	0	0	0	0	1 20130702
60	0031	160161610	D0267	検体検査管理加算(3)	300	0	0	0	0	1 20130702

a)Eファイルの作成例：レセプトの\*(アスタリスク)行為毎に作成する

<レセプト明細>

<Eファイル>

E-5	E-6	E-8	E-9	E-10	E-11	E-12	E-13	E-14	E-15	E-18
データ区分	順序番号	レセプト番号	電子処理番号	診療行為名称	行為点数	行為回数	行為材料	区分	行為回数	実施年月日
70	0001	170000410	E00114	単純撮影(イ)の写真診断	171	0	26	0	0	1 20130704
70	0002	170000410	E00114	単純撮影(イ)の写真診断	171	0	26	0	0	1 20130704
70	0003	170000410	E00114	単純撮影(イ)の写真診断	171	0	26	0	0	1 20130702
70	0004	170000410	E00114	単純撮影(イ)の写真診断	171	0	26	0	0	1 20130702
90	0001	190077170	A2182	2級地域域加算	15	0	0	0	0	1 20130701
90	0002	190077170	A2182	2級地域域加算	15	0	0	0	0	1 20130702
90	0003	190077170	A2182	2級地域域加算	15	0	0	0	0	1 20130703
90	0004	190085910	Null	特定機能病院一般病棟10対1入院基	2023	0	0	0	0	1 20130701
90	0005	190085910	Null	特定機能病院一般病棟10対1入院基	2023	0	0	0	0	1 20130702
90	0006	190085910	Null	特定機能病院一般病棟10対1入院基	2023	0	0	0	0	1 20130703
90	0007	190077170	A2182	2級地域域加算	15	0	0	0	0	1 20130704
90	0008	190077170	A2182	2級地域域加算	15	0	0	0	0	1 20130705
90	0009	190077170	A2182	2級地域域加算	15	0	0	0	0	1 20130706
90	0010	190077170	A2182	2級地域域加算	15	0	0	0	0	1 20130707
90	0011	190077170	A2182	2級地域域加算	15	0	0	0	0	1 20130708
90	0012	190077170	A2182	2級地域域加算	15	0	0	0	0	1 20130709
90	0013	190077170	A2182	2級地域域加算	15	0	0	0	0	1 20130710
90	0014	190077170	A2182	2級地域域加算	15	0	0	0	0	1 20130711
90	0015	190077170	A2182	2級地域域加算	15	0	0	0	0	1 20130712
90	0016	190077170	A2182	2級地域域加算	15	0	0	0	0	1 20130713
90	0017	190077170	A2182	2級地域域加算	15	0	0	0	0	1 20130714
90	0018	190085910	Null	特定機能病院一般病棟10対1入院基	2023	0	0	0	0	1 20130704
90	0019	190085910	Null	特定機能病院一般病棟10対1入院基	2023	0	0	0	0	1 20130705
90	0020	190085910	Null	特定機能病院一般病棟10対1入院基	2023	0	0	0	0	1 20130706
90	0021	190085910	Null	特定機能病院一般病棟10対1入院基	2023	0	0	0	0	1 20130707
90	0022	190085910	Null	特定機能病院一般病棟10対1入院基	2023	0	0	0	0	1 20130708
90	0023	190085910	Null	特定機能病院一般病棟10対1入院基	2023	0	0	0	0	1 20130709
90	0024	190085910	Null	特定機能病院一般病棟10対1入院基	2023	0	0	0	0	1 20130710
90	0025	190085910	Null	特定機能病院一般病棟10対1入院基	2023	0	0	0	0	1 20130711
90	0026	190085910	Null	特定機能病院一般病棟10対1入院基	2023	0	0	0	0	1 20130712
90	0027	190085910	Null	特定機能病院一般病棟10対1入院基	2023	0	0	0	0	1 20130713
90	0028	190085910	Null	特定機能病院一般病棟10対1入院基	2023	0	0	0	0	1 20130714

70 \* 腹部単純撮影  
フィルム 半切(CR用) 1枚 1方向  
171x 2

\* 胸部単純撮影  
フィルム 半切(CR用) 1枚 1方向  
171x 2

90 \* 特定機能病院一般病棟10対1入院基本料  
(夜2)  
(2種地域)  
2038x 14





b) Fファイルの作成例：Eファイルレコードの明細行に対応した行為明細行を作成する

Fファイル		Eファイル		Fファイル		Eファイル		Fファイル		Eファイル		Fファイル		Eファイル	
レコード番号	レコード内容	レコード番号	レコード内容	レコード番号	レコード内容	レコード番号	レコード内容	レコード番号	レコード内容	レコード番号	レコード内容	レコード番号	レコード内容	レコード番号	レコード内容
40	0002	1400700410	Null	0002	001	140013810	Null	0002	001	140013810	Null	0002	001	140013810	Null
40	0003	613250031	Null	0003	001	622070001	Null	0003	001	622070001	Null	0003	001	622070001	Null
40	0004	613250031	Null	0004	001	622070001	Null	0004	001	622070001	Null	0004	001	622070001	Null
40	0006	622070001	Null	0006	001	622070001	Null	0006	001	622070001	Null	0006	001	622070001	Null
40	0007	613250027	Null	0007	001	613250027	Null	0007	001	613250027	Null	0007	001	613250027	Null
40	0008	140023210	J120	0008	001	140023210	J120	0008	001	140023210	J120	0008	001	140023210	J120
40	0010	140023210	J120	0010	001	140023210	J120	0010	001	140023210	J120	0010	001	140023210	J120
40	0011	140023210	J120	0011	001	140023210	J120	0011	001	140023210	J120	0011	001	140023210	J120
40	0012	140023210	J120	0012	001	140023210	J120	0012	001	140023210	J120	0012	001	140023210	J120
40	0013	140023210	J120	0013	001	140023210	J120	0013	001	140023210	J120	0013	001	140023210	J120
40	0015	140023210	J120	0015	001	140023210	J120	0015	001	140023210	J120	0015	001	140023210	J120
40	0016	140023210	J120	0016	001	140023210	J120	0016	001	140023210	J120	0016	001	140023210	J120
40	0017	140023210	J120	0017	001	140023210	J120	0017	001	140023210	J120	0017	001	140023210	J120
40	0018	140023210	J120	0018	001	140023210	J120	0018	001	140023210	J120	0018	001	140023210	J120
40	0020	140023210	J120	0020	001	140023210	J120	0020	001	140023210	J120	0020	001	140023210	J120
40	0021	140023210	J120	0021	001	140023210	J120	0021	001	140023210	J120	0021	001	140023210	J120
40	0022	140003810	J018	0022	001	140003810	J018	0022	001	140003810	J018	0022	001	140003810	J018
40	0024	140003810	J018	0024	001	140003810	J018	0024	001	140003810	J018	0024	001	140003810	J018
40	0025	140003810	J018	0025	001	140003810	J018	0025	001	140003810	J018	0025	001	140003810	J018
40	0026	140003810	J018	0026	001	140003810	J018	0026	001	140003810	J018	0026	001	140003810	J018
40	0027	140003810	J018	0027	001	140003810	J018	0027	001	140003810	J018	0027	001	140003810	J018
40	0028	140003810	J018	0028	001	140003810	J018	0028	001	140003810	J018	0028	001	140003810	J018
40	0029	140003810	J018	0029	001	140003810	J018	0029	001	140003810	J018	0029	001	140003810	J018
40	0031	140003810	J018	0031	001	140003810	J018	0031	001	140003810	J018	0031	001	140003810	J018
40	0032	140003810	J018	0032	001	140003810	J018	0032	001	140003810	J018	0032	001	140003810	J018
40	0034	140003810	J018	0034	001	140003810	J018	0034	001	140003810	J018	0034	001	140003810	J018
40	0035	140003810	J018	0035	001	140003810	J018	0035	001	140003810	J018	0035	001	140003810	J018
50	0001	150171610	K664	0001	001	150171610	K664	0001	001	150171610	K664	0001	001	150171610	K664
54	0001	620003852	Null	0001	001	620003852	Null	0001	001	620003852	Null	0001	001	620003852	Null
60	0001	160076210	D2382	0001	001	160076210	D2382	0001	001	160076210	D2382	0001	001	160076210	D2382
60	0002	160147610	D238	0002	001	160147610	D238	0002	001	160147610	D238	0002	001	160147610	D238
60	0003	160061710	D0281	0003	001	160061710	D0281	0003	001	160061710	D0281	0003	001	160061710	D0281
60	0004	160053210	D0154	0004	001	160053210	D0154	0004	001	160053210	D0154	0004	001	160053210	D0154
60	0005	160061110	D0044	0005	001	160061110	D0044	0005	001	160061110	D0044	0005	001	160061110	D0044
60	0006	160000410	D0011	0006	001	160000410	D0011	0006	001	160000410	D0011	0006	001	160000410	D0011
60	0008	160061710	D0281	0008	001	160061710	D0281	0008	001	160061710	D0281	0008	001	160061710	D0281
60	0009	160052310	D238	0009	001	160052310	D238	0009	001	160052310	D238	0009	001	160052310	D238
60	0010	160008010	D0055	0010	001	160008010	D0055	0010	001	160008010	D0055	0010	001	160008010	D0055
60	0012	160054710	D0152	0012	001	160054710	D0152	0012	001	160054710	D0152	0012	001	160054710	D0152

品質設定所 (経時的に採集した下層濃度データを含む)

周群

キノンロビン注射液 2%

キノンロビン注射液 1%

複葉豚赤血球

脳脊髄液抽出剤

アルコーン

血液一般

EF-嗅製、鼻咽、副鼻腔

キノンロビン注射液 2%

原液白

除、黄濁、検査用材料

EF-嗅製、鼻咽、副鼻腔

末梢血液一般

末梢血液一般 (嗅製法)

CSP (定量)

レゼボの4 (アスタリスク) 行為欄に作成する

b) Fファイルの作成例： Eファイルレコードの明細行に対応した行を明細行を作成する

Eファイル		Eファイル		Eファイル		Eファイル		Eファイル		Eファイル		Eファイル		Eファイル		Eファイル	
レコード番号	レコード名	レコード番号	レコード名	レコード番号	レコード名	レコード番号	レコード名	レコード番号	レコード名	レコード番号	レコード名	レコード番号	レコード名	レコード番号	レコード名	レコード番号	レコード名
60	0013	160017410 D0071	TP	121	0	0	0	0	0	1	20130707						
<p>Eファイルではタミレコード不可 Fファイルの行をレコードをセットする 行がない場合は最新レコードをセットする</p>																	
60	0014	160008010 D0055	採精血液一般	21	0	0	0	0	0	1	20130704						
60	0015	160012010 D0062	PT	18	0	0	0	0	0	1	20130702						
60	0016	160054710 D0152	CSP(定量)	16	0	0	0	0	0	1	20130704						
60	0017	160017410 D0071	TP	102	0	0	0	0	0	1	20130704						
<p>集めた明細行は、全てレコードを作成する</p>																	
60	0018	160060010 D101	T-M	1170	0	0	0	0	0	1	20130703						
60	0019	160155110 D104	組織診断料	400	0	0	0	0	0	1	20130703						
60	0020	160008010 D0055	採精血液一般	21	0	0	0	0	0	1	20130702						
60	0021	160008210 D0066	採精血液濃縮(顕微鏡法)	25	0	0	0	0	0	1	20130702						
60	0022	160054710 D0152	CSP(定量)	16	0	0	0	0	0	1	20130702						
60	0023	160017410 D0071	TP	121	0	0	0	0	0	1	20130702						
<p>生化学的検査①(10項目以上)</p>																	
60	0024	160028810 D00716	LDアイソ	48	0	0	0	0	0	1	20130702						
60	0025	160012010 D0062	PT	18	0	0	0	0	0	1	20130702						
60	0026	160012610 D0064	PTT	18	0	0	0	0	0	1	20130702						
60	0027	160012610 D0064	フィブリノゲン半定量	23	0	0	0	0	0	1	20130702						
60	0028	160061810 D0262	血液学的検査(顕微鏡)	125	0	0	0	0	0	1	20130702						
60	0029	160061910 D0263	血液学的検査(顕微鏡)	144	0	0	0	0	0	1	20130702						
60	0030	160062110 D0265	血液学的検査(顕微鏡)	144	0	0	0	0	0	1	20130702						
60	0031	160161610 D0267	検体検査(室温加熱)	300	0	0	0	0	0	1	20130702						
70	0001	170000410 E00114	単純撮影(イ)の写真診断	171	0	0	26	0	0	1	20130704						
<p>手段と材料、其々にレコードを作成する</p>																	
70	0002	170000410 E00114	単純撮影(イ)の写真診断	171	0	0	26	0	0	1	20130704						
70	0003	170000410 E00114	単純撮影(イ)の写真診断	171	0	0	26	0	0	1	20130702						
70	0004	170000410 E00114	単純撮影(イ)の写真診断	171	0	0	26	0	0	1	20130702						



b) Fファイルの作成例 : Eファイルレコードの明細行に対応した行為明細行を作成する

<レセプト>

50	*腎盂形成手術 (幼) (休) 92736 × 1 吸引留置カテーテル受動吸引型フェータートレーワルA型 (263円) 1本 胃管カテーテルワルター型標準型(485円) 1本 尿管カテーテル一般型標準型(21900円) 1本 2266 × 1 ベリフラスト コンビセット 組織接着用 1mL2キタ 1513 × 1 生理食塩水1L 2瓶 *閉鎖循環式全身麻酔 (麻酔台手術) 3時間51分 (乳) (休) 14030 × 1 酸素(液化痰素CE) (0.18円 × 600L × 1.3) ÷ 10 = 14点 14 × 1 吐止薬(150mL) フェルカニル注射液(0.1mg/mL) 0.005L2mL マスキュラックス静注用4mg(溶解液付)1管 1013 × 1 *麻酔管理料1 (閉鎖循環式全身麻酔) 900 × 1
----	--

<Eファイル>

レセプト 区分	明細書 番号	レセプト電 算システム 用コード	製薬 会社 (本)	E 8 診療行為名称	E 10 行為点数	E 11 行為材料 料	E 12 内・点 区 分	E 13 行為回数	E 14 実施年月 日	E 15 →
50	0001	150196110	K778	腎盂形成手術	96455	1513	2266	0	1	20130408
54	0001	150279110	L0692	麻酔管理料1(閉鎖循環式全身麻酔)	900	0	0	0	1	20130408
54	0002	150233410	L0085	閉鎖循環式全身麻酔5	15057	1013	14	0	1	20130408

<Fファイル>

レセプト 区分	明細書 番号	レセプト電 算システム 用コード	製薬 会社 (本)	F 10 診療明細名称	F 12 使用量	F 13 基準単位 点数	F 14 行為明細 材料料 点数	F 15 行為明細 内・点 区 分	F 16 行為明細 材料料 点数	F 17 出来高 点数	F 18 出来高 点数	F 19 出来高 点数
50	0001	150196110	K778	腎盂形成手術	1	1000	33120	0	0	0	33120	1
50	0001	15000290	ndf	3腔來源の乳幼用置(手術)	1	1000	33120	0	0	0	33120	1
50	0001	15000690	ndf	休日加算(手術)	1	1000	26496	0	0	0	26496	1
50	0001	73342000	ndf	吸引留置カテーテル受動吸引型ワルター	1	1007	0	0	283	1	0	1
50	0001	73331000	ndf	胃管カテーテルワルター型標準型	1	1007	0	0	465	1	0	1
50	0001	73372000	ndf	尿管カテーテル一般型標準型	1	1007	0	0	21300	1	2206	1
50	0001	621519001	ndf	ベリフラスト コンビセット 組織接着	1	1008	0	14670.4	0	0	1513	1
50	0001	643310188	ndf	生理食塩水1L	2	2019	0	464	0	0	1513	1
54	0001	150279110	L0692	麻酔管理料1(閉鎖循環式全身麻酔)	1	1000	900	0	0	0	900	1
54	0002	150233410	L0085	閉鎖循環式全身麻酔5	1	1000	6100	0	0	0	6100	1
54	0002	15023690	ndf	休日加算(麻酔)	1	1000	3350	0	0	0	3350	1
54	0002	15023890	ndf	休日加算(麻酔)	1	1000	4380	0	0	0	4380	1
54	0002	7326000	ndf	酸素(液化痰素CE)	600	103	0	0	58	0	0	1
54	0002	7326000	ndf	酸素(液化痰素CE)	600	103	0	0	384	1	0	1
54	0002	62032301	ndf	フェルカニル注射液(0.1mg/mL) 0.005L2mL	180	1038	0	0	9510	0	0	1
54	0002	62009671	ndf	マスキュラックス静注用4mg(溶解液付)1管	1	1022	0	228	0	0	0	1
54	0002	62009238	ndf	マスキュラックス静注用4mg(溶解液)	1	1022	0	386	0	0	1013	1

c) EF統合ファイルの作成例

＜Eファイル＞

E-5	E-6	E-7	E-8	E-9	E-10	E-11	E-12	E-13	E-14	E-15	E-16	E-17	E-18	E-19	E-20	E-21	E-22	E-23	E-24	E-25
デー タ区 分	順序 番号	病院点数 マスター コード	レセプト電算 コード	解釈番 号	診療行為名称	行為点数	行為薬 剤料	行為材 料料	円・ 点区 分	行為回 数	保険者 番号	レセプ ト種別 コード	実施年月 日	レセプ ト科区 分	診療科 区分	医師 コード	病棟 コード	病棟区 分	入外区 分	施設 タイプ
50	0001	502331	150253010	150253010	水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)	12100	1960	0	0	1	3901101317	20130624	26	230	603808	N07	0	0	0	0

＜Fファイル＞

F-5	F-6	F-7	F-8	F-9	F-10	F-11	F-12	F-13	F-14	F-15	F-16	F-17	F-18	F-19
デー タ区 分	順序 番号	行為 明細 番号	病院点数 マスター コード	レセプト電算 コード	解釈番 号	診療明細名称	使用量	基準 単位	行為明 細点数	行為明 細薬料	行為明 細材料	円点 区分	出来高 実績点 数	出来高 包括フ ラグ
50	0001	001	788005	810000000	右	水晶体再建術(眼内レンズを0	000	000	0	0	0	0	0	0
50	0001	002	502331	150253010	水晶体再建術(眼内レンズを0	000	12100	0	0	0	0	12100	1	0
50	0001	003	431709	620003739	セファマジンα点滴用キット1	051	0	731	0	1	0	1	0	0
50	0001	004	356530	661310031	エコリン眼軟膏	0.5	033	0	17	0	1	0	0	0
50	0001	005	359169	620006397	オペガンハイO. 85眼粘弾膏1	047	0	7714.1	0	1	0	0	0	0
50	0001	006	384267	621512501	ヒーロンVO. 6眼粘弾剤2. <	047	0	10408.6	0	1	0	0	0	0
50	0001	007	431536	643310183	生理食塩液 100mL	2	019	0	220	0	1	0	0	0
50	0001	008	441020	620525301	デカロン注射液3. 3mg 11	022	0	189	0	1	0	0	0	0
50	0001	009	422094	620003210	ゲンタシン注40 40mg	1	022	0	318	0	1	1960	0	0

EFファイル統合



1フィールドに集約

17 統合EFファイル

デー タ区 分	順序 番号	行為 明細 番号	病院点数 マスター コード	レセプト電算 コード	解釈番 号	診療明細名称	使用量	基準 単位	明細点 数	EF-14	EF-18	EF-19	EF-20	EF-21	EF-22	EF-23	EF-24	EF-25	EF-26	EF-27	EF-28	EF-29	EF-30	EF-31
50	0001	000	502331	150253010	右	水晶体再建術(眼内レンズを0	000	000	0 <th>0 <th>12100</th> <th>1960</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>3901101317</th> <th>20130624</th> <th>26</th> <th>230</th> <th>603808</th> <th>N07</th> <th>0</th> <th>0</th> <th>0</th> <th>0</th> </th>	0 <th>12100</th> <th>1960</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>3901101317</th> <th>20130624</th> <th>26</th> <th>230</th> <th>603808</th> <th>N07</th> <th>0</th> <th>0</th> <th>0</th> <th>0</th>	12100	1960	0	1	3901101317	20130624	26	230	603808	N07	0	0	0	0
50	0001	001	788005	810000000	右	水晶体再建術(眼内レンズを0	000	000	0	0	0	0	0	1	NULL	NULL	20130624	NULL	230	603808	N07	0	NULL	NULL
50	0001	002	502331	150253010	水晶体再建術(眼内レンズを0	000	12100	0	12100	1	0	0	0	1	NULL	NULL	20130624	NULL	230	603808	N07	0	NULL	NULL
50	0001	003	431709	620003739	セファマジンα点滴用キット1	051	797	1	0	0	0	0	0	1	NULL	NULL	20130624	NULL	230	603808	N07	0	NULL	NULL
50	0001	004	356530	661310031	エコリン眼軟膏	0.5	033	17.55	1	0	0	0	0	1	NULL	NULL	20130624	NULL	230	603808	N07	0	NULL	NULL
50	0001	005	359169	620006397	オペガンハイO. 85眼粘弾膏1	047	8842.5	1	0	0	0	0	0	1	NULL	NULL	20130624	NULL	230	603808	N07	0	NULL	NULL
50	0001	006	384267	621512501	ヒーロンVO. 6眼粘弾剤2. <	047	10932	1	0	0	0	0	0	1	NULL	NULL	20130624	NULL	230	603808	N07	0	NULL	NULL
50	0001	007	431536	643310183	生理食塩液 100mL	2	019	184	1	0	0	0	0	1	NULL	NULL	20130624	NULL	230	603808	N07	0	NULL	NULL
50	0001	008	441020	620525301	デカロン注射液3. 3mg 11	022	195	022	1	0	0	0	0	1	NULL	NULL	20130624	NULL	230	603808	N07	0	NULL	NULL
EF統合 ファイル作成時、 データ区分・順序 番号毎のEFファイル のレコードを挿入する。																								

- ①EF-7 行為明細番号 : 「000」=元EFファイルの項目のため「000」を設定
  - ②EF-12 使用量 : 「0」=元EFファイルの項目のため「0」を設定
  - ③EF-13 基準単位 : 「000」=元EFファイルの項目のため「0」を設定
  - ④EF-14 明細点数 : 「0」=元EFファイルの項目のため「0」を設定
  - ⑤EF-15 円点区分 : 「0」=元EFファイルの項目のため「0」を設定
  - ⑥EF-16 出来高実績点数 : 「0」=元EFファイルの項目のため「0」を設定
  - ⑦EF-17 出来高包括フラグ : 「0」=元EFファイルの項目のためnullを設定
- ※特定入院院料に包括される項目が同一区分、順序番号にある場合は「6」を設定。

- 行為点数(EF-18)、行為薬剤料(EF-19)、行為材料料(EF-20) : EFファイル情報の項目のため、元EFファイルの項目(数値欄)には「0」点を設定
- 保険者番号(EF-22)、レセプト種別コード(EF-23)、レセプト科区分(EF-25)、入外区分(EF-30) : EFファイル情報の項目のため、元EFファイルの項目(文字欄)には「NULL」を設定
- 行為回数(EF-21)、実施年月日(EF-24)、診療科区分(EF-26)、医師コード(EF-27)、病棟コード(EF-28)、病棟区分(EF-29) : EFファイル情報の項目であるが、元EFファイルの項目には元EFファイルの情報を設定

E・Fファイナル作成例  
＜出来高レセプト＞

11	初診		回	880
13	指導			880
14	在宅			
20	21 内服	58 単		463
22	頓服	単		
23	外用	3 単		776
24	調剤	12 日		84
26	麻毒	日		
27	調基			
30	31 皮下筋肉内	回		
32	静脈内	回		
33	その他	6 回		1187
40	処置	4 回		1212
41	薬剤			10
50	手術・麻酔	1 回		98203
51	薬剤	1170		
60	検査	59 回		8413
70	画像診断	15 回		980
80	その他			
81	薬剤			
90	入院年月日			
90	90入院料			
2838 x	6 日			17028
2038 x	7 日			14266
1533 x	1 日			1533
				32827
92	特定入院料・その他			
10940 x	1 日			10951
	x			
保険	請求点	決定点	負担金額	
①	157156			
②				
97	食事			
特選	円x			
	円x			
	円x			
保険	請求点	決定点	負担金額	
①				
②				

- 13 \* 診療情報提供料(1) 1回 450x 1
- \* 薬剤管理指導料2 430x 1
- 21 \* マグネシウム 80x 1
- 薬用炭 10x 7
- \* タケプロンOD錠15 1T 3x 3
- \* ワーファリン錠1mg 3T 17x 3
- \* フロモックス錠100mg 3T 17x 3
- \* タケプロンOD錠15 1T 10x 21
- (退院時投与)
- \* ワーファリン錠1mg 1T 1x 3
- (退院時投与)
- \* ワーファリン錠1mg 2T 2x 20
- (退院時投与)
- 23 \* アトロピン注射液60吸入用 607リットル 713x 1
- 713x 1
- 20x 1
- 43x 1
- 33 \* ニゾランダー注射液7% 100ml 1キット
- \* プラスチック方ニューレ型静脈内留置針 (針刺し事故防止機構付加型) 10x 1
- \* 点滴/精密持続点滴注射 カタボンHi注600mg 0.3%200ml 2袋
- ワイニンF注 500ml 5袋
- セファメジンα 注射液1g 1t
- 生食注キット「ソニー」 100ml 1キット
- ブドウ糖注射液 5%20ml 1瓶
- プリンペラン注射液10mg 0.5%2ml 1瓶
- ボスミン注 0.1%1ml 10瓶
- ブドウ糖注射液 20%20ml 0.8瓶
- アトロピン注0.05%シリンジ 「テルモ」 1ml 1キット
- 生食 20ml 2瓶
- ノルアドレナリン注1mg 0.1%1ml 1瓶 616x 1
- \* 点滴/ワイニンF注 500ml 1袋
- セファメジンα 注射液1g 2キット
- 生食 100ml 2キット 212x 1
- \* 点滴/ワイニンF注 500ml 1袋 111x 2
- \* 点滴/ワイニンF注 500ml 2袋
- 40 \* 胃持続下シリンジ (胃管カテーテル) 1本 50x 1
- \* 膀胱留置用デバイスホーザールカテーテル (2管一般(2)) 1本 65x 1
- \* 体表面ペーシング法 400x 1
- \* 体表面ペーシング用電極 428x 1
- \* 液体酸素(CE) 4890L 114x 1
- \* イオン液10% 5本 1x 1
- \* 留置カテーテル設置 イオン液10% 5本 1x 1
- キシロカインゼリー2% 1( 8x 1
- 膀胱留置用デバイスホーザールカテーテル (2管一般(2)) 1本 65x 1

- 50 \* 経皮的カテーテル心筋様薬物 (その他のもの) 34370x 1
- キシロカイン注射液1% 40r
- 生理食塩液 500ml 1瓶
- ヘパリンナトリウム注N5千単位/5ml 「味の素」 5000単位 3j
- オムニバーク350注100mg 75.49% 1瓶
- ワイニンF注 500ml 1袋
- 生食 500ml 1瓶
- ニトロロ注5mgシリンジ 10ml 2筒
- キシロカイン注ボリアンブ1% 10ml 1瓶
- ノルアドレナリン注1mg 0.1%1ml 1瓶
- 生食 20ml 1瓶 1170x 1
- 血管造影用カテーテル(一般用) 2本
- 血管造影用ガイドワイヤー(一般用) 1本
- 血管造影用シース/ドレナリオン(一般用) 1本 (選択的導入用) 1セット
- (一般用)2セット(蛇行血管用)3セット
- 経皮的カテーテル心筋様薬物用カテーテル (標準型) 1本
- 体外ペースメーカー用電極 (検査機能付加・標準型) 1個
- (検査機能付加・房室非輪部型) 1個
- 60 \* 采溜血液一般検査 0x 1
- \* 生化学的検査① (10項目以上) 総蛋白(血清) ALb(血清) CK(血清) CK-MB(血清) AST(血清) ALT(血清) LD(血清) アルカリホスファターゼ(血清) Y-GT(血清) chE(血清) LAP(血清) TG(血清) 総コレステロール(血清) LDL-コレステロール(血清) NaCl(血清) Mg(血清) Ca(血清) 無機リン定量(血清) クレアチニン(血清) UA(血清) BUN(血清) 総ビリルビン(血清) グルコース(血 0x 1
- \* クレアチニン・ホスホキナーゼ(C 0x 1
- \* 血液ガス分析 0x 1
- \* 甲状腺刺激ホルモン(TSH) 0x 1
- \* 甲状腺刺激ホルモン(TSH) 115x 1
- \* 遊離トリヨードサイロニン(FT; 280x 1
- \* 遊離サイロキシ(FT4) 0x 1
- \* ABO血液型 0x 1
- \* Rh(D)血液型 0x 1
- \* C反応性蛋白(CRP) 0x 1
- \* 細菌顕微鏡検査(その他のも 0x 2
- \* 生化学的検査(2)判断料 144x 1
- \* ECG12 0x 1
- \* ECG12 117x 4
- \* ホルター型心電図検査(8時間 1500x 1
- \* 脈波図、心機図、ポリグラフ (3又は4検査) 130x 1
- \* 超音波検査(心臓超音波検査) (経胸壁心エコー法) 0x 1
- \* 超音波検査(心臓超音波検査) (経胸壁心エコー法) 792x 1

- \* 動脈血採取(一日につき) 0x 1
- \* 呼吸心拍監視(7日以内) 150x 7
- \* 呼吸心拍監視(7日超14日以内) 130x 6
- \* 基本的検体検査実施料 (4週間以内)(1日につき) 140x 14
- \* 基本的検体検査判断料 604x 1
- \* 心筋トロポニンT(定性、定) 0x 1
- \* 経皮的動脈血酸素飽和度 30x 3
- \* H-FABP 0x 1
- \* 尿中蛋白定量 7x 1
- \* 検体検査管理加算(4) 500x 1
- \* 心臓カテーテルによる諸検査 (左心) 0x 1
- 70 \* 基本的エックス線診断料 (4週間以内)(1日につき) 55x 15
- \* 特定機能病院一般病棟10対1入院基本料 (2種地域)(救急医療管理加算) 2838x 6
- \* 特定機能病院一般病棟10対1入院基本料 (2種地域)(14日以内) 2038x 7
- \* 特定機能病院一般病棟10対1入院基本料 (2種地域)(30日以内) 1533x 1
- 92 \* 救命救急入院料1(3日以内) (2種地域) 10951x 1

a)Eファイルの作成例：レセプトの\*(アスタリスク)行為毎に作成する

		<Eファイル>										
		E-5	E-6	E-8	E-9	E-10	E-11	E-12	E-13	E-14	E-15	E-18
		ターデータ別順序番号	レセプト電算処理	解説番号	診療行為名称	行為点数	行為回数	区分	行為回数	行為回数	行為回数	実施年月日
13	* 診療情報提供料(1)	13	0001	113010810	B003	薬剤管理指導料2	430	0	0	0	0	1 20130415
21	* 薬剤管理指導料2	13	0002	180016110	B009	診療情報提供料(1)	450	0	0	0	0	1 20130415
	* マグコロールP											
	薬用炭	80x 1	0001	617210100		マグコロールP	80	80	0	0	0	1 20130401
	* タケブロンOD錠15 1T	10x 7	0002	610462010		タケブロンOD錠15 15mg	10	10	0	0	0	7 20130409
	* ワーアリン錠1mg 3T	3x 3	0003	613330003		ワーアリン錠1mg	3	3	0	0	0	3 20130412
	* フロモックス錠100mg 3T	17x 3	0004	610411058		フロモックス錠100mg	17	17	0	0	0	3 20130412
	* タケブロンOD錠15 1T	10x 21	0005	610462010		タケブロンOD錠15 15mg	10	10	0	0	0	21 20130415
	(退院時投与)											
	* ワーアリン錠1mg 1T	1x 3	0006	613330003		ワーアリン錠1mg	1	1	0	0	0	3 20130415
	(退院時投与)											
	* ワーアリン錠1mg 2T	2x 20	0007	613330003		ワーアリン錠1mg	2	2	0	0	0	20 20130415
	(退院時投与)											
23	* アトロペン注 60μl/スター	713x 1	0001	621829601		アトロペン注 60μl/スター	713	713	0	0	0	1 20130401
	イソジンガーゲル液7%	20x 1	0002	620008969		イソジンガーゲル液7%	20	20	0	0	0	1 20130404
	ニソラロロシオン2%	43x 1	0003	620000385		ニソラロロシオン2%	43	43	0	0	0	1 20130408
33	* ニソラロロシオン2% (針刺し事故防止機構付加型)	43x 1										
	* プラスチックカニューレ型静脈内留置針	10x 1										
	* 点滴/精密持続点滴注射											
	カタボニHi注600mg	7	0001	120001110	F000	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130401
	O. 3%200ml 2袋	7	0002	120001110	F000	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130404
	ワイネF注 500ml 5袋	7	0003	120001110	F000	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130408
	セファメジンα注射用1g 1キット	7	0004	120001110	F000	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130409
	生食注キット「アノ」100ml 1キット	7	0005	120001110	F000	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130410
	ブドウ糖注射液 5%200ml 1瓶	7	0006	120001110	F000	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130411
	プリンベラン注射液10mg 0.5%2ml 1瓶	7	0007	120001110	F000	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130412
	ボスミン注 0.1%1ml 10瓶	7	0008	120001110	F000	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130413
	ブドウ糖注射液 20%200ml 0.8瓶	7	0009	120001110	F000	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130414
	アトロペン注0.05%シリンジ	7	0010	120001110	F000	調剤料(入院)	7	0	0	0	0	1 20130415
	「テルモ」1ml 1キット											
	生食 200ml 2瓶											
	ノルアドレナリン注1mg 0.1%1ml 1瓶	616x 1										
	* 点滴/ワイネF注 500ml 1袋											
	セファメジンα注射用1g 2キット	10	0001	710010003		フラシチカニューレ型静脈内留置針(針刺)	10	0	10	0	0	1 20130401
	生食 100ml 2キット	616	0002	130003810	G004	点滴注射(その他500ml以上)	616	616	0	0	0	1 20130401
	* 点滴/ワイネF注 500ml 1袋	212x 1	0003	130003810	G004	点滴注射(その他500ml以上)	212	117	0	0	0	1 20130402
	* 点滴/ワイネF注 500ml 2袋	111x 2	0004	130003810	G004	点滴注射(その他500ml以上)	111	16	0	0	0	1 20130403
	* 点滴/ワイネF注 500ml 2袋	127x 1	0005	130003810	G004	点滴注射(その他500ml以上)	111	16	0	0	0	1 20130404
	* 点滴/ワイネF注 500ml 2袋	127x 1	0006	130003810	G004	点滴注射(その他500ml以上)	127	32	0	0	0	1 20130412
40	* 胃持続ドレーニジ	50x 1										
	胃置カテーテル (ガルーダン・標準型) 1本	50x 1	0001	140004310	J020	胃持続ドレーニジ(開始日)	100	0	50	0	0	1 20130401
	* 膀胱留置用デリスボ-サルカ-テル (2管一般(2)) 1本	65x 1	0002	725720000		膀胱留置用デリスボ-サルカ-テル(2管・	65	0	0	65	0	1 20130401
	体表面ベ-ーシング法	400x 1	0003	140009150	J044-2	体表面ベ-ーシング法(1日につき)	828	0	428	0	0	1 20130401
	液体酸素(CE) 4890L	428x 1	0004	739200000		酸素(液化酸素CE)	114	0	114	0	0	1 20130401
	* 液体酸素(CE) 4890L	114x 1	0005	620007579		イソジン液10%	1	1	0	0	0	1 20130412
	* イソジン液10% 5本	1x 1	0006	140013810	J063	留置カテーテル設置	114	9	65	0	0	1 20130412
	* 留置カテーテル設置	40x 1										
	イソジン液10% 5本	1x 1										
	キンコカインゼリー2% 10ml	8x 1										
	膀胱留置用デリスボ-サルカ-テル (2管一般(2)) 1本	65x 1										

診療情報提供料は  
区分13で作成する

区分毎、実施日毎にし  
コードを作成する

行為点数=手技点数+行為薬剤料+行為材料料になる

手技、薬剤、材料に  
分けてセットする

a)Eファイルの作成例：レセプトの\*(アスタリスク)行為毎に作成する

<Eファイル>

E-5	E-6	E-8	E-9	E-10	E-11	E-12	E-13	E-14	E-15	E-18
子-区分	順序番号	レセプト番号	電子処理	検査番号	診療行為名称	行為点数	行為材料	区分	行為回数	実施年月日
50	0001	150262810	K9552		経皮的カテーテル心筋焼灼術(その他)	99373	1170	63833	0	1 20130412



50 --- \*経皮的カテーテル心筋焼灼術  
(その他のもの) 4370x 1

キソロカイン注射液1% 40ml  
生理食塩液 500ml 1瓶  
ヘパリンナトリウム注N5千単位/5ml  
1味の薬J 5000単位 3瓶  
オムニバグ350注100ml 75.49% 1瓶  
ウィーンF注 500ml 1袋  
生食 500ml 1瓶  
ニトロール注5mgシリンジ 10ml 2筒  
キソロカイン注ポリアンプ1% 10ml 1瓶  
ノルアドリナリン注1mg O. 1%1ml 1瓶  
生食 200ml 1瓶 1170x 1

血管造影用カテーテル(一般用) 2本  
血管造影用ワイヤー(一般用) 1本  
血管造影用シーストロード用サセット  
(一般用)2セット(配行血管用)3セット  
(選択的導入用) 1セット  
経皮的カテーテル心筋焼灼術用カテーテル  
(標準型) 1本  
体外ペースメーカー用電極  
(検査機能付加・標準型) 1個  
(検査機能付加・房室弁輪部型) 1個 3833x 1

60 --- \*血液一般検査  
(10項目以上) 0x 1

総蛋白(血清) ALB(血清) OK(血清)  
CK-MB(血清) AST(血清) ALT(血清) LD(血清)  
アルカリホスファターゼ(血清) Y-GT(血清) chE(血清)  
LAP(血清) TG(血清) 総コレステロール(血清)  
LDL-コレステロール(血清) NaCl(血清) Mg(血清)  
Ca(血清) 無糖化定置(血清) 977x 1  
UA(血清) BUN(血清) 総ビリルビン(血清) 0x 1  
\*クレアチニン-ホスホキナーゼ(CK) 0x 1  
\*血液ガス分析 0x 1  
\*甲状腺刺激ホルモン(TSH) 115x 1  
\*甲状腺刺激ホルモン(TSH) 280x 1  
\*遊離トリヨードサイロニン(FT3) 0x 1  
\*遊離サイロキニン(FT4) 0x 1  
\*ABO血液型 0x 1  
\*Rh(D)血液型 0x 1  
\*C反応性蛋白(CRP) 0x 1  
\*細菌菌種検査(その他のもの) 0x 2  
\*生化学的検査(2)判断料 144x 1  
\*ECG12 0x 1  
\*ECG12 117x 4  
\*脈波図 心機図 ポリグラフ(3又は4柱) 1500x 1  
\*超音波検査(心臓超音波検査) 130x 1  
\*超音波検査(心臓超音波検査)  
(経胸壁心エコー法) 0x 1  
\*超音波検査(心臓超音波検査)  
(経胸壁心エコー法) 792x 1  
\*動脈血採取(一日につき) 0x 1  
\*呼吸心拍監視(7日以内) 150x 7  
\*呼吸心拍監視(7日超14日以内) 130x 6  
\*基本的心臓超音波検査(4週間以内) 140x 14  
\*基本的心臓超音波検査判断料 604x 1  
\*心胸トロポニンT(定性、定量) 0x 1  
\*経皮的動脈血酸素飽和度 30x 3  
\*H-FABP 0x 1  
\*尿中蛋白定量 7x 1  
\*検体検査管理加算(4) 500x 1  
\*心臓カテーテルによる諸検査(左心) 0x 1





a)Eファイルの作成例：レセプトの\*(アスタリスク)行為毎に作成する

<Eファイル>

<レセプト明細>

E-5	E-6	E-8	E-9	E-10	E-11	E-12	E-13	E-14	E-15	E-18
ターミネーション番号	レセプト電算処理	解釈番号	診療行為名称	行為点数	行為回数	行為材料	行為材料	行為材料	行為回数	実施年月日
70	0001	170016810 E004	基本的エックス線診断料(4週間以内)	55	0	0	0	0	0	1 20130401
70	0002	170016810 E004	基本的エックス線診断料(4週間以内)	55	0	0	0	0	0	1 20130402
70	0003	170016810 E004	基本的エックス線診断料(4週間以内)	55	0	0	0	0	0	1 20130403
70	0004	170016810 E004	基本的エックス線診断料(4週間以内)	55	0	0	0	0	0	1 20130404
70	0005	170016810 E004	基本的エックス線診断料(4週間以内)	55	0	0	0	0	0	1 20130405
70	0006	170016810 E004	基本的エックス線診断料(4週間以内)	55	0	0	0	0	0	1 20130406
70	0007	170016810 E004	基本的エックス線診断料(4週間以内)	55	0	0	0	0	0	1 20130407
70	0008	170016810 E004	基本的エックス線診断料(4週間以内)	55	0	0	0	0	0	1 20130408
70	0009	170016810 E004	基本的エックス線診断料(4週間以内)	55	0	0	0	0	0	1 20130409
70	0010	170016810 E004	基本的エックス線診断料(4週間以内)	55	0	0	0	0	0	1 20130410
70	0011	170016810 E004	基本的エックス線診断料(4週間以内)	55	0	0	0	0	0	1 20130411
70	0012	170016810 E004	基本的エックス線診断料(4週間以内)	55	0	0	0	0	0	1 20130412
70	0013	170016810 E004	基本的エックス線診断料(4週間以内)	55	0	0	0	0	0	1 20130413
70	0014	170016810 E004	基本的エックス線診断料(4週間以内)	55	0	0	0	0	0	1 20130414
70	0015	170016810 E004	基本的エックス線診断料(4週間以内)	55	0	0	0	0	0	1 20130415
90	0001	190085910 A104	特定機能・一般病棟・10対1入院基本: (2種地域)(救急医療管理加算)	2023	0	0	0	0	0	1 20130402
90	0002	190100070 A205	救急医療管理加算	800	0	0	0	0	0	1 20130402
90	0003	190077170 A218	地域加算(2級地)	15	0	0	0	0	0	1 20130402
90	0004	190085910 A104	特定機能・一般病棟・10対1入院基本:	2023	0	0	0	0	0	1 20130403
90	0005	190100070 A205	救急医療管理加算	800	0	0	0	0	0	1 20130403
90	0006	190077170 A218	地域加算(2級地)	15	0	0	0	0	0	1 20130403
90	0007	190085910 A104	特定機能・一般病棟・10対1入院基本:	2023	0	0	0	0	0	1 20130404
90	0008	190100070 A205	救急医療管理加算	800	0	0	0	0	0	1 20130404
90	0009	190077170 A218	地域加算(2級地)	15	0	0	0	0	0	1 20130404
90	0010	190085910 A104	特定機能・一般病棟・10対1入院基本:	2023	0	0	0	0	0	1 20130405
90	0011	190100070 A205	救急医療管理加算	800	0	0	0	0	0	1 20130405
90	0012	190077170 A218	地域加算(2級地)	15	0	0	0	0	0	1 20130405
90	0013	190085910 A104	特定機能・一般病棟・10対1入院基本:	2023	0	0	0	0	0	1 20130406
90	0014	190100070 A205	救急医療管理加算	800	0	0	0	0	0	1 20130406
90	0015	190077170 A218	地域加算(2級地)	15	0	0	0	0	0	1 20130406
90	0016	190085910 A104	特定機能・一般病棟・10対1入院基本:	2023	0	0	0	0	0	1 20130407
90	0017	190100070 A205	救急医療管理加算	800	0	0	0	0	0	1 20130407
90	0018	190077170 A218	地域加算(2級地)	15	0	0	0	0	0	1 20130407
90	0019	190085910 A104	特定機能・一般病棟・10対1入院基本:	2023	0	0	0	0	0	1 20130408
90	0020	190077170 A218	地域加算(2級地)	15	0	0	0	0	0	1 20130408
90	0021	190085910 A104	特定機能・一般病棟・10対1入院基本:	2023	0	0	0	0	0	1 20130409
90	0022	190077170 A218	地域加算(2級地)	15	0	0	0	0	0	1 20130409
90	0023	190085910 A104	特定機能・一般病棟・10対1入院基本:	2023	0	0	0	0	0	1 20130410
90	0024	190077170 A218	地域加算(2級地)	15	0	0	0	0	0	1 20130410
90	0025	190085910 A104	特定機能・一般病棟・10対1入院基本:	2023	0	0	0	0	0	1 20130411
90	0026	190077170 A218	地域加算(2級地)	15	0	0	0	0	0	1 20130411
90	0027	190085910 A104	特定機能・一般病棟・10対1入院基本:	2023	0	0	0	0	0	1 20130412
90	0028	190077170 A218	地域加算(2級地)	15	0	0	0	0	0	1 20130412
90	0029	190085910 A104	特定機能・一般病棟・10対1入院基本:	2023	0	0	0	0	0	1 20130413
90	0030	190077170 A218	地域加算(2級地)	15	0	0	0	0	0	1 20130413
90	0031	190085910 A104	特定機能・一般病棟・10対1入院基本:	2023	0	0	0	0	0	1 20130414
90	0032	190077170 A218	地域加算(2級地)	15	0	0	0	0	0	1 20130414
90	0033	190085910 A104	特定機能・一般病棟・10対1入院基本:	1518	0	0	0	0	0	1 20130415
90	0034	190077170 A218	地域加算(2級地)	15	0	0	0	0	0	1 20130415
92	0001	190117170 A204-2	臨床研修病院入院診療加算(入院初日)	40	0	0	0	0	0	1 20130401
92	0002	190120510 A234	医療安全対策加算1	185	0	0	0	0	0	1 20130401
92	0003	190077170 A218	地域加算(2級地)	15	0	0	0	0	0	1 20130401
92	0004	190024510 A300	救命救急入院料1(3日以内)	10711	0	0	0	0	0	1 20130401









e) 外来EFファイル作成例

〔処方〕

- ① タガメット錠 200mg 2錠  
ロキソニン錠 60mg 3錠  
ムスカラム錠 100mg 3錠 14日分
- ② マイザー軟膏 0.05% 50g

〔院内投与の場合〕

EF-5	EF-6	EF-7	EF-8	EF-9	EF-10	EF-11	EF-12	EF-13	EF-14	EF-15	EF-16	EF-17	EF-18	EF-19	EF-20	EF-21
ター	順序番号	行為明細番号	病院点数マスタコード	レセプト電算コード	解釈番号	診療明細名称	使用量	基準単位	明細点数	円区分	出来高実績点数	出来高包括フラグ	行為点数	行為薬剤料	行為材料料	行為回数
21	0001	000	612320183	612320183		タガメット錠 200mg	0	000	0	0	0	NULL	13	13	0	14
21	0001	001	612320183	612320183		タガメット錠 200mg	2	016	41.4	1	0	1	0	0	0	14
21	0001	002	620098801	620098801		ロキソニン錠 60mg	3	016	55.8	1	0	1	0	0	0	14
21	0001	003	620006145	620006145		ムスカラム錠 100mg	3	016	30.9	1	13	1	0	0	0	14
21	0002	000	120000710	120000710		調剤料 (内服薬)	0	000	0	0	0	NULL	9	0	0	1
21	0002	001	120000710	120000710		調剤料 (内服薬)	0	000	9	0	9	1	0	0	0	1
23	0001	000	620625401	620625401		マイザー軟膏 0.05%	0	000	0	0	0	NULL	117	117	0	1
23	0001	001	620625401	620625401		マイザー軟膏 0.05%	50	033	1170	1	117	1	0	0	0	1
23	0002	000	120001010	120001010		調剤料 (外用薬)	0	000	0	0	0	NULL	6	0	0	1
23	0002	001	120001010	120001010		調剤料 (外用薬)	0	000	6	0	6	1	0	0	0	1
25	0001	000	120001210	120001210		処方料 (その他)	0	000	0	0	0	NULL	42	0	0	1
25	0001	001	120001210	120001210		処方料 (その他)	0	000	42	0	42	1	0	0	0	1
27	0001	000	120001810	120001810		調基 (その他)	0	000	0	0	0	NULL	8	0	0	1
27	0001	001	120001810	120001810		調基 (その他)	0	000	8	0	8	1	0	0	0	1

※: 外来EFファイルの「EF-17 出来高・包括フラグ(F-19 出来高・包括フラグ)」には全て「1」をセットする。(院外処方薬を除く)

〔院外処方の場合〕

EF-5	EF-6	EF-7	EF-8	EF-9	EF-10	EF-11	EF-12	EF-13	EF-14	EF-15	EF-16	EF-17	EF-18	EF-19	EF-20	EF-21
ター	順序番号	行為明細番号	病院点数マスタコード	レセプト電算コード	解釈番号	診療明細名称	使用量	基準単位	明細点数	円区分	出来高実績点数	出来高包括フラグ	行為点数	行為薬剤料	行為材料料	行為回数
21	0001	000	612320183	612320183		タガメット錠 200mg	0	000	0	0	0	NULL	0	0	0	14
21	0001	001	612320183	612320183		タガメット錠 200mg	2	016	41.4	1	0	9	0	0	0	14
21	0001	002	620098801	620098801		ロキソニン錠 60mg	3	016	55.8	1	0	9	0	0	0	14
21	0001	003	620006145	620006145		ムスカラム錠 100mg	3	016	30.9	1	0	9	0	0	0	14
23	0001	000	620625401	620625401		マイザー軟膏 0.05%	0	000	0	0	0	NULL	0	0	0	1
23	0001	001	620625401	620625401		マイザー軟膏 0.05%	50	033	1170	1	0	9	0	0	0	1
80	0001	000	120002910	120002910		処方せん料 (その他)	0	000	0	0	0	NULL	65	0	0	1
80	0001	001	120002910	120002910		処方せん料 (その他)	0	000	65	0	65	1	0	0	0	1

※: 院外処方薬の「EF-17 出来高・包括フラグ(F-19 出来高・包括フラグ)」には「9」をセットする。ただし、一般名処方を行った場合は、「8」または「7」をセットする。